

箕輪都市計画基礎調査報告書

(概 要 版)

令和 6 年 3 月

長野県箕輪町

箕輪町の概要

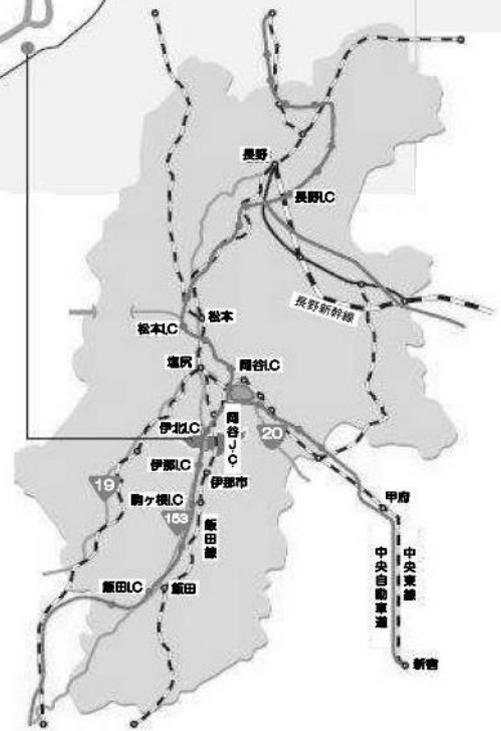
箕輪町は長野県のほぼ中央部、上伊那郡の北部に位置し、田園工業都市として発展している町です。中部平坦地を北から南へ天竜川が貫流し、竜東は狭小な大地から伊那山脈に、竜西は広い緩傾斜の台地となって中央アルプス連峰に続き、ともに農耕地帯を形成しています。周囲は、東に山林をもって諏訪市・伊那市高遠町に接し、南は耕地、原野をもって伊那市・南箕輪村に連なり、西北は耕地山林をもって辰野町に接しています。また、一級河川として西に桑沢川、深沢川、帯無川、東に沢川等があり、いずれも天竜川に合流しています。



中央自動車道西宮線をはさんで、広域農道・県道伊那箕輪線・国道 153 号線・箕輪バイパスが走り、これらを結んで多数の主要町道等が走っています。JR 飯田線も中部平坦地を天竜川に沿って南北に走り、町内に伊那松島・木ノ下・沢の 3 駅があります。このように JR 飯田線と南北を幹線が縦走し、理想的な交通網が整備された、まさに暮らしよい町です。

また近年では首都圏を中心とした先進開発型企業の進出が活発となり、産業分野の先端技術が集結し、ハイテクタウンへと変貌しています。

農商工の調和と住む人々が主役のまちづくりを基本に、夢とロマンあふれる未来型環境の整備を創造している町です。



(箕輪町ホームページおよび町勢要覧 2023 より抜粋)

目 次

箕輪町の概要	2
① 人 口	1
C0101 人口規模	1
C0101-1 人口総数及び増加数	1
C0101-2 年齢・性別人口	2
C0103 将来人口	4
C0104 人口増減の内訳	7
C0105 通勤・通学移動	9
② 産 業	11
C0201 産業・職業大分類別就業者数	11
C0201-1 産業大分類別就業者数	11
C0201-2 職業大分類別就業者数	14
C0202 事業所数・従業者数・売上金額	16
C0202-1 事業所数・従業者数・売上金額	16
C0202-2 産業中分類別工業出荷額	19
C0202-3 工業出荷額推計	21
C0202-4 産業中分類別商業販売額	22
C0202-5 商業販売額推計	23
③ 土地利用	24
C0302 土地利用現況	24
C0302-1 区域区分別の土地利用別面積	24
C0302-2 地区別の土地利用別面積	26
C0304 宅地開発状況	28
C0305 農地転用状況	29
C0307 新築状況	30
C0308 条例・協定	32
④ 建 物	33
C0401 建物用途別現況	33
C0401-1 地区別の建物用途現況	33
C0401-2 区域別の建物用途現況	38
C0402 建物階数別・構造別・建築年別・高さ別現況	40
C0402-1 建物階数別現況	40
C0402-2 建物構造別現況	42
C0402-3 建築面積現況	43
C0402-4 延床面積現況	45
C0402-5 建築年別現況	47
C0402-6 建物高さ別現況	52
⑤ 都市施設	54
C0501 都市施設の位置、内容等	54
⑥ 交 通	55
C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	55
C0603 鉄道・路面電車等の状況	57
C0604 バスの状況	57
⑧ 自然的環境等	58

C0803	緑の状況	58
⑩	その他	59
C0402	大規模小売店舗等の立地状況	59
C0701	地価の状況	60
C0802	気象状況	61
C0901	災害の発生状況	63
C0902	防災拠点・避難場所	63

-
- 数字の表章単位未満は、四捨五入を原則としている。したがって、総数と内容の計が一致しない場合がある。
 - 図表中や図表名、資料名に時点の記載がない場合は、令和5年の値である。

① 人 口

C0101 人口規模

C0101-1 人口総数及び増加数

箕輪町の行政区域の人口推移をみると平成 17 年までは増加傾向にあったが、その後減少傾向となり、令和 2 年には 24,989 人となっている。

また、令和 2 年の非線引き用途地域の人口は、8,166 人となっており、総人口の 32.7%にあたる。非線引き用途地域の人口推移は、平成 22 年には平成 17 年と比較して 699 人の減少、平成 27 年には平成 22 年と比較して 778 人の減少、令和 2 年には平成 27 年と比較して 479 人の減少となっている。一方、非線引き用途白地では、平成 22 年まで増加傾向が続き、平成 27 年で 195 人の減少となったが、令和 2 年には平成 27 年比較して 227 人の増加となっている。

平成 12 年から令和 2 年の 20 年間における人口増減は、行政区域人口は 2.6%減（672 人減）であり、非線引き用途地域では 18.1%減（1,821 人減）となっている。一方、非線引き用途白地では 7.3%増（1,140 人増）となっており、郊外地域への人口の移動がみられる。

表 1 - 1 人口推移

(平成12, 17, 22, 27年、令和2年国勢調査 男女別・年齢階級(5歳階級)別人口をもとに作成)

区域区分	平成12年 人口 人	H12~H17年 の増減		平成17年 人口 人	H17~H22年 の増減		平成22年 人口 人	H22~H27年 の増減		平成27年 人口 人	H27~R2年 の増減		令和2年 人口 人
		人口 人	率 %		人口 人	率 %		人口 人	率 %		人口 人	率 %	
行政区域	25,661	615	2.4	26,276	▲ 62	▲ 0.2	26,214	▲ 973	▲ 3.7	25,241	▲ 252	▲ 1.0	24,989
都市計画区域	25,661	615	2.4	26,276	▲ 62	▲ 0.2	26,214	▲ 973	▲ 3.7	25,241	▲ 252	▲ 1.0	24,989
非線引き用途地域	9,978	144	1.4	10,122	▲ 699	▲ 6.9	9,423	▲ 778	▲ 8.3	8,645	▲ 479	▲ 5.5	8,166
うち D I D 区域	6,871	▲ 390	▲ 5.7	6,481	▲ 492	▲ 7.6	5,989	-	-	-	-	-	-
非線引き用途白地	15,683	471	3.0	16,154	637	3.9	16,791	▲ 195	▲ 1.2	16,596	227	1.4	16,823
うち D I D 区域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：国勢調査

※ 非線引き用途地域と非線引き用途白地の人口は、都市計画区域の人口を建物用途別現況の住宅の延床面積の按分比(0.3268)で配分した。

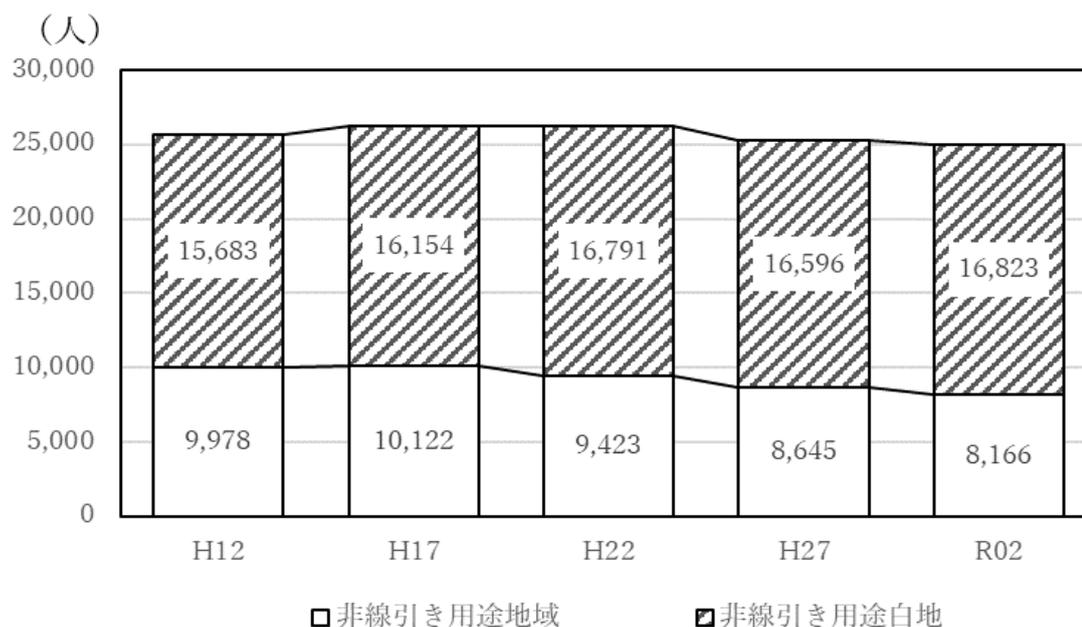


図 1 - 1 人口推移

C0101-2 年齢・性別人口

令和2年の5歳階級別人口をみると、男女とも45～49歳、70～74歳の人口が多くなっており、これは第1次ベビーブーム及び第2次ベビーブームに該当する世代である。平成12年と令和2年を比較すると、つりがね型から壺型に移行していることがわかる。

年齢3区分別人口でみると、年少人口と生産年齢人口の割合は平成12年から令和2年まで一貫して減少し続け、老年人口の割合は増加し続けている。平成12年から令和2年までの20年間で年少人口が4,000人から3,317人（17.1%減）、老年人口が4,839人から7,486人（54.7%増）となっており、構成比でみると年少人口が15.6%から13.3%、老年人口が18.9%から30.0%と変化していることから、少子高齢化の進行がうかがえる。

表1-2-1 5歳階級別年齢・性別人口推移（行政区域）

（平成12、17、22、27年、令和2年国勢調査 男女別・年齢階級（5歳階級）別人口をもとに作成）

年階層	平成12年			平成17年			平成22年			平成27年			令和2年		
	総数	男	女												
0～4	1,350	696	654	1,348	723	625	1,265	634	631	1,034	565	469	937	482	455
5～9	1,256	643	613	1,297	682	615	1,286	681	605	1,262	632	630	1,093	597	496
10～14	1,394	725	669	1,265	654	611	1,264	664	600	1,295	690	605	1,287	633	654
15～19	1,387	713	674	1,254	636	618	1,204	624	580	1,124	601	523	1,155	613	542
20～24	1,657	821	836	1,265	630	635	1,275	640	635	877	466	411	898	472	426
25～29	2,174	1,141	1,033	2,003	999	1,004	1,438	795	643	1,192	612	580	1,061	575	486
30～34	1,778	919	859	2,158	1,138	1,020	1,844	946	898	1,349	710	639	1,171	630	541
35～39	1,552	805	747	1,823	955	868	2,029	1,085	944	1,763	923	840	1,393	746	647
40～44	1,491	773	718	1,577	821	756	1,727	916	811	2,036	1,069	967	1,811	944	867
45～49	1,714	833	881	1,488	756	732	1,527	788	739	1,691	901	790	2,048	1,065	983
50～54	2,020	995	1,025	1,696	815	881	1,481	773	708	1,523	798	725	1,690	894	796
55～59	1,657	848	809	2,038	1,006	1,032	1,695	828	867	1,454	751	703	1,512	790	722
60～64	1,392	666	726	1,691	870	821	2,003	987	1,016	1,650	798	852	1,447	721	726
65～69	1,377	665	712	1,380	653	727	1,641	834	807	1,952	950	1,002	1,652	791	861
70～74	1,306	601	705	1,320	616	704	1,321	606	715	1,545	769	776	1,944	930	1,014
75～79	947	388	559	1,176	524	652	1,235	564	671	1,208	540	668	1,466	719	747
80～84	659	244	415	787	303	484	1,009	424	585	1,018	439	579	1,064	452	612
85～89	550	170	380	710	234	476	611	203	408	773	305	468	788	300	488
359							85	274	395	93	302	572	157	415	
90～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	69	31	-	-	-
年齢不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	69	31	-	-	-
総計	25,661	12,646	13,015	26,276	13,015	13,261	26,214	13,077	13,137	25,241	12,681	12,560	24,989	12,511	12,478

資料：国勢調査不詳補完結果

表1-2-2 年齢3区分別人口の推移（行政区域）

	平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	総数(人)	構成比								
年少人口	4,000	15.6%	3,910	14.9%	3,815	14.6%	3,591	14.3%	3,317	13.3%
生産年齢人口	16,822	65.6%	16,993	64.7%	16,223	61.9%	14,659	58.3%	14,186	56.8%
老年人口	4,839	18.9%	5,373	20.4%	6,176	23.6%	6,891	27.4%	7,486	30.0%
総計	25,661	100.0%	26,276	100.0%	26,214	100.0%	25,141	100.0%	24,989	100.0%

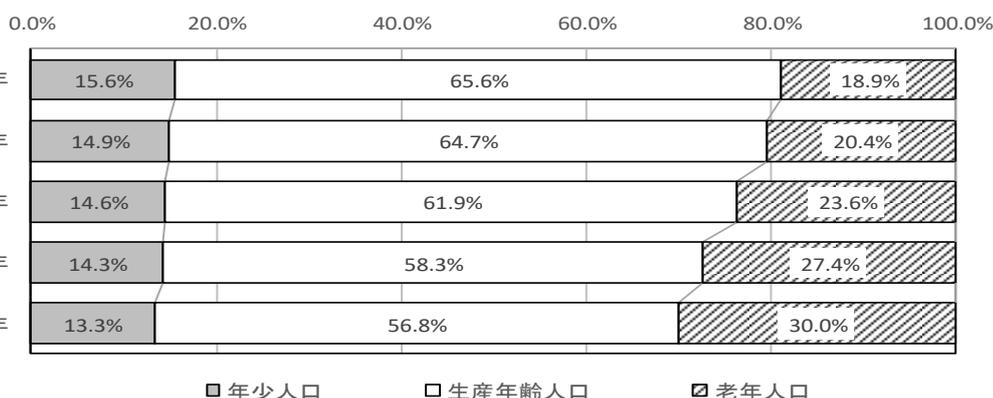
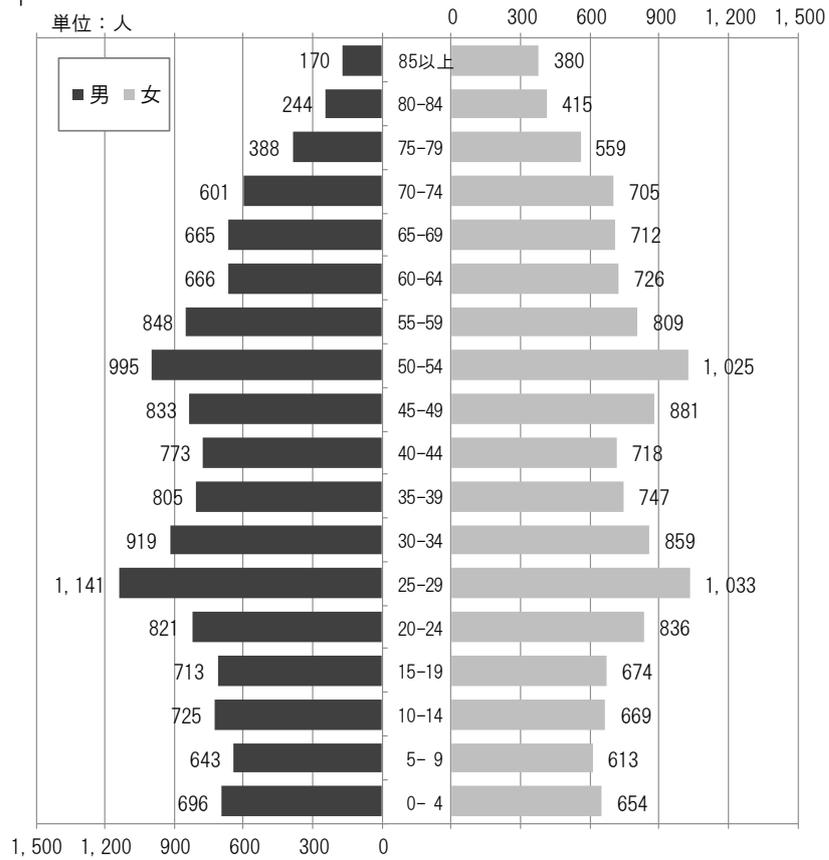


図1-2 年齢3区分別人口構成比推移（行政区域）

平成 12 年



令和 2 年

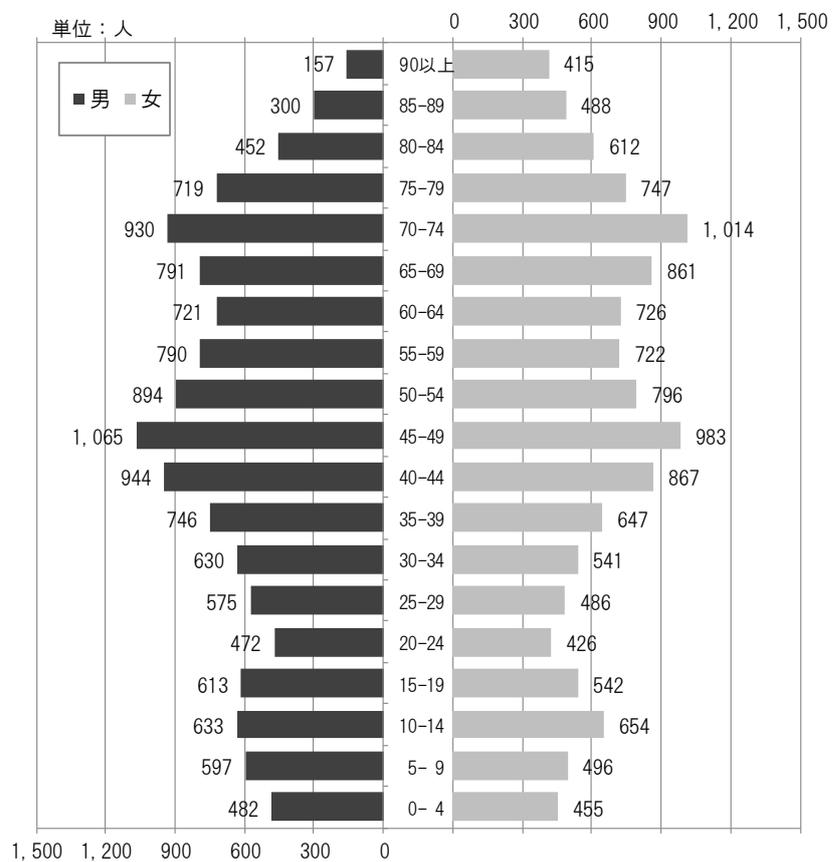


図 1 - 3 5 歳階級別年齢・性別人口 (行政区)

C0103 将来人口

国立社会保障・人口問題研究所による箕輪町の推計人口は減少が続き、令和32年には19,588人になると推計されている。年齢3区分別人口でみると、令和2年から令和32年の増減は年少人口が1,299人減(39.2%減)、生産年齢人口が4,818人減(34.0%減)、老年人口が716人増(9.6%増)となっている。

表1-3 5歳階級別人口推計

(日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)〔国立社会保障・人口問題研究所〕年齢別男女別将来人口をもとに作成)

		平成27年(実績値)			令和2年(実績値)			令和7年(2025年)			令和12年(2030年)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
年齢階級別	0～4歳	1,034	565	469	937	482	455	775	397	378	759	389	370
	5～9歳	1,262	632	630	1,093	597	496	940	481	459	784	398	386
	10～14歳	1,295	690	605	1,287	633	654	1,090	593	497	940	479	461
	15～19歳	1,124	601	523	1,155	613	542	1,164	576	588	987	539	448
	20～24歳	877	466	411	898	472	426	1,007	530	477	996	496	500
	25～29歳	1,192	612	580	1,061	575	486	1,075	587	488	1,133	624	509
	30～34歳	1,349	710	639	1,171	630	541	1,068	585	483	1,082	597	485
	35～39歳	1,763	923	840	1,393	746	647	1,175	640	535	1,074	594	480
	40～44歳	2,036	1,069	967	1,811	944	867	1,378	734	644	1,162	630	532
	45～49歳	1,691	901	790	2,048	1,065	983	1,774	918	856	1,350	714	636
	50～54歳	1,523	798	725	1,690	894	796	2,034	1,068	966	1,759	919	840
	55～59歳	1,454	751	703	1,512	790	722	1,682	891	791	2,014	1,059	955
	60～64歳	1,650	798	852	1,447	721	726	1,489	769	720	1,655	867	788
	65～69歳	1,952	950	1,002	1,652	791	861	1,420	701	719	1,468	752	716
	70～74歳	1,545	769	776	1,944	930	1,014	1,600	751	849	1,377	667	710
	75～79歳	1,208	540	668	1,466	719	747	1,833	855	978	1,513	695	818
	80～84歳	1,018	439	579	1,064	452	612	1,276	590	686	1,623	725	898
	85～89歳	773	305	468	788	300	488	859	336	523	1,013	433	580
	90～94歳				445	132	313	492	155	337	519	165	354
95歳以上	395	93	302	127	25	102	184	38	146	225	53	172	
年齢不詳	100	69	31										
総計	25,241	12,681	12,560	24,989	12,511	12,478	24,315	12,195	12,120	23,433	11,795	11,638	

		令和17年(2035年)			令和22年(2040年)			令和27年(2045年)			令和32年(2050年)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
年齢階級別	0～4歳	737	378	359	711	364	347	671	344	327	609	312	297
	5～9歳	770	391	379	750	380	370	725	367	358	684	347	337
	10～14歳	785	397	388	770	389	381	751	379	372	725	366	359
	15～19歳	852	436	416	710	360	350	697	354	343	679	344	335
	20～24歳	860	463	397	744	378	366	623	313	310	611	307	304
	25～29歳	1,107	590	517	994	554	440	871	469	402	734	388	346
	30～34歳	1,129	623	506	1,105	593	512	994	559	435	876	477	399
	35～39歳	1,093	609	484	1,140	635	505	1,115	605	510	1,003	570	433
	40～44歳	1,066	587	479	1,088	604	484	1,135	629	506	1,111	601	510
	45～49歳	1,139	613	526	1,048	573	475	1,071	591	480	1,117	616	501
	50～54歳	1,345	717	628	1,136	616	520	1,047	577	470	1,074	597	477
	55～59歳	1,742	912	830	1,338	714	624	1,131	614	517	1,046	577	469
	60～64歳	1,978	1,028	950	1,712	886	826	1,318	696	622	1,117	600	517
	65～69歳	1,634	848	786	1,953	1,006	947	1,691	868	823	1,306	685	621
	70～74歳	1,427	718	709	1,592	813	779	1,904	964	940	1,650	833	817
	75～79歳	1,309	621	688	1,362	673	689	1,523	764	759	1,821	906	915
	80～84歳	1,347	592	755	1,174	535	639	1,226	583	643	1,379	667	712
	85～89歳	1,315	547	768	1,095	449	646	969	413	556	1,026	457	569
	90～94歳	618	218	400	835	286	549	700	237	463	632	224	408
95歳以上	249	60	189	296	79	217	411	110	301	388	101	287	
総計	22,502	11,348	11,154	21,553	10,887	10,666	20,573	10,436	10,137	19,588	9,975	9,613	

表 1 - 4 年齢 3 区分別将来推計人口

単位；人

	H27	R2	R7	R12	R17	R22	R27	R32
年少人口	3,591	3,317	2,805	2,483	2,292	2,231	2,147	2,018
生産年齢人口	14,659	14,186	13,846	13,212	12,311	11,015	10,002	9,368
老年人口	6,891	7,486	7,664	7,738	7,899	8,307	8,424	8,202
総計	25,141	24,989	24,315	23,433	22,502	21,553	20,573	19,588

注) 平成 27 年の実績値の総計には不詳 (100 人) を含む

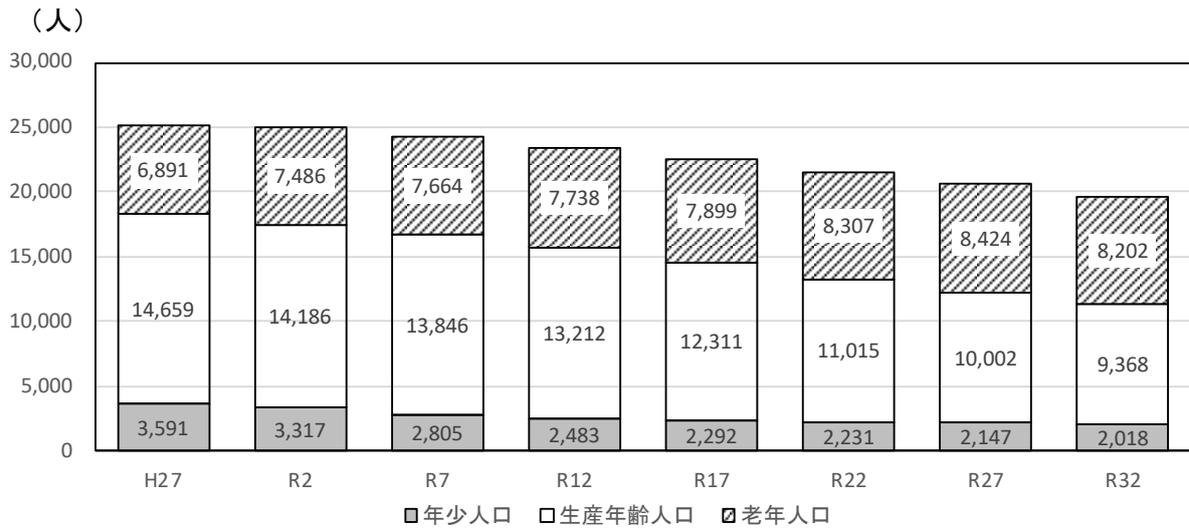


図 1 - 4 年齢 3 区分別将来推計人口

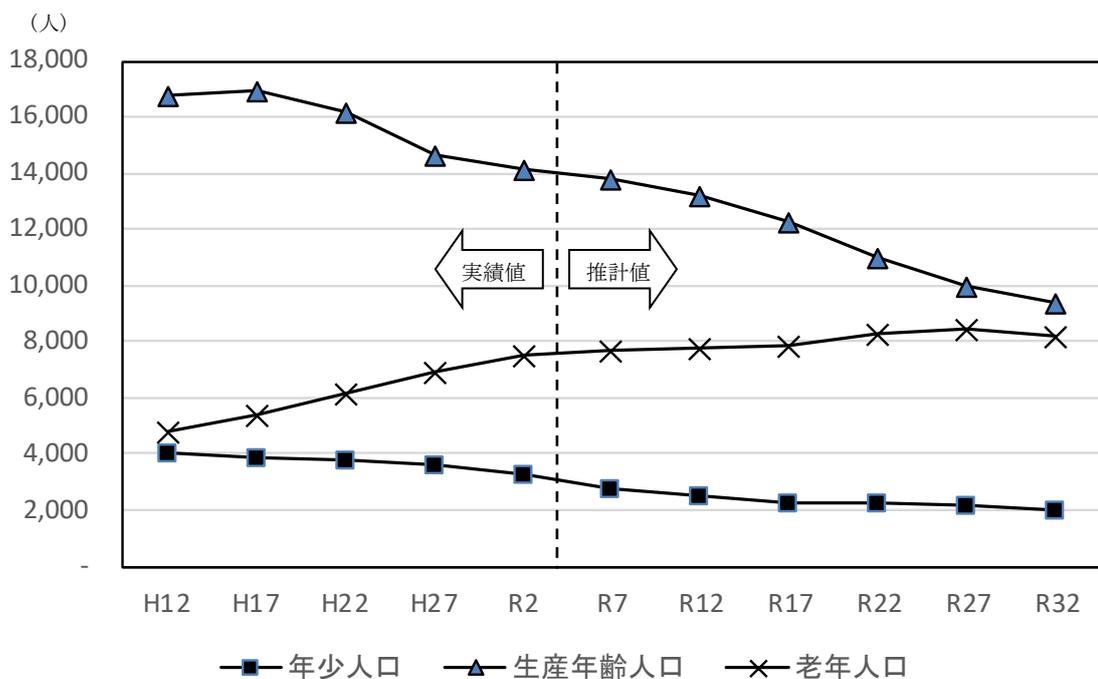


図 1 - 5 人口の推移と将来推計 (年齢 3 区分)

国立社会保障・人口問題研究所による箕輪町の令和 32 年の 5 歳階級別・男女別推計人口は図 1-6 に示すようにつぼ型が進行した逆富士山型に近い形になる。

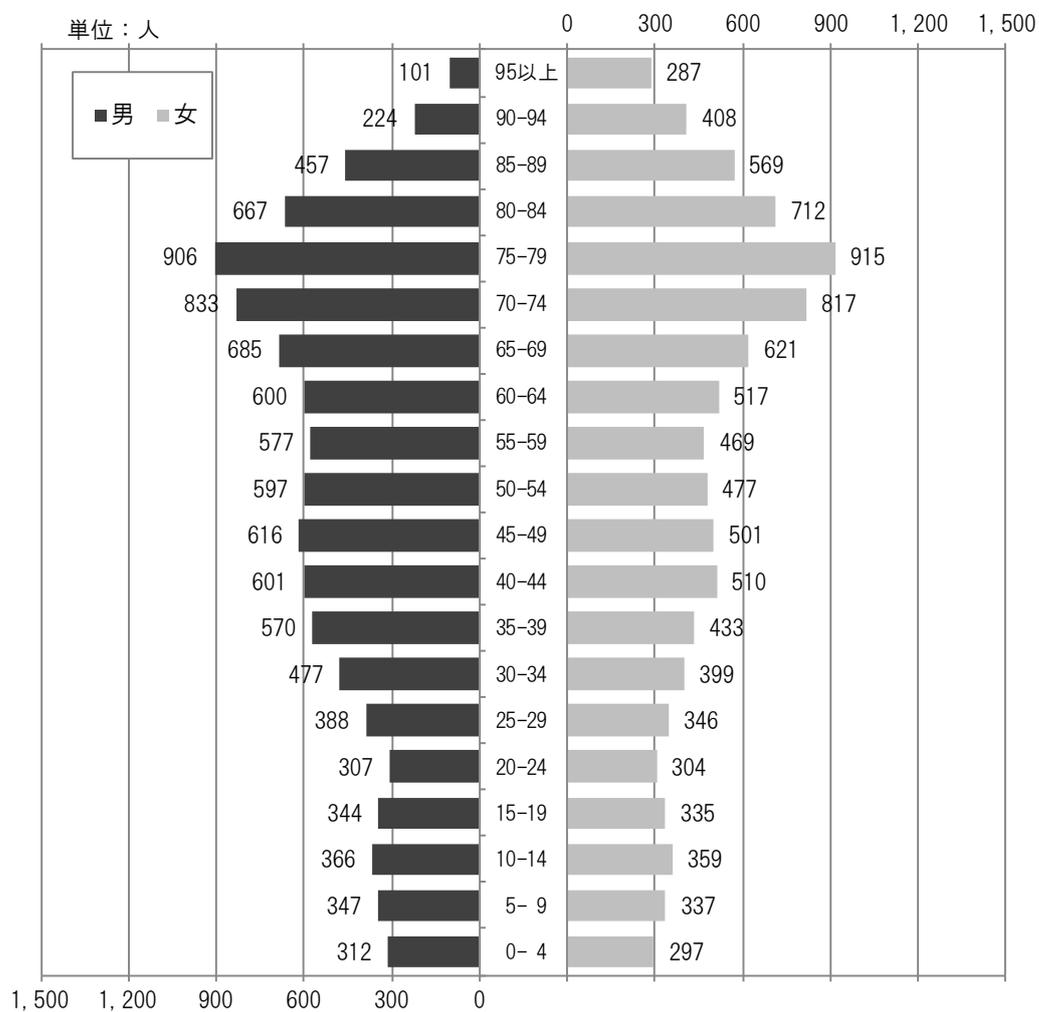


図 1 - 6 令和 32 年の 5 歳階級別年齢・性別人口

C0104 人口増減の内訳

行政区域の平成12年から令和2年までの20年間における人口増減の累計は10人増(163人+66人+59人-95人-183人=10人)となっている。

自然動態については、平成12年までは自然増であったが、平成17年以降は出生数が死亡者数を下回って、自然減の状態が続いている。

一方、社会動態については平成22年までは転入者が転出者を上回っていることから平成22年までは概ね社会増となっているが、それ以降は社会減となっている。

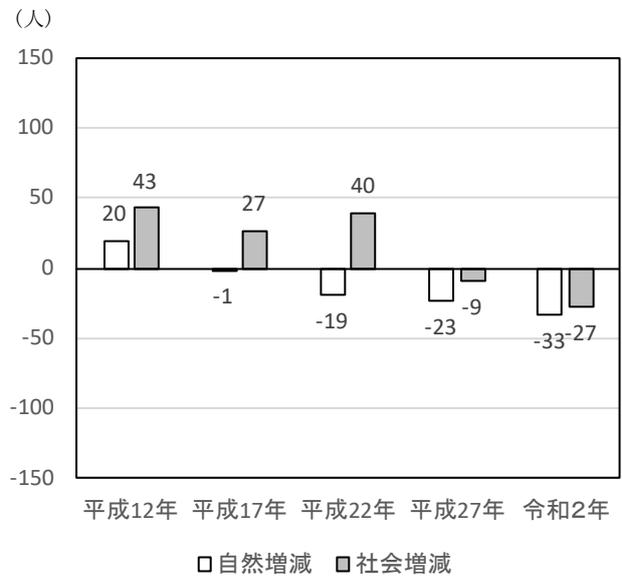
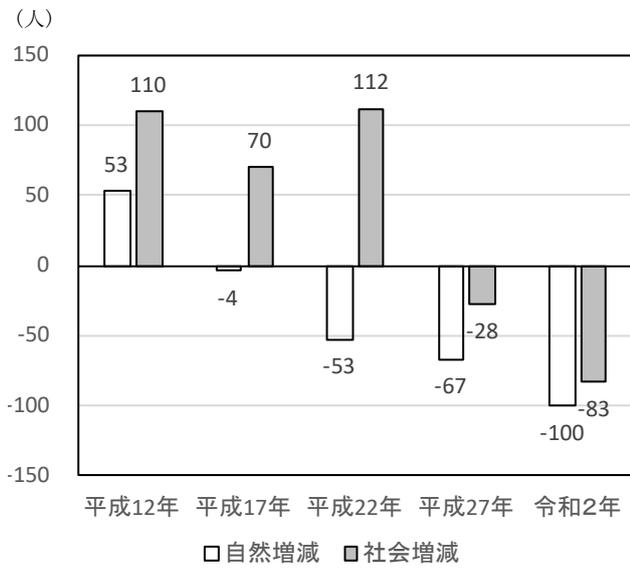
表1-5 国勢調査年の人口動態推移

(箕輪町調査(住民基本台帳年報(箕輪町町勢要覧)より作成))

		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
		人	人	人	人	人
行政区域	自然増減	53	△4	△53	△67	△100
	出生数	245	220	227	198	142
	死亡者数	192	224	280	265	242
	社会増減	110	70	112	△28	△83
	転入者数	1,037	1,117	860	972	840
	転出者数	927	1,047	748	1,000	923
	(その他増減)	—	—	—	—	—
	人口増減計	163	66	59	△95	△183
都市計画区域	自然増減	53	△4	△53	△67	△100
	出生数	245	220	227	198	142
	死亡者数	192	224	280	265	242
	社会増減	110	70	112	△28	△83
	転入者数	1,037	1,117	860	972	840
	転出者数	927	1,047	748	1,000	923
	(その他増減)	—	—	—	—	—
	人口増減計	163	66	59	△95	△183
用途地域指定区域	自然増減	20	△1	△19	△23	△33
	出生数	95	85	82	68	46
	死亡者数	75	86	101	91	79
	社会増減	43	27	40	△9	△27
	転入者数	403	430	309	333	275
	転出者数	360	403	269	342	302
	(その他増減)	—	—	—	—	—
	人口増減計	63	26	21	△32	△60

注1) 非線引き用途地域と非線引き用途白地の動態数は、都市計画区域の動態数を建物用途別現況の住宅の延床面積比で按分して試算した。

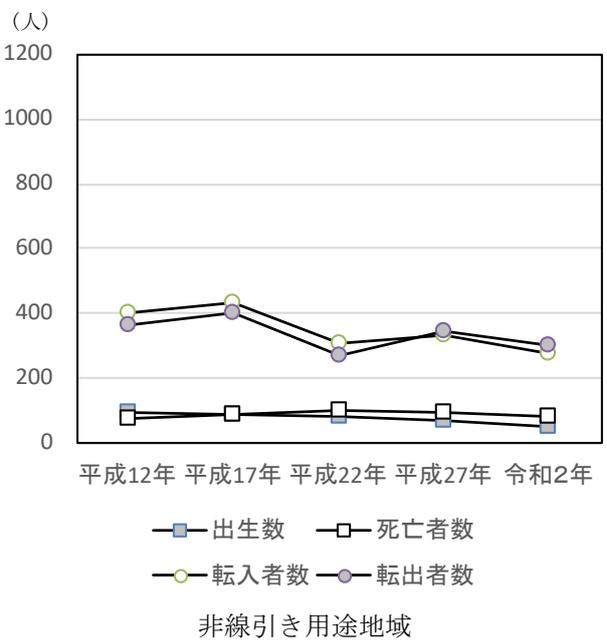
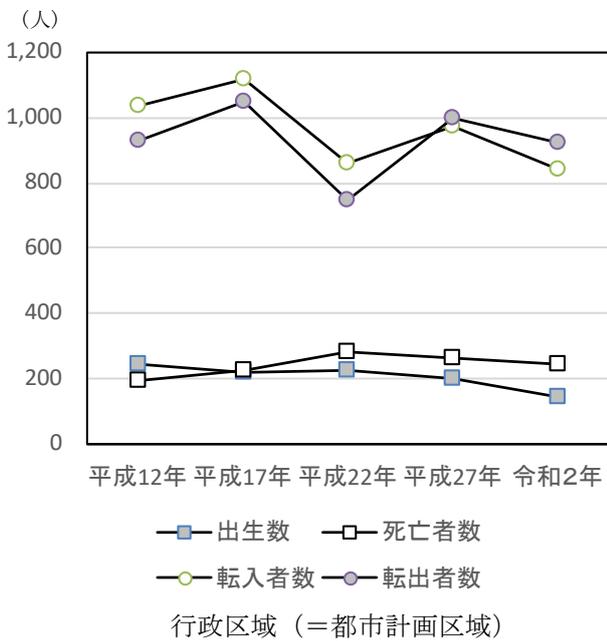
注2) 平成22年以前は各年度4月1日から3月31日の値、平成27年以降は各年1月1日から12月31日の値



行政区域 (=都市計画区域)

非線引き用途地域

図1-7 国勢調査年の人口動態の推移



行政区域 (=都市計画区域)

非線引き用途地域

図1-8 国勢調査年の人口動態の推移内訳

C0105 通勤・通学移動

平成12年から令和2年までの流出・流入人口をみると、常住地及び従業地による従業・通学者数はともに減少に転じている。令和2年の常住地による就業・通学者数は13,601人、従業・通学地による従業・通学者数は12,909人となっており、平成12年と比較するそれぞれ2,277人、3,005人の減少が見られる。流出数は増加傾向にあり、流入者数はやや減少傾向にある。

平成12年と令和2年の流出先・流入先を市町村別に見ると、流出先第1位から第3位は伊那市、辰野町、南箕輪村の順であり、流入先第1位から第3位は伊那市、南箕輪村、辰野町の順であり、平成12年以降初めて南箕輪村からの流入者が第2位となった。

また、令和2年における流出率は48.8%、流入率は45.6%と流出が流入を上回っている。

表1-6 流出・流入別人口推移

平成12, 17, 22, 27年、令和2年国勢調査 常住地・従業地における就業・通学者数をもとに作成

	常住地による 従業・通学者数 人	流 出		従業・通学地による 従業・通学者数 人	流 入		従/常 従業・通学者比率 %
		従業・通学者数 人	流出率 %		従業・通学者数 人	流入率 %	
平成12年	15,878	5,988	37.7	15,914	6,024	37.9	100.2
平成17年	15,413	6,288	40.8	14,907	5,776	38.7	96.7
平成22年	14,772	6,641	45.0	14,765	6,199	42.0	99.95
平成27年	13,981	6,533	46.7	13,390	5,924	44.2	95.8
令和2年	13,601	6,640	48.8	12,909	5,882	45.6	94.9

表1-7 市町村別流出・流入先人口推移

	流 出 先								
	流出率第1位			流出率第2位			流出率第3位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
		人	%		人	%		人	%
平成12年	伊那市	1,991	12.5	辰野町	1,353	8.5	南箕輪村	699	4.4
平成17年	"	2,134	13.8	"	1,268	8.2	"	798	5.2
平成22年	"	2,239	15.2	"	1,295	8.8	"	792	5.4
平成27年	"	2,341	16.7	"	1,351	9.7	"	847	6.1
令和2年	"	2,398	17.6	"	1,372	10.1	"	888	6.5
	流 出 先								
	流出率第4位			流出率第5位					
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率			
		人	%		人	%			
平成12年	岡谷市	588	3.7	駒ヶ根市	292	1.8			
平成17年	"	629	4.1	"	285	1.8			
平成22年	"	495	3.4	松本市	284	1.9			
平成27年	"	454	3.2	駒ヶ根市	288	2.1			
令和2年	"	421	3.1	"	276	2.0			

	流 入 先								
	流入率第1位			流入率第2位			流入率第3位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
		人	%		人	%		人	%
平成12年	伊那市	2,119	13.3	辰野町	1,277	8.0	南箕輪村	1,118	7.0
平成17年	"	2,152	14.4	"	1,184	7.9	"	1,019	6.8
平成22年	"	2,515	17.0	"	1,183	8.0	"	1,140	7.7
平成27年	"	2,424	18.1	"	1,105	8.3	"	1,051	7.8
令和2年	"	2,348	18.2	南箕輪村	1,169	9.1	辰野町	1,061	8.2
	流 入 先								
	流入率第4位			流入率第5位					
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率			
		人	%		人	%			
平成12年	駒ヶ根市	308	1.9	岡谷市	296	1.9			
平成17年	"	300	2.0	"	247	1.7			
平成22年	"	281	1.9	"	260	1.8			
平成27年	"	285	2.1	"	236	1.8			
令和2年	岡谷市	237	1.8	駒ヶ根市	236	1.8			

注1. 常住地による従業・通学者数とは、当該都市に常住する（夜間人口ベース）従業・通学者数を指す。

従業・通学地による従業・通学者数とは、当該都市に従業・通学する（昼間人口ベース）従業・通学者数を指す。資料指 国勢調査

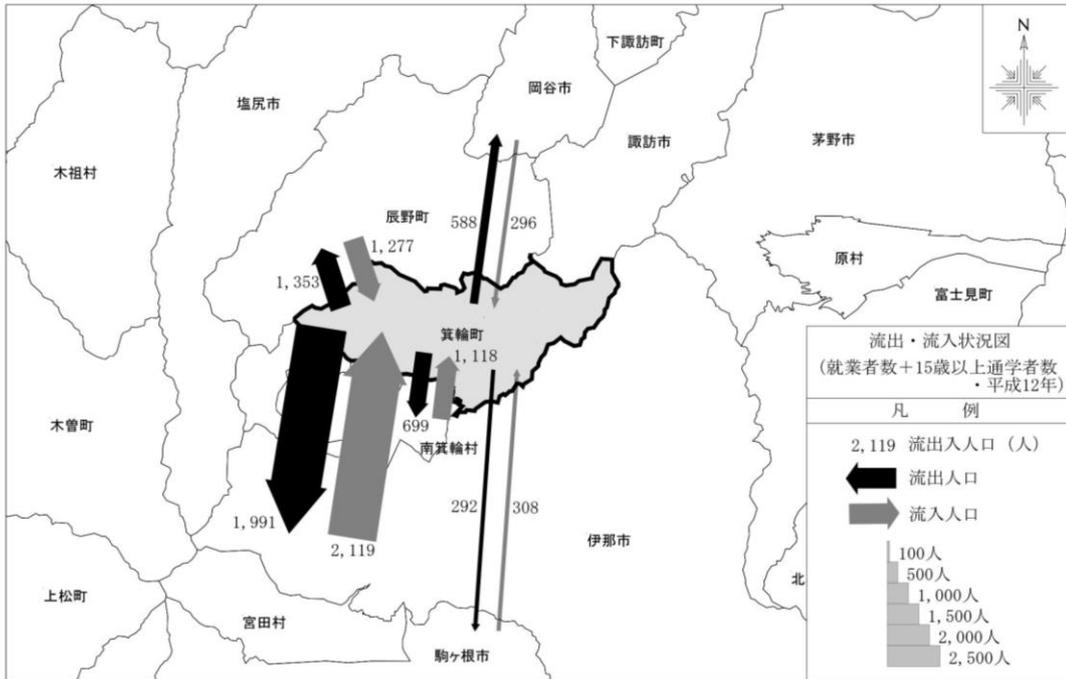
注2. 流出率=流出従業・通学者数/常住地による従業・通学者数×100

流入率=流入従業・通学者数/従業・通学地による従業・通学者数×100

注3. (従/常) 従業・通学者比率=従業・通学地による従業・通学者数/常住地による従業・通学者数×100

【平成 12 年】

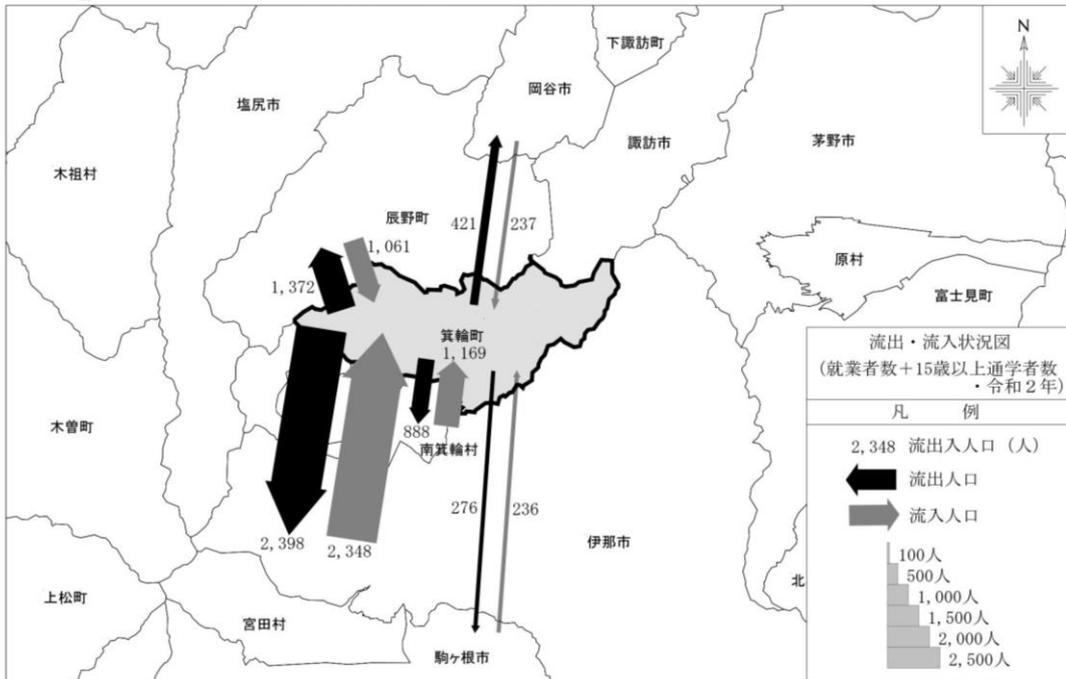
C0105_流出・流入状況図（就業者+15歳以上通学者数）



基準日：平成12年国勢調査

【令和 2 年】

C0105_流出・流入状況図（就業者+15歳以上通学者数）



基準日：令和2年国勢調査

図1-9 流出・流入人口

② 産 業

C0201 産業・職業大分類別就業者数

C0201-1 産業大分類別就業者数

常住地による産業人口の推移は、平成12年の14,659人から減少傾向が続いている。産業大分類別就業者数は、第1次産業人口と第2次産業人口は減少傾向、第3次産業人口は増加傾向にある。

表2-1 常住地による産業大分類別就業者数推移

(平成12, 17, 22, 27年、令和2年国勢調査 産業分類別就業者数常住地別就業者数をもとに作成)

産業大分類	平成12年		平成17年			
	就業者数	構成比	就業者数	構成比		
	人	%	人	%		
A. 農業	1,321	9.0	1,278	8.9		
B. 林業、狩猟業	8	0.05	5	0.03		
C. 漁業、水産養殖業	-	-	-	-		
第1次産業合計	1,329	9.1	1,283	9.0		
D. 鉱業	7	0.05	2	0.01		
E. 建設業	1,165	7.9	935	6.5		
F. 製造業	6,972	47.6	6,319	44.2		
第2次産業合計	8,144	55.6	7,256	50.7		
G. 卸売業・小売業	1,856	12.7	1,614	11.3		
H. 金融・保険業	183	1.2	158	1.1		
I. 不動産業	36	0.2	50	0.3		
J. 運輸・通信業	464	3.2	531	3.7		
K. 電気・ガス・水道業	34	0.2	31	0.2		
L. サービス業	2,377	16.2	3,132	21.9		
M. 公務	236	1.6	242	1.7		
第3次産業合計	5,186	35.4	5,758	40.2		
N. 分類不能の産業	-	-	14	0.1		
合 計	14,659	100.0	14,311	100.0		

産業大分類	平成22年		平成27年		令和2年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%	人	%
A. 農業、林業	971	7.1	916	7.1	814	6.3
うち農業	959	7.1	901	7.0	797	6.2
B. 漁業	-	-	-	-	-	-
第1次産業合計	971	7.1	916	7.1	814	6.3
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	2	0.01	2	0.02	2	0.02
D. 建設業	787	5.8	752	5.8	709	5.5
E. 製造業	5,233	38.5	5,046	39.0	5,021	38.8
第2次産業合計	6,022	44.3	5,800	44.8	5,732	44.3
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	36	0.3	39	0.3	39	0.3
G. 情報通信業	69	0.5	68	0.5	73	0.6
H. 運輸業、郵便業	449	3.3	457	3.5	447	3.5
I. 卸売業、小売業	1,461	10.7	1,467	11.3	1,392	10.8
J. 金融業、保険業	146	1.1	148	1.1	156	1.2
K. 不動産業、物品賃貸業	73	0.5	73	0.6	65	0.5
L. 学術研究、専門・技術サービス業	253	1.9	205	1.6	234	1.8
M. 宿泊業、飲食サービス業	475	3.5	471	3.6	425	3.3
N. 生活関連サービス業、娯楽業	328	2.4	361	2.8	316	2.4
O. 教育、学習支援業	423	3.1	429	3.3	467	3.6
P. 医療、福祉	1,054	7.8	1,300	10.0	1,438	11.1
Q. 複合サービス事業	100	0.7	123	1.0	114	0.9
R. サービス業（他に分類されないもの）	469	3.5	523	4.0	453	3.5
S. 公務（他に分類されるものを除く）	261	1.9	286	2.2	186	1.4
第3次産業合計	5,597	41.2	5,950	46.0	5,805	44.9
T. 分類不能の産業	1,001	7.4	272	2.1	285	2.2
合 計	13,591	100.0	12,938	100.0	12,636	100.0

注) 「-」は該当数値なし。

従業地による産業人口及び産業大分類別就業者数の推移についても、常住地と同様に減少傾向にある。

表 2-2 従業地による産業大分類別就業者数推移

産業大分類	平成 12 年	
	就業者数	構成比
	人	%
A. 農業	1,355	8.8
B. 林業	6	0.04
C. 漁業	-	-
第 1 次産業合計	1,361	8.9
D. 鉱業	1	0.01
E. 建設業	1,041	6.8
F. 製造業	8,381	54.6
第 2 次産業合計	9,423	61.4
G. 電気・ガス・熱供給・水道業	39	0.3
H. 運輸・通信業	418	2.7
I. 卸売・小売業、飲食店	1,736	11.3
J. 金融・保険業	140	0.9
K. 不動産業	31	0.2
L. サービス業	1,993	13.0
M. 公務（他に分類されないもの）	200	1.3
第 3 次産業合計	4,557	29.7
N. 分類不能の産業	4	0.03
合 計	15,345	100.0

産業大分類	平成 17 年	
	就業者数	構成比
	人	%
A. 農業	1,291	9.0
B. 林業	2	0.01
C. 漁業	-	-
第 1 次産業合計	1,293	9.0
D. 鉱業	-	-
E. 建設業	854	5.9
F. 製造業	7,201	50.0
第 2 次産業合計	8,055	56.0
G. 電気・ガス・熱供給・水道業	30	0.2
H. 情報通信業	46	0.3
I. 運輸業	429	3.0
J. 卸売・小売業	1,464	10.2
K. 金融・保険業	130	0.9
L. 不動産業	44	0.3
M. 飲食店、宿泊業	379	2.6
N. 医療、福祉	670	4.7
O. 教育、学習支援業	353	2.5
P. 複合サービス事業	143	1.0
Q. サービス業（他に分類されないもの）	1,126	7.8
R. 公務（他に分類されないもの）	207	1.4
第 3 次産業合計	5,021	34.9
S. 分類不能の産業	22	0.2
合 計	14,391	100.0

(平成22, 27年、令和2年国勢調査 産業分類別就業者数従業地別就業者数をもとに作成)

産業大分類	平成22年		平成27年		令和2年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%	人	%
A. 農業, 林業	996	7.1	930	7.2	838	6.7
うち農業	994	7.0	921	7.2	829	6.7
B. 漁業	-	-	-	-	-	-
第1次産業合計	996	7.1	930	7.2	838	6.7
C. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	1	0.01	1	0.01	-	-
D. 建設業	674	4.8	643	5.0	610	4.9
E. 製造業	6,196	43.9	5,570	43.3	5,453	43.8
第2次産業合計	6,871	48.7	6,214	48.3	6,063	48.7
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	29	0.2	27	0.2	29	0.2
G. 情報通信業	30	0.2	28	0.2	47	0.4
H. 運輸業, 郵便業	505	3.6	532	4.1	516	4.1
I. 卸売業, 小売業	1,535	10.9	1,430	11.1	1,411	11.3
J. 金融業, 保険業	118	0.8	115	0.9	133	1.1
K. 不動産業, 物品賃貸業	76	0.5	61	0.5	56	0.4
L. 学術研究, 専門・技術サービス業	190	1.3	170	1.3	174	1.4
M. 宿泊業, 飲食サービス業	451	3.2	470	3.7	395	3.2
N. 生活関連サービス業, 娯楽業	296	2.1	342	2.7	267	2.1
O. 教育, 学習支援業	358	2.5	364	2.8	371	3.0
P. 医療, 福祉	978	6.9	1,153	9.0	1,269	10.2
Q. 複合サービス事業	99	0.7	100	0.8	103	0.8
R. サービス業 (他に分類されないもの)	400	2.8	415	3.2	364	2.9
S. 公務 (他に分類されるものを除く)	229	1.6	245	1.9	242	1.9
第3次産業合計	5,294	37.5	5,452	42.4	5,377	43.2
T. 分類不能の産業	957	6.8	265	2.1	171	1.4
合計	14,118	100.0	12,861	100.0	12,449	100.0

注) 「-」は該当数値なし。

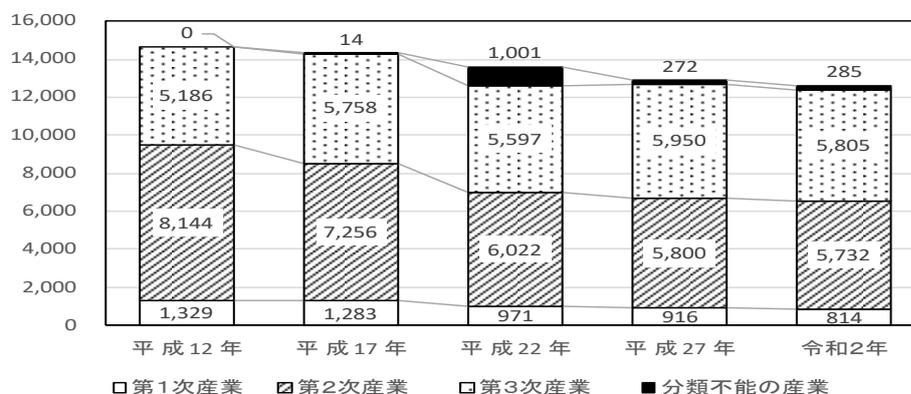


図2-1 常住地による産業3区分別人口推移

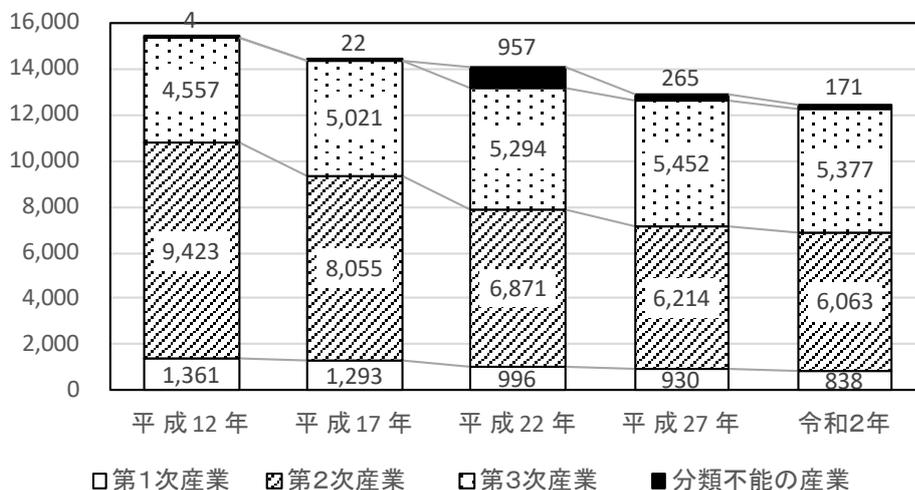


図2-2 従業地による産業3区分別人口推移

C0201-2 職業大分類別就業者数

令和2年の職業大分類別人口をみると、常住地・従業地ともに、生産工程従事者が約30%程度を占めている。常住地と従業地での職業大分類別就業者数の比較をすると、生産工程従業者の次に多い職業は順に事務従事者、専門的・技術的職業従事者であり、構成比も概ね同様の傾向が見られる。

表2-3 常住地による職業大分類別就業者数推移

(平成12, 17, 22, 27年、令和2年国勢調査 職業分類別就業者数常住地別就業者数をもとに作成)

職業大分類	平成12年		平成17年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%
A. 専門的・技術的職業従事者	1,425	9.7	1,316	9.2
B. 管理的職業従事者	333	2.3	302	2.1
C. 事務従事者	1,974	13.5	2,086	14.6
D. 販売従事者	1,248	8.5	1,178	8.2
E. F. 農林・漁業従事者	1,317	9.0	1,283	9.0
G. 採鉱・採石作業従事者	-	-	-	-
H. 運輸・通信従事者	296	2.0	295	2.1
I. 技能工・生産工程作業従事者及び、単純労働者	7,205	49.2	6,808	47.6
J. 保安職業従事者	59	0.4	80	0.6
K. サービス従事者	802	5.5	949	6.6
L. 分類不能の職業	-	-	14	0.1
合計	14,659	100.0	14,311	100.0

職業大分類	平成22年		平成27年		令和2年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%	人	%
A. 管理的職業従事者	294	2.2	289	2.2	235	1.9
B. 専門的・技術的職業従業者	1,572	11.6	1,855	14.3	1,813	14.3
C. 事務従事者	1,855	13.6	1,913	14.8	1,925	15.2
D. 販売従事者	1,109	8.2	1,150	8.9	939	7.4
E. サービス職業従事者	1,069	7.9	1,213	9.4	1,181	9.3
F. 保安職業従事者	83	0.6	95	0.7	90	0.7
G. 農林漁業従事者	951	7.0	890	6.9	786	6.2
H. 生産工程従事者	4,139	30.5	3,757	29.0	3,966	31.4
I. 輸送・機械運転従事者	290	2.1	305	2.4	284	2.2
J. 建設・採掘従事者	464	3.4	419	3.2	392	3.1
K. 運搬・清掃・包装等従業者	763	5.6	800	6.2	860	6.8
L. 分類不能の職業	1,002	7.4	252	1.9	165	1.3
合計	13,591	100.0	12,938	100.0	12,636	100.0

注) 「-」は該当数値なし。

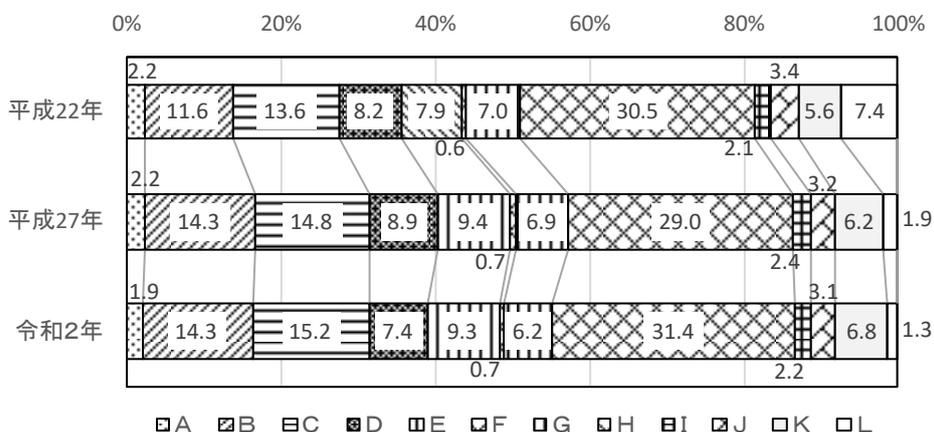


図2-3 常住地による職業大分類別人口構成の推移

表 2-4 従業地による職業大分類別就業者数推移

(平成12, 17, 22, 27年、令和 2年国勢調査 職業分類別就業者数従業地別就業者数をもとに作成)

職業大分類	平成 12 年		平成 17 年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%
A. 専門的・技術的職業従事者	1,288	8.4	1,222	8.5
B. 管理的職業従事者	360	2.3	309	2.1
C. 事務従事者	1,977	12.9	1,958	13.6
D. 販売従事者	1,144	7.5	1,073	7.5
E. サービス職業従事者	683	4.5	816	5.7
F. 保安職業従事者	54	0.4	64	0.4
G. 農林漁業作業	1,340	8.7	1,283	8.9
H. 運輸・通信従事者	286	1.9	263	1.8
I. 生産工程・労務作業	8,209	53.5	7,380	51.3
J. 分類不能の職業	4	0.0	23	0.2
合計	15,345	100.0	14,391	100.0

職業大分類	平成 22 年		平成 27 年		令和 2 年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%	人	%
A. 管理的職業従事者	303	2.1	302	2.3	244	2.0
B. 専門的・技術的職業従事者	1,536	10.9	1,711	13.3	1,741	14.0
C. 事務従事者	1,902	13.5	1,859	14.5	1,911	15.4
D. 販売従事者	1,116	7.9	1,076	8.4	931	7.5
E. サービス職業従事者	1,012	7.2	1,110	8.6	1,021	8.2
F. 保安職業従事者	56	0.4	56	0.4	56	0.4
G. 農林漁業従事者	958	6.8	900	7.0	796	6.4
H. 生産工程従事者	4,734	33.5	4,037	31.4	4,088	32.8
I. 輸送・機械運転従事者	333	2.4	338	2.6	309	2.5
J. 建設・採掘従事者	378	2.7	365	2.8	343	2.8
K. 運搬・清掃・包装等従事者	837	5.9	855	6.6	853	6.9
L. 分類不能の職業	953	6.8	252	2.0	156	1.3
合計	14,118	100.0	12,861	100.0	12,449	100.0

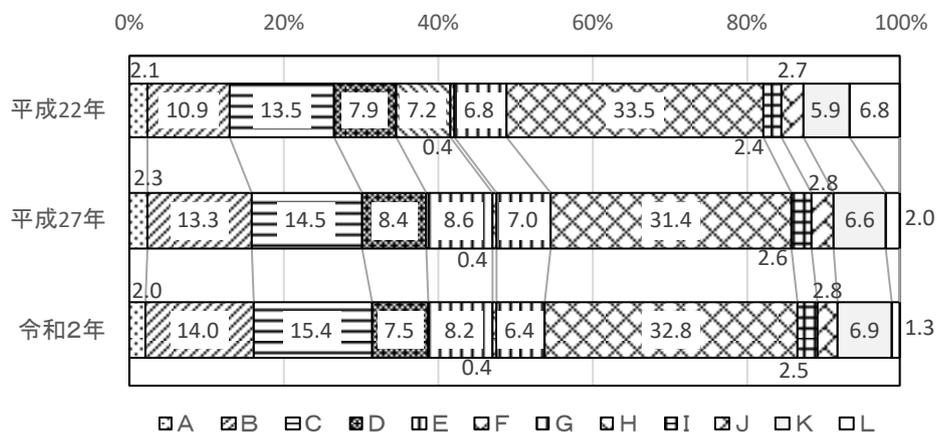


図 2-4 従業地による職業大分類別人口構成の推移

C0202 事業所数・従業者数・売上金額

C0202-1 事業所数・従業者数・売上金額

令和3年における事業所数は994事業所であり、そのうち製造業が265事業所(26.6%)、卸売業・小売業が199事業所(20.0%)、建設業が98事業所(9.8%)、宿泊業・飲食サービス業が95事業所(9.5%)となっている。従業者数については製造業が5,650人(47.2%)と最も多くを占めている。

平成21年から令和3年までの事業所数と従業者数の推移をみると、両者とも概ね減少傾向にあり、平成21年と比較して令和3年の事業所数は240事業所減(19.4%減)、従業者数は1,368人減(10.3%減)となっている。

表2-5 産業大分類別事業所数・従業者数の推移

産業大分類	平成21年								
	事業所総数	従業者規模別事業所数(民営)					出向・派遣従業者のみ	公共団体事業所数	従業者数
		1~4	5~9	10~19	20~29	30以上			
	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	人
A. B. 農林漁業	7	3	2	-	2	-	-	-	66
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D. 建設業	146	100	31	10	3	2	-	-	676
E. 製造業	321	169	52	51	14	35	-	-	5,644
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	2	-	-	-	-	-	-	-	39
G. 情報通信業	5	1	3	1	-	-	-	-	35
H. 運輸業	24	7	4	9	2	2	-	-	356
I. 卸売業・小売業	253	169	44	25	5	10	-	-	1,961
J. 金融・保険業	15	8	2	3	1	1	-	-	136
K. 不動産業	41	35	3	2	-	1	-	-	148
L. 学術研究、専門・技術サービス業	37	28	4	4	1	-	-	-	140
M. 宿泊業、飲食サービス業	117	74	25	14	2	2	-	-	684
N. 生活関連サービス業、娯楽業	95	72	14	2	4	2	1	-	438
O. 教育、学習支援業	39	20	5	3	1	-	-	-	405
P. 医療、福祉	54	11	14	7	-	11	-	-	1,153
Q. 複合サービス事業	9	5	1	1	-	2	-	-	225
R. サービス業(他に分類されないもの)	61	39	9	3	1	5	2	-	998
S. 公務(他に分類されるものを除く)	8	-	-	-	-	-	-	-	241
合計	1,234	741	213	135	36	73	3	-	13,345

注)「-」は該当数値なし。

資料：経済センサス基礎調査

産業大分類	平成23年								
	事業所総数	従業者規模別事業所数(民営)					出向・派遣従業者のみ	公共団体事業所数	従業者数
		1~4	5~9	10~19	20~29	30以上			
	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	人
A. B. 農林漁業	7	2	-	1	3	-	1	-	92
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D. 建設業	128	88	28	8	2	2	-	-	583
E. 製造業	290	140	51	39	24	35	1	-	5,643
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G. 情報通信業	4	2	2	-	-	-	-	-	18
H. 運輸業、郵便業	21	6	2	5	5	3	-	-	399
I. 卸売業、小売業	229	136	55	23	4	10	1	-	1,745
J. 金融業、保険業	15	9	2	2	2	-	-	-	118
K. 不動産業、物品賃貸業	36	26	8	2	-	-	-	-	124
L. 学術研究、専門・技術サービス業	33	24	5	3	1	-	-	-	153
M. 宿泊業、飲食サービス業	111	60	31	15	2	3	-	-	712
N. 生活関連サービス業、娯楽業	85	69	8	4	3	1	-	-	358
O. 教育、学習支援業	27	21	4	1	1	-	-	-	99
P. 医療、福祉	42	11	12	11	-	8	-	-	837
Q. 複合サービス事業	5	3	-	1	-	1	-	-	84
R. サービス業(他に分類されないもの)	64	41	11	4	-	6	2	-	1,172
合計	1,097	638	219	119	47	69	5	-	12,137

「-」は該当数値なし。

資料：経済センサス-活動調査

注)平成23年は民営事業所数のみの集計となっている。

売上金額はさらに外国の会社及び法人でない団体を除き、「D. 建設業」、「F. 電気・ガス・熱供給・水道業」、「G. 情報通信業」、「H. 運輸業、郵便業」、「J. 金融業、保険業」、「O. 教育、学習支援業」、「Q. 複合サービス事業」、「R. サービス業(他に分類されないもの)」、「合計」は試算値を記載。

表2-5のつづき

産業大分類	平成26年								
	事業所 総数	従業者規模別事業所数(民営)					出向・派遣 従業者のみ	公共団体 事業所数	従業 者数
		1~4	5~9	10~19	20~29	30以上			
事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	人
A. B. 農林漁業	9	6	1	1	1	-	-	-	54
C. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D. 建設業	120	86	22	8	2	2	-	-	533
E. 製造業	288	134	50	48	12	44	-	-	6,109
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	2	-	-	-	-	-	-	2	27
G. 情報通信業	2	1	1	-	-	-	-	-	10
H. 運輸業, 郵便業	20	4	5	4	4	3	-	-	368
I. 卸売業, 小売業	240	150	51	25	4	9	-	1	1,801
J. 金融業, 保険業	12	5	2	3	2	-	-	-	122
K. 不動産業, 物品賃貸業	33	26	5	1	-	-	1	-	89
L. 学術研究, 専門・技術サービス業	36	29	4	2	1	-	-	-	130
M. 宿泊業, 飲食サービス業	123	69	31	12	4	4	2	1	796
N. 生活関連サービス業, 娯楽業	87	71	7	3	4	1	-	1	388
O. 教育, 学習支援業	39	23	5	1	-	-	-	10	383
P. 医療, 福祉	56	12	15	9	2	7	-	11	1,117
Q. 複合サービス事業	6	4	-	1	-	1	-	-	84
R. サービス業(他に分類されないもの)	59	38	11	4	1	3	-	2	851
S. 公務(他に分類されるものを除く)	8	-	-	-	-	-	-	8	208
合計	1,140	658	210	122	37	74	3	36	13,070

資料：経済センサス-基礎調査

注) 平成26年について、公務・地方公共団体の事業所は、総数には含まれるが、従業者規模別では集計されない。
 売上金額はさらに外国の会社及び法人でない団体を除き、「D. 建設業」、「F. 電気・ガス・熱供給・水道業」、「G. 情報通信業」、「H. 運輸業, 郵便業」、「J. 金融業, 保険業」、「O. 教育, 学習支援業」、「Q. 複合サービス事業」、「R. サービス業(他に分類されないもの)」、「合計」は試算値を記載。
 「-」は該当数値なし、「X」は統計法により公表を控えたもの。

産業大分類	平成28年								
	事業所 総数	従業者規模別事業所数(民営)					出向・派遣 従業者のみ	公共団体 事業所数	従業 者数
		1~4	5~9	10~19	20~29	30以上			
事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	人
A. B. 農林漁業	8	5	1	1	1	-	-	-	58
C. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D. 建設業	114	85	15	10	2	2	-	-	521
E. 製造業	281	129	45	46	21	40	-	-	5,545
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G. 情報通信業	2	1	1	-	-	-	-	-	10
H. 運輸業, 郵便業	20	4	2	6	4	4	-	-	500
I. 卸売業, 小売業	226	133	61	21	3	8	-	-	1,647
J. 金融業, 保険業	12	5	2	2	-	2	1	-	115
K. 不動産業, 物品賃貸業	32	27	5	-	-	-	-	-	80
L. 学術研究, 専門・技術サービス業	31	22	5	2	2	-	-	-	128
M. 宿泊業, 飲食サービス業	119	70	28	10	7	4	-	-	779
N. 生活関連サービス業, 娯楽業	84	68	7	4	4	1	-	-	373
O. 教育, 学習支援業	24	19	4	-	-	-	1	-	58
P. 医療, 福祉	49	14	16	9	1	9	-	-	1,046
Q. 複合サービス事業	6	3	-	1	1	1	-	-	93
R. サービス業(他に分類されないもの)	60	39	10	6	1	3	1	-	712
合計	1,068	624	202	118	47	74	3	-	11,665

資料：経済センサス-活動調査

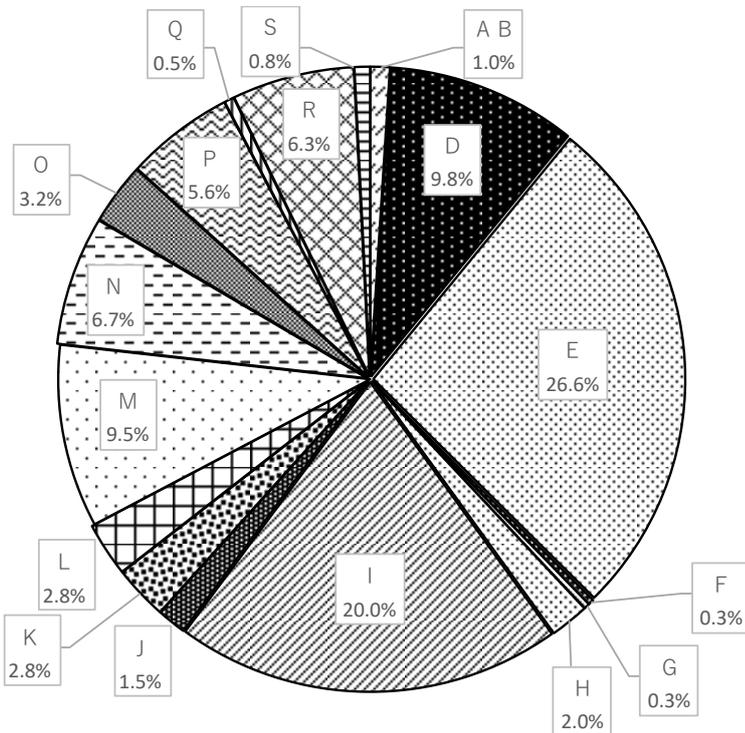
注) 平成28年は民営事業所のみを集計となっている。
 売上金額はさらに外国の会社及び法人でない団体を除き、「D. 建設業」、「F. 電気・ガス・熱供給・水道業」、「G. 情報通信業」、「H. 運輸業, 郵便業」、「J. 金融業, 保険業」、「O. 教育, 学習支援業」、「Q. 複合サービス事業」、「R. サービス業(他に分類されないもの)」、「合計」は試算値を記載。
 「-」は該当数値なし、「X」は統計法により公表を控えたもの。

表 2-5 のつづき

産業大分類	令和3年								
	事業所 総数	従業者規模別事業所数(民営)					外向・派遣 従業者のみ	公共団体 事業所数	従業者 数
		1~4	5~9	10~19	20~29	30以上			
	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	人
A. B. 農林漁業	10	6	1	2	1	-			74
C. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	-	-	-	-	-	-			
D. 建設業	98	72	13	8	4	-			492
E. 製造業	265	116	41	46	22	40			5,650
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	3	1	-	2	-	-			26
G. 情報通信業	3	2	1	-	-	-			9
H. 運輸業, 郵便業	20	3	3	6	5	3			477
I. 卸売業, 小売業	199	118	46	20	4	9	2		1,603
J. 金融業, 保険業	15	7	3	2	2	1			133
K. 不動産業, 物品賃貸業	28	25	3	-	-	-			60
L. 学術研究, 専門・技術サービス業	28	20	4	3	1	-			125
M. 宿泊業, 飲食サービス業	95	59	21	8	4	2	1		559
N. 生活関連サービス業, 娯楽業	67	55	6	2	3	1			301
O. 教育, 学習支援業	32	19	6	3	-	4			360
P. 医療, 福祉	56	18	14	11	3	10			1,279
Q. 複合サービス事業	5	2	1	1	-	1			60
R. サービス業(他に分類されないもの)	63	38	14	5	2	3	1		578
S. 公務(他に分類されるものを除く)	8	4	1	1	1	1			191
合計	994	565	178	120	52	75	4		11,977

資料：経済センサス-活動調査

注) 令和3年は民営事業所のみを集計となっている。
 売上金額はさらに外国の会社及び法人でない団体を除き、「D. 建設業」、「F. 電気・ガス・熱供給・水道業」、「G. 情報通信業」、「H. 運輸業, 郵便業」、「J. 金融業, 保険業」、「O. 教育, 学習支援業」、「Q. 複合サービス事業」、「R. サービス業(他に分類されないもの)」、「合計」は試算値を記載。
 「-」は該当数値なし、「X」は統計法により公表を控えたもの。



A. B. 農林漁業
C. 鉱業, 採石業, 砂利採取業
D. 建設業
E. 製造業
F. 電気・ガス・熱供給・水道業
G. 情報通信業
H. 運輸業, 郵便業
I. 卸売業, 小売業
J. 金融業, 保険業
K. 不動産業, 物品賃貸業
L. 学術研究, 専門・技術サービス業
M. 宿泊業, 飲食サービス業
N. 生活関連サービス業, 娯楽業
O. 教育, 学習支援業
P. 医療, 福祉
Q. 複合サービス事業
R. サービス業(他に分類されないもの)
S. 公務(他に分類されるものを除く)

図 2-5 産業大分類別事業所数構成比 (令和3年)

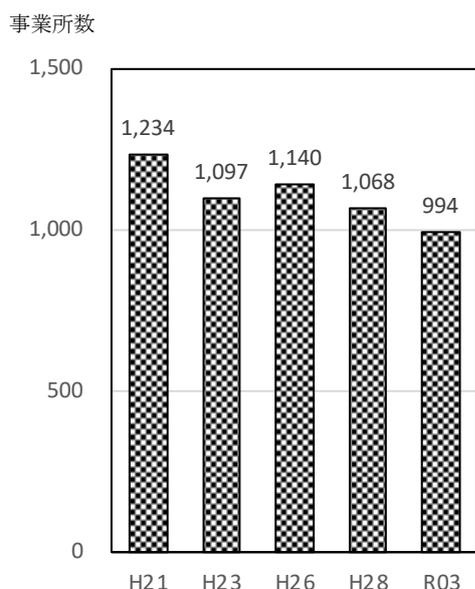


図2-6 事業所数の推移

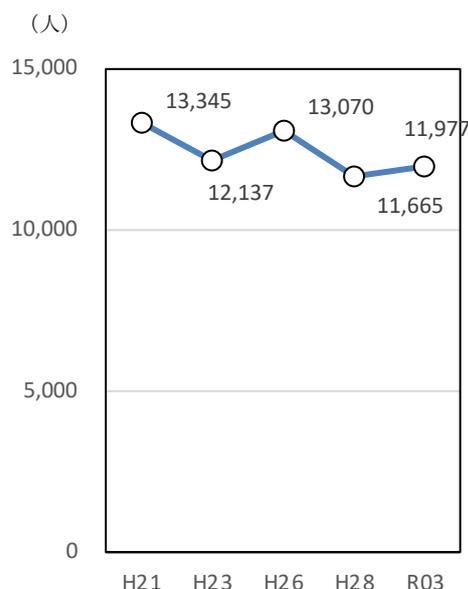


図2-7 従業員数の推移

C0202-2 産業中分類別工業出荷額

平成21年から令和元年までの工業出荷額推移をみると、平成12年から増加傾向を示していたが、令和元年が極端な減少となっている。

令和元年の工業出荷額を産業中分類別に構成比でみると、電子部品・デバイス・電子回路が48.5%と多くを占めている。

表2-6 産業中分類別工業出荷額の推移

産業中分類	平成21年		平成24年		平成26年		平成28年		令和元年	
	出荷額	デフレータ補正值								
	百万円	百万円								
合計	116,291	119,641	152,382	155,969	156,069	153,009	159,287	165,579	103,730	102,500
09.食料品	2,079	2,139	2,187	2,238	1,916	1,878	1,805	1,876	1,852	1,830
10.飲料・たばこ・飼料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11.繊維工業	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
12.木材・木製品	X	X	-	-	-	-	X	X	-	-
13.家具・装備品	X	X	166	170	X	X	X	X	X	X
14.パルプ・紙・紙加工品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15.印刷・同関連業	262	270	244	250	195	191	212	220	X	X
16.化学工業	329	339	257	263	X	X	X	X	X	X
17.石油製品・石炭製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18.プラスチック製品	978	1,007	1,953	1,999	1,386	1,359	681	708	998	986
19.ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X
20.なめし革・同製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21.窯業・土石製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
22.鉄鋼業	882	908	1,315	1,346	1,280	1,255	1,302	1,353	1,402	1,385
23.非鉄金属	X	X	499	511	291	285	4,295	4,465	519	513
24.金属製品	8,719	8,970	8,372	8,569	11,730	11,500	12,083	12,560	5,225	5,163
25.はん用機械器具	10,751	11,061	9,464	9,687	12,103	11,866	14,953	15,544	14,333	14,163
26.生産用機械器具	7,387	7,600	9,576	9,801	9,268	9,086	11,770	12,235	10,288	10,166
27.業務用機械器具	3,139	3,230	3,835	3,925	2,471	2,423	2,566	2,667	1,704	1,684
28.電子部品・デバイス・電子回路	61,462	63,233	97,330	99,621	97,068	95,165	94,373	98,101	50,352	49,754
29.電気機械器具	5,282	5,434	4,659	4,769	4,342	4,257	5,381	5,594	6,905	6,823
30.情報通信機械器具	1,777	1,829	1,733	1,774	1,413	1,385	793	824	X	X
31.輸送用機械器具	1,469	1,511	1,918	1,963	1,951	1,913	2,075	2,157	2,748	2,715
32.その他の製造業	11,390	11,718	X	X	9,924	9,729	X	X	X	X

資料：工業統計調査、経済センサス-活動調査、経済構造実態調査

注) デフレータ補正值は、令和2年を100とした企業物価指数(日本銀行調査統計局)により割り戻した値。

「-」は該当数値なし、「X」は統計法により公表を控えたもの。

表 2-7 工業出荷額推移

単位：100 万円

	出荷額	デフレーター 補正值
平成21年	116,291	119,641
平成24年	152,382	155,969
平成26年	156,069	153,009
平成28年	159,287	165,579
令和元年	103,730	102,500

資料：工業統計調査、経済センサス活動調査

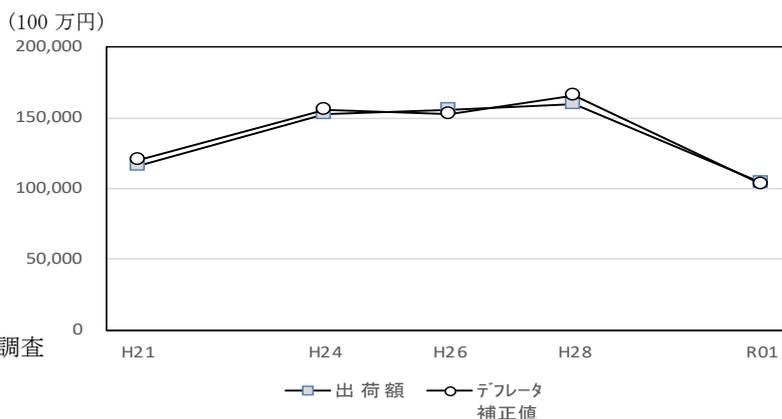


図 2-8 工業出荷額推移

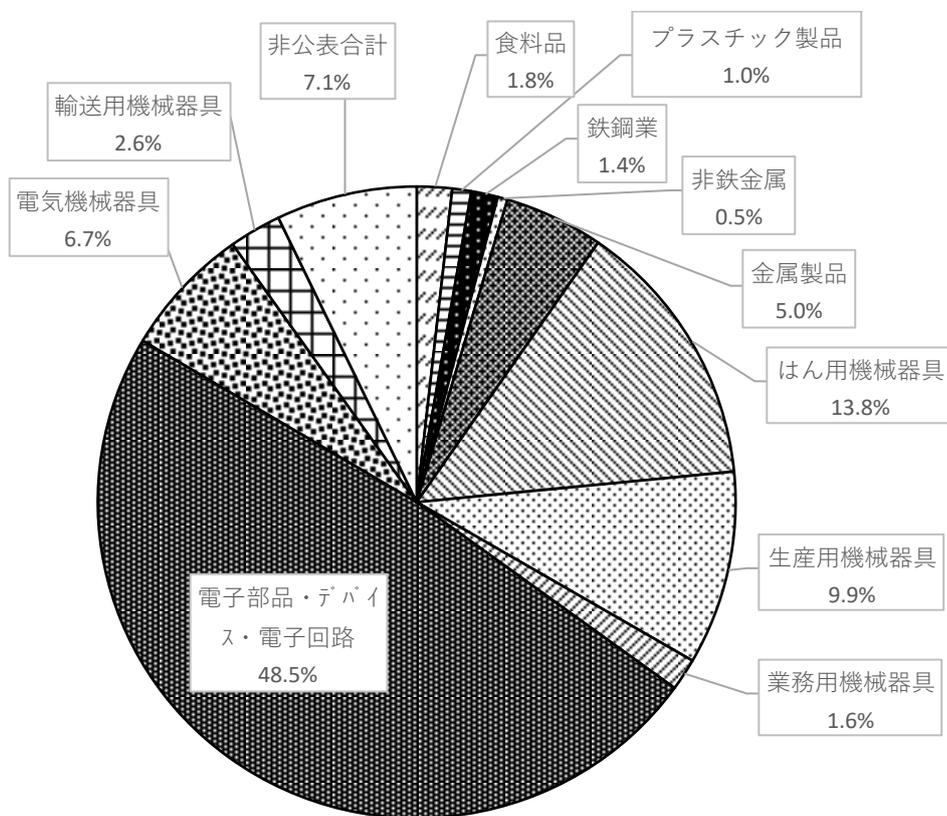


図 2-9 産業中分類別工業出荷額構成比 (令和元年)

C0202-3 工業出荷額推計

デフレータ補正值による工業出荷額の推計をみると、すべての推計式で減少傾向となった。

本推計は過去の実績をもとに行ったものであり、平成28年の165,579百万円から令和元年に102,500百万円に減少した影響でこのような推計結果になった。今回の結果は参考値として捉え、今後数年の動向を参考に再推計を行うことが望ましい。

表2-8 工業出荷額推計

	平成21年	平成24年	平成26年	平成28年	令和元年	令和2年 (基準年)	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
実績値	119,641	155,969	153,009	165,579	102,500	96,456	/	/	/	/
推計値 等差式	/	/	/	/	/	/	75,976	57,647	20,990	2,661
等比式	/	/	/	/	/	/	69,862	60,453	52,312	45,267
指数式	/	/	/	/	/	/	81,789	70,922	61,499	53,328
一次式	/	/	/	/	/	/	82,510	63,010	43,510	24,010
片対数	/	/	/	/	/	/	85,776	72,288	59,401	47,062

資料: 工業統計調査、経済センサス-活動調査、経済構造実態調査

注) 出荷額は、令和2年を100とした企業物価指数(日本銀行調査統計局)により割り戻したデフレータ補正值。

将来推計は、平成11年からの過去の実績もとに数学的手法に基づいて実施した。

基準日とした令和5年6月26日は、令和3年経済センサス活動調査の公表日。

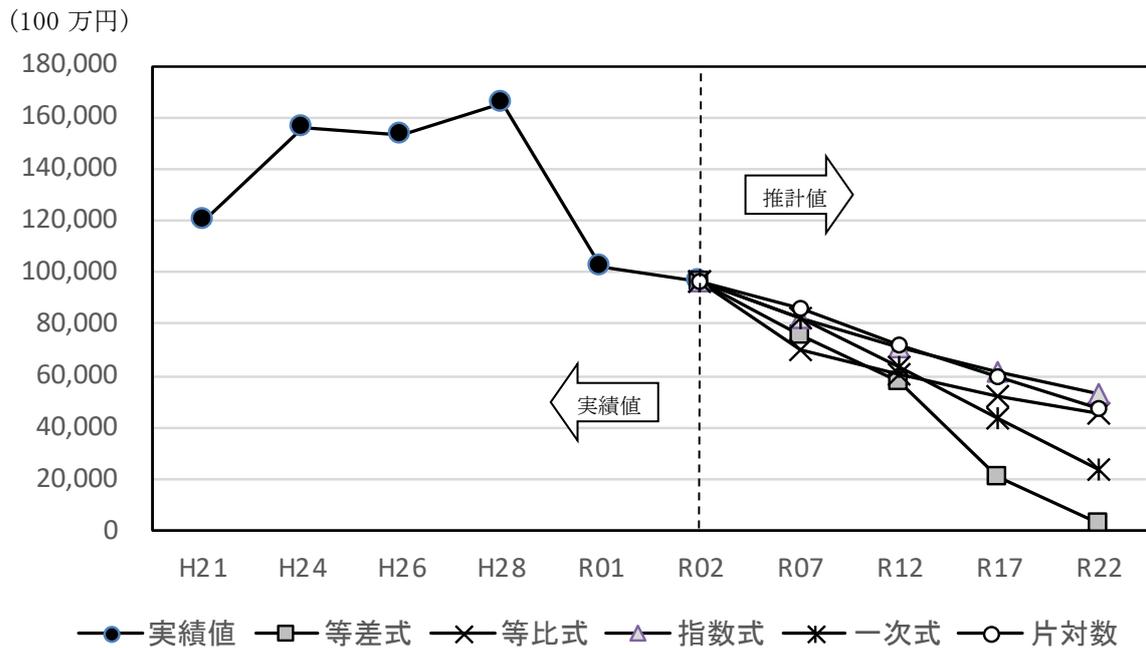


図2-10 工業出荷額推計

C0202-4 産業中分類別商業販売額

年間商品販売額のデフレーター補正值での推移をみると平成19年は約436億円であり、平成23年は約336億円に減少したが、その後はほぼ横ばいで推移し令和3年は約347億円まで上昇した。

また、令和3年の産業中分類別商品販売額を構成比でみると、飲食料品小売業が38.7%と最も多く、次いで平成28年までは分類の違いで公表されてなかったその他小売業17.3%、卸売業の小計16.7%、機械器具小売業が14.7%となっている。

表2-9 産業中分類別年間商品販売額推移

産業中分類	平成19年		平成23年		平成26年		平成28年		令和3年	
	販売額 百万円	デフレーター 補正值 百万円								
合計	41,710	43,675	31,799	33,650	33,722	34,587	33,293	33,938	34,644	34,713
50～55.卸売業	17,044	17,847	6,607	6,992	4,142	4,248	6,360	6,483	5,780	5,792
小売業計	24,666	25,828	25,192	26,658	29,580	30,338	26,933	27,455	28,864	28,922
56.各種商品小売業	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
57.織物・衣服・身の回り品小売業	1,280	1,340	848	897	967	992	1,022	1,042	1,001	1,003
58.飲食料品小売業	9,026	9,451	9,331	9,874	10,401	10,668	10,812	11,021	13,421	13,448
自動車・自転車小売業	2,990	3,131	/	/	/	/	/	/	/	/
家具・建具・じゅう器小売業	349	365	/	/	/	/	/	/	/	/
59.機械器具小売業	-	-	1,871	1,980	3,240	3,323	3,569	3,638	5,100	5,110
60.その他の小売業	X	X	X	X	X	X	X	X	6,003	6,015
61.無店舗小売業	-	-	2,794	2,957	4,055	4,159	208	212	3,339	3,346

資料：経済センサス-活動調査（卸売業・小売業）、商業統計調査

注）「-」は該当数値なし、「X」は統計法により公表を控えたもの。

デフレーター補正值は、令和2年を100とした消費者物価指数（総務省統計局）により割り戻した値。

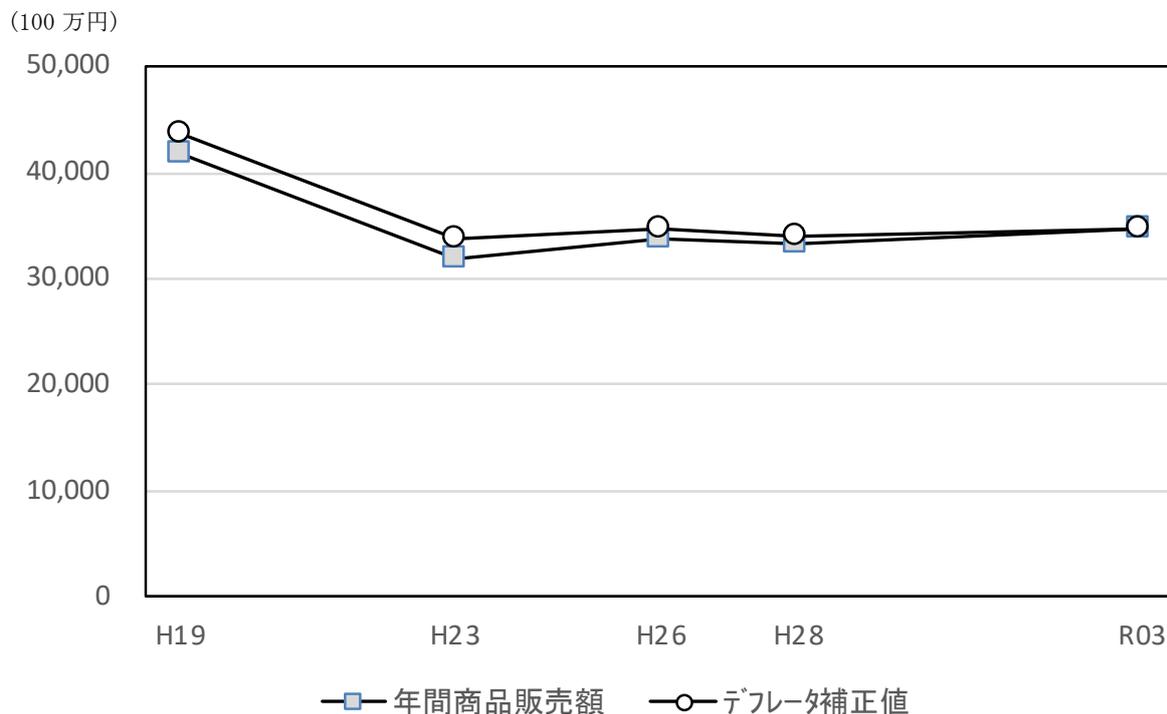


図2-11 年間商品販売額

表 2-10 年間商品販売額推移

単位：100 万円

	出荷額	デフレータ補正值
平成19年	41,710	43,675
平成23年	31,799	33,650
平成26年	33,722	34,587
平成28年	33,293	33,938
令和3年	34,644	34,713

資料：商業統計調査
経済センサス-活動調査（卸売業・小売業）

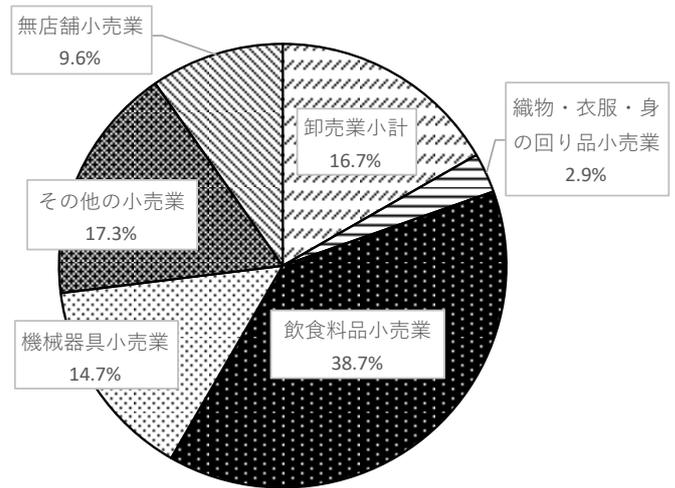


図 2-11 産業中分類別年間商品販売額構成比
(令和3年)

C0202-5 商業販売額推計

デフレータ補正值による商品販売額の推計をみると、すべての推測式で減少傾向が続くことが推測された。

なお、本推計は数学的手法に基づいて算出した結果であり、平成19年から平成23年に大きく減少した影響を強く受けている。

表 2-11 年間商品販売額推計

	平成19年	平成23年	平成26年	平成28年	令和3年 (基準年)	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
実績値	43,675	33,650	34,587	33,938	34,713				
推計値 等差式						33,548	32,092	30,636	29,179
等比式						33,661	32,389	31,166	29,989
指数式						31,144	29,240	27,452	25,774
一次式						30,649	28,261	25,873	23,484
片対数						27,265	29,146	27,265	25,467

資料：商業統計調査、経済センサス-活動調査（卸売業・小売業）

注) 商業販売額は、令和2年を100とした消費者物価指数(総務省統計局)により割り戻したデフレータ補正值。

将来推計は、平成11年からの過去の実績もとに数学的手法に基づいて実施した。

基準日とした令和5年6月26日は、令和3年経済センサス活動調査の公表日。

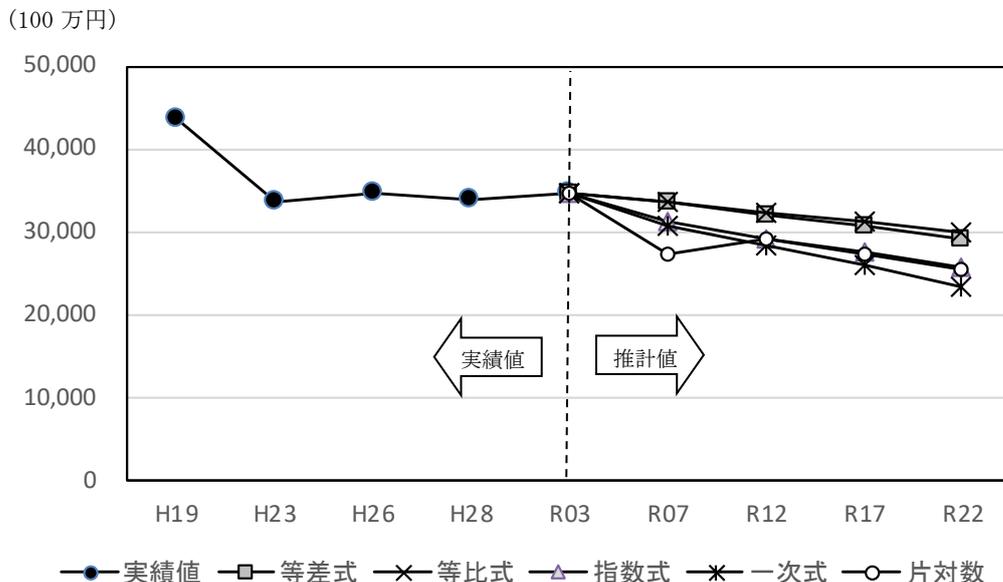


図 2-13 年間商品販売額推計

③ 土地利用

C0302 土地利用現況

C0302-1 区域区分別の土地利用別面積

都市計画区域における土地利用別現況は、自然的土地利用が 3,005.3ha (71.3%) であり、そのうち農地が 1,637.2ha (38.9%) と、多くを占めている。都市的土地利用は 1,207.7ha (28.7%) であり、そのうち宅地が 671.6ha (16.0%) と多くを占めている。

また、用途地域指定区域 370.0ha のうち都市的土地利用が 280.1ha (75.7%) であり、そのうち宅地が 183.2ha (49.6%) と多くを占めている。農地は用途地域指定区域内に 72.6ha (19.6%) 残存している。用途地域指定外区域は 3,843.0ha のうち自然的土地利用が 2,915.4ha (75.9%) であり、そのうち農地が 1,564.6ha (40.7%)、山林が 1,108.1ha (28.8%) を占めている。

表 3-1 土地利用別面積

区域区分	自然的土地利用					都市的土地利用						
	農地		山林	水面	その他の自然地	宅地			農林漁業施設用地	公益施設用地	道路用地	交通施設用地
	田	畑				住宅用地	商業用地	工業用地				
	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
都市計画区域	659.5	977.7	1,118.0	58.2	191.9	465.7	55.9	150.0	8.6	73.6	312.1	7.7
非線引き用途地域	32.9	39.7	9.9	1.5	5.9	132.0	17.6	33.6	0.3	23.5	43.9	4.4
非線引き用途白地	626.6	938.0	1,108.1	56.6	186.0	333.6	38.3	116.4	8.3	50.1	268.2	3.3

区域区分	都市的土地利用						不明	合計	可住地	非可住地	低未利用土地
	公共空地	その他公的施設用地	その他の空地①(ゴルフ場)	その他の空地②(太陽光発電のシステムを直接整備している土地)	その他の空地③(平面駐車場)	その他の空地④(その他の空地①～③以外の都市的土地利用)					
	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
都市計画区域	69.7	0.0	0.0	19.2	22.2	22.9	0.0	4,213.0	3,476.1	736.9	20.2
非線引き用途地域	9.7	0.0	0.0	1.2	9.0	4.9	0.0	370.0	278.8	91.2	5.2
非線引き用途白地	60.0	0.0	0.0	18.1	13.3	18.0	0.0	3,843.0	3,197.3	645.7	15.0

※区域区分の有無により、市街化区域及び市街化調整区域、非線引き用途地域及び非線引き用途白地のうち、必要な区域を記載する。

資料：土地利用現況図

※立地適正化計画の各区域は立地適正化計画が策定されている場合に記載する。

※非可住地は以下のとおりとする。

「水面」、「その他の自然地」、「商業用地」のうち、敷地面積が1ha以上の大規模施設用地、「公益施設用地」、「道路用地」、「交通施設用地」、「公共空地」、「その他公的施設用地」、これらのほか、土地利用状況に関係なくすべての工業専用地域

※可住地、非可住地、低未利用土地は不明を含まない。

※可住地、非可住地、低未利用土地については内数として集計する。

都市計画区域	面積(ha)	構成比(%)
A 田	659.5	15.7
B 畑	977.7	23.2
C 山林	1,118.0	26.5
D 水面	58.2	1.4
E その他の自然地	191.9	4.6
F 住宅用地	465.7	11.1
G 商業用地	55.9	1.3
H 工業用地	150.0	3.6
I 農林漁業施設用地	8.6	0.2
J 公益施設用地	73.6	1.7
K 道路用地	312.1	7.4
L 交通施設用地	7.7	0.2
M 公共空地	69.7	1.7
P その他の空地②～④	64.3	1.5
合計	4,213.0	100.0

自然的土地利用	3,005.3	71.3
都市的土地利用	1,207.7	28.7
合計	4,213.0	100.0

可住地	3,476.1	82.5
非可住地	736.9	17.5
低未利用土地	20.2	0.5

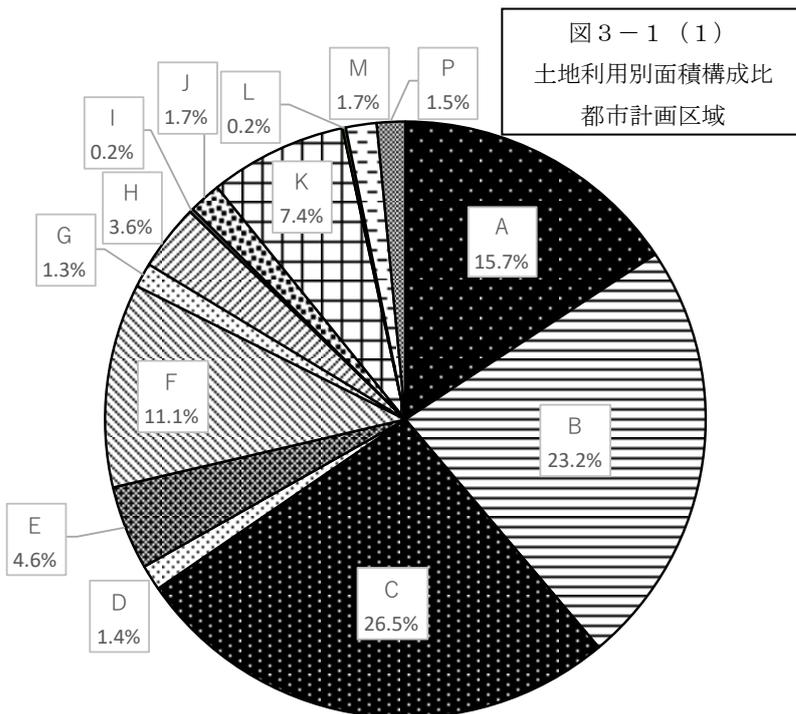


図3-1(2)
土地利用別面積構成比
非線引き用途地域

非線引き用途地域	面積(ha)	構成比(%)
A 田	32.9	8.9
B 畑	39.7	10.7
C 山林	9.9	2.7
D 水面	1.5	0.4
E その他の自然地	5.9	1.6
F 住宅用地	132.0	35.7
G 商業用地	17.6	4.8
H 工業用地	33.6	9.1
I 農林漁業施設用地	0.3	0.1
J 公益施設用地	23.5	6.4
K 道路用地	43.9	11.9
L 交通施設用地	4.4	1.2
M 公共空地	9.7	2.6
P その他の空地②～④	15.0	4.1
合計	370.0	100.0

自然的土地利用	89.9	24.3
都市的土地利用	280.1	75.7
合計	370.0	100.0

可住地	278.8	75.3
非可住地	91.2	24.7
低未利用土地	5.2	1.4

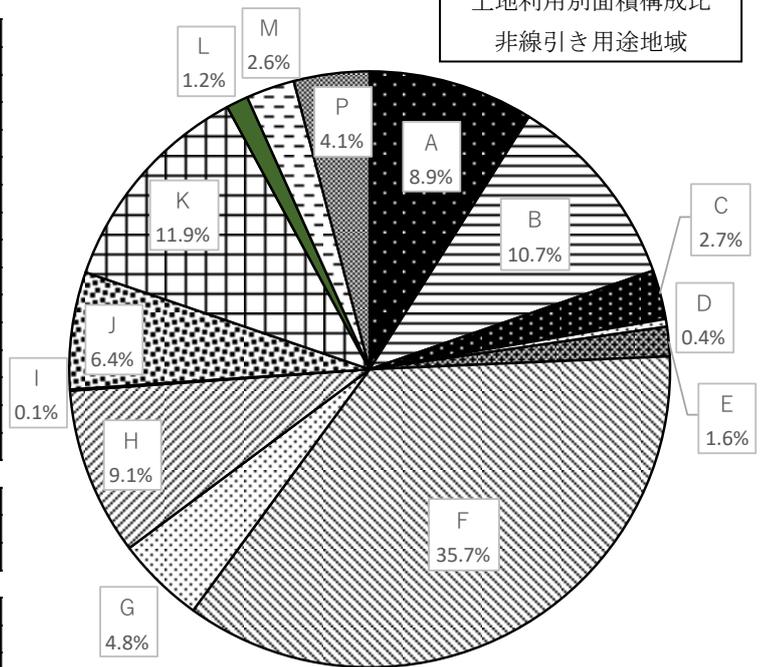


図3-1(3)
土地利用別面積構成比
非線引き用途白地

非線引き用途白地	面積(ha)	構成比(%)
A 田	626.6	16.3
B 畑	938.0	24.4
C 山林	1,108.1	28.8
D 水面	56.6	1.5
E その他の自然地	186.0	4.8
F 住宅用地	333.6	8.7
G 商業用地	38.3	1.0
H 工業用地	116.4	3.0
I 農林漁業施設用地	8.3	0.2
J 公益施設用地	50.1	1.3
K 道路用地	268.2	7.0
L 交通施設用地	3.3	0.1
M 公共空地	60.0	1.6
P その他の空地②～④	49.3	1.3
合計	3,843.0	100.0

自然的土地利用	2,915.4	75.9
都市的土地利用	927.6	24.1
合計	3,843.0	100.0

可住地	3,197.3	83.2
非可住地	645.7	16.8
低未利用土地	15.0	0.4

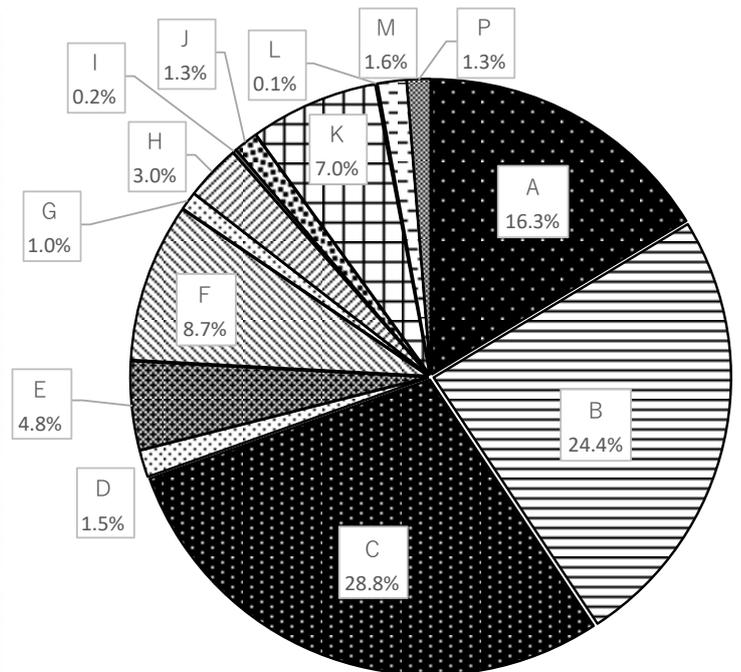


図3-1 土地利用別面積構成比

C0302-2 地区別の土地利用別面積

地区単位（字単位：図3-2）ごとの土地利用面積は、表3-2に示すようになる。農地率、宅地率、太陽光発電敷地（その他の空地②）及び工業用地に着目して大きい地域、小さい地域を表3-3～表3-6にまとめた。



図3-2 地区単位区分図

表3-2 (1) 地区別用途別土地利用面積 (1)

大字・町名	字・丁目名	田	畑	山林	水面	その他の 自然地	住宅用地	商業用地	工業用地	農林漁業 施設用地	公益施設 用地
		ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
中箕輪	沢	27.9	15.4	1.7	4.4	10.3	27.4	0.6	1.9	0.1	3.8
中箕輪	沢上	18.3	57.0	51.7	1.2	11.7	38.3	6.5	7.9	0.0	4.9
中箕輪	大出	44.5	39.5	6.6	2.4	11.0	23.8	4.1	2.7	0.2	2.1
中箕輪	大出山口	0.0	15.9	44.3	0.0	0.8	12.3	0.6	3.1	0.1	0.1
中箕輪	八乙女	8.6	22.5	8.2	1.0	4.4	10.5	0.2	1.6	0.0	2.6
中箕輪	下古田	20.8	34.7	107.1	1.0	7.3	10.7	0.2	0.4	0.5	0.7
中箕輪	上古田	37.3	80.1	135.8	1.9	8.2	19.7	0.2	3.5	0.5	4.0
中箕輪	中原	1.8	44.3	2.9	0.3	2.4	8.0	0.0	3.8	3.0	0.8
中箕輪	松島	129.6	92.1	10.2	5.5	17.2	94.8	21.6	35.9	0.7	18.9
中箕輪	木下	101.9	26.7	7.0	3.5	9.2	72.8	5.4	12.2	0.3	11.1
中箕輪	南原	18.2	101.6	13.2	1.6	7.3	10.4	1.7	22.6	1.1	0.2
中箕輪	一の宮	0.0	140.8	25.7	1.3	5.1	7.5	1.6	11.5	0.4	1.8
中箕輪	富田	13.5	60.9	79.4	0.8	6.8	13.0	0.2	1.1	0.3	0.8
中箕輪	中曾根	10.0	43.9	19.9	1.0	2.8	9.0	0.1	8.9	0.1	0.9
三日町	三日町	60.3	27.7	182.7	15.7	29.5	22.9	11.4	15.5	0.1	9.2
福与	福与	60.1	64.8	129.9	0.7	12.1	21.0	0.3	8.0	0.4	1.6
東箕輪	長岡	36.5	56.7	68.6	7.0	17.0	26.0	0.4	2.3	0.8	2.3
東箕輪	南小河内	34.9	28.4	176.9	4.9	17.2	14.1	0.1	1.1	0.2	5.5
東箕輪	北小河内	35.4	24.6	46.3	4.0	11.6	23.6	0.8	5.9	0.0	2.0
合計		659.5	977.7	1,118.0	58.2	191.9	465.7	55.9	150.0	8.6	73.6

表3-2(2) 地区別用途別土地利用面積(2)

大字・町名	字・丁目名	道路用地	交通施設用地	公共空地	その他の公的施設用地	その他の空地①(ゴルフ場)	その他の空地②(太陽光発電のシステムを直接整備している土地)	その他の空地③(平面駐車場)	その他の空地④(その他の空地①～③以外の都市的土地利用)	不明	低未利用土地
		ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
中箕輪	沢	13.0	1.2	2.0	0.0	0.0	0.9	0.6	1.0	0.0	0.8
中箕輪	沢上	22.7	0.0	20.5	0.0	0.0	2.5	1.6	2.1	0.0	0.5
中箕輪	大出	17.5	0.2	0.3	0.0	0.0	0.7	0.9	0.5	0.0	1.1
中箕輪	大出山口	4.7	0.0	1.4	0.0	0.0	0.2	0.3	0.5	0.0	0.4
中箕輪	八乙女	6.3	0.0	1.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.3	0.0	0.2
中箕輪	下古田	7.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	0.0	0.3
中箕輪	上古田	14.6	0.0	2.4	0.0	0.0	2.3	0.5	1.4	0.0	0.8
中箕輪	中原	7.7	0.0	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0	0.4	0.0	0.4
中箕輪	松島	55.9	3.7	7.6	0.0	0.0	0.9	7.4	4.9	0.0	4.3
中箕輪	木下	29.9	1.3	3.2	0.0	0.0	0.8	4.5	2.4	0.0	2.6
中箕輪	南原	19.0	0.0	0.3	0.0	0.0	1.2	0.8	2.0	0.0	0.2
中箕輪	一の宮	17.2	0.2	0.7	0.0	0.0	0.8	0.4	1.3	0.0	1.4
中箕輪	富田	11.5	0.0	0.9	0.0	0.0	2.2	0.0	0.2	0.0	0.5
中曾根	中曾根	8.7	0.0	0.4	0.0	0.0	0.4	0.3	1.2	0.0	0.2
三日町	三日町	23.8	0.9	13.1	0.0	0.0	1.6	3.0	1.4	0.0	3.1
福与	福与	16.4	0.0	1.5	0.0	0.0	1.3	0.1	0.5	0.0	1.0
東箕輪	長岡	13.9	0.0	5.0	0.0	0.0	1.5	0.9	0.5	0.0	0.7
東箕輪	南小河内	11.0	0.0	6.8	0.0	0.0	0.7	0.3	1.1	0.0	0.8
東箕輪	北小河内	11.3	0.0	1.5	0.0	0.0	1.0	0.3	0.4	0.0	0.9
合計		312.1	7.7	69.7	0.0	0.0	19.2	22.2	22.9	0.0	20.2

※低未利用土地については、内数として集計する。

表3-3 農地率の大きい字、小さい字

字名	農地率(%)
一の宮	65.1
中原	60.8
南原	59.6
大出	53.5
中曾根	50.1

字名	農地率(%)
大出山口	18.9
南小河内	20.9
三日町	21.0
下古田	28.9
沢上	30.5

表3-4 宅地率が大きい字、小さい字

字名	宅地率(%)
木下	30.9
松島	30.0
沢	26.6
沢上	21.3
大出	19.5

字名	宅地率(%)
南小河内	5.1
下古田	5.9
上古田	7.5
富田	7.5
福与	9.2

※ 農地率=農地(田+畑)/地区面積×100(%)

※ 宅地率=宅地(住宅用地+商業用地+工業用地)/地区面積×100(%)

表3-5 太陽光発電敷地(その他の空地②)の面積の大きい字、小さい字

字名	面積(ha)
沢上	2.5
上古田	2.3
富田	2.2
三日町	1.6
長岡	1.5

字名	面積(ha)
下古田	0.0
中原	0.1
大出山口	0.2
八乙女	0.2
中曾根	0.4

表3-6 工業用地面積の大きい字、小さい字

字名	面積(ha)
松島	35.9
南原	22.6
三日町	15.5
木下	12.2
一の宮	11.5

字名	面積(ha)
下古田	0.4
南小河内	1.1
富田	1.1
八乙女	1.6
沢	1.9

C0304 宅地開発状況

平成 30 年から令和 4 年の過去 5 年間の宅地開発状況は、開発許可による開発行為が 5 件 (3.8ha) となっており、用途は工業用地が 2 件、住宅、公益施設用地及びそのほか各 1 件となっている。

表 3-7 開発行為許可状況

区域区分	年度	住宅用地		商業用地		工業用地		公益施設用地		その他		合計	
		件数	面積 m ²	件数	面積 m ²	件数	面積 m ²	件数	面積 m ²	件数	面積 m ²	件数	面積 m ²
行政区域	平成30年	1	3,842			1	7,444					2	11,286
	令和元年					1	4,975	1	12,505	1	8,949	3	26,429
	令和2年												
	令和3年												
	令和4年												
	合計	1	3,842			2	12,419	1	12,505	1	8,949	5	37,715
用途線引き	平成30年	1	3,842									1	3,842
	令和元年												
	令和2年												
	令和3年												
	令和4年												
	合計	1	3,842									1	3,842
用途線引き	平成30年					1	7,444					1	7,444
	令和元年					1	4,975	1	12,505	1	8,949	3	26,429
	令和2年												
	令和3年												
	令和4年												
	合計					2	12,419	1	12,505	1	8,949	4	33,873

資料：開発許可申請書



図 3-3 開発許可による開発行為位置図

C0305 農地転用状況

平成30年から令和4年までの5年間の農地転用面積は、用途地域指定区域では64,221㎡、用途地域指定外区域では248,952㎡の合計313,173㎡となっている。また、年度別では、令和元年度が最も多かった。

転用用途別にみると、用途地域指定区域では76.5%が住宅用地への転用で、用途地域指定外区域では、その他の用地への転用が44.5%で住宅用地への転用は40.2%であった。

表3-8 農地転用推移

区域区分	転用用途 年度	住宅用地		工業用地		公共用地		その他		合計		前年末の 農地面積 ㎡
		件数 件	面積 ㎡									
非線引き 用途地域	平成30年	14	8,754			1	508	3	1,653	18	10,915	763,446
	令和元年	18	10,797					14	4,756	32	15,553	752,531
	令和2年	8	8,922			1	61	6	2,638	15	11,621	736,978
	令和3年	15	10,534					14	3,717	29	14,251	725,357
	令和4年	14	10,144	1	1,276			2	461	17	11,881	711,106
	合計	69	49,151	1	1,276	2	569	39	13,225	111	64,221	
非線引き 用途白地	平成30年	41	18,137	2	8,063	1	320	17	19,342	61	45,862	15,788,169
	令和元年	39	20,084	2	5,282	2	12,717	24	28,770	67	66,853	15,742,307
	令和2年	33	16,828	1	830	3	1,683	30	19,991	67	39,332	15,675,454
	令和3年	34	18,320	6	6,371			26	18,821	66	43,512	15,636,122
	令和4年	40	26,608	2	1,926	2	932	29	23,927	73	53,393	15,592,610
	合計	187	99,977	13	22,472	8	15,652	126	110,851	334	248,952	
合計	平成30年	55	26,891	2	8,063	2	828	20	20,995	79	56,777	16,551,615
	令和元年	57	30,881	2	5,282	2	12,717	38	33,526	99	82,406	16,494,838
	令和2年	41	25,750	1	830	4	1,744	36	22,629	82	50,953	16,412,432
	令和3年	49	28,854	6	6,371			40	22,538	95	57,763	16,361,479
	令和4年	54	36,752	3	3,202	2	932	31	24,388	90	65,274	16,303,716
	合計	256	149,128	14	23,748	10	16,221	165	124,076	445	313,173	

資料：農地転用申請書

注) 一時転用についても含まれる。同じ土地に対して複数回申請が出されている場合は、申請初年度を転用年とした。

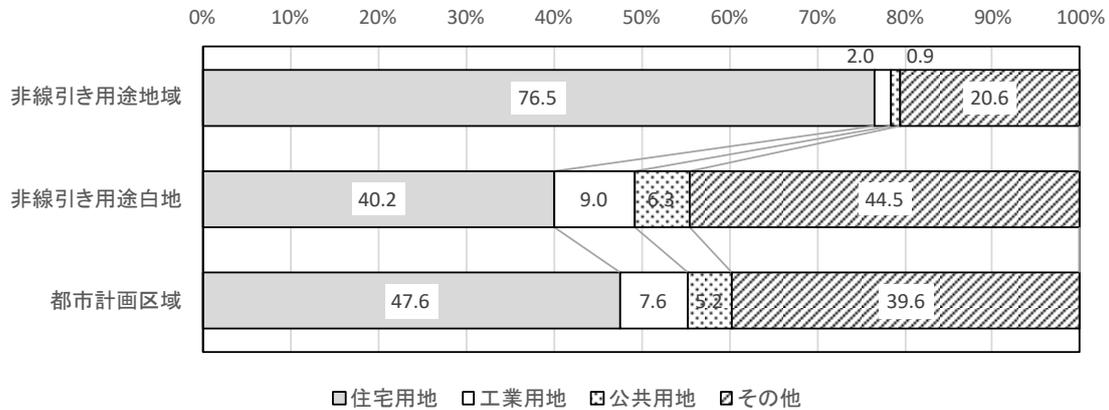


図3-4 農地転用面積構成比 (平成30年から令和5年の合計面積割合)
面積(ha)

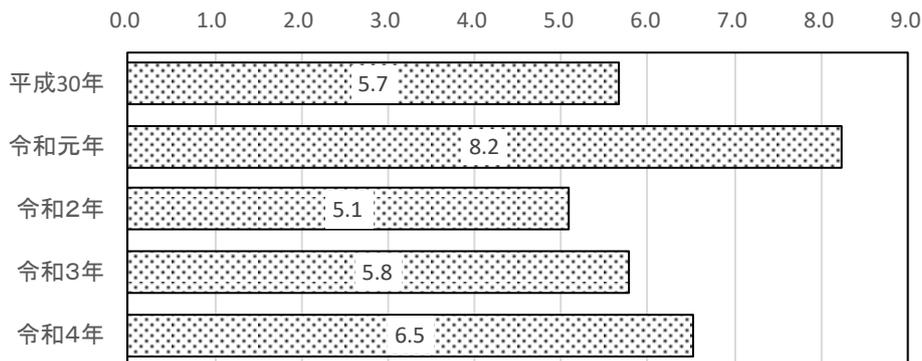


図3-5 年度別農地転用面積

C0307 新築状況

平成30年から令和4年までの5年間における都市計画区域の新築状況は、件数が669件、敷地面積が403,848㎡である。

そのうち用途地域指定外区域の件数は422件で全新築件数の63.1%である。

建物の用途別にみると、住宅が545件であり全体の81.5%を占めている。用途地域指定区域では住宅が83.8%、商業が6.9%、その他が5.3%、工業が3.2%となっている。用途地域指定外区域では、住宅は80.1%、工業9.2%、その他が7.6%となっている。

表3-9 用途地域内外別新築建物状況

(基準日：平成30年4月1日～令和5年3月31日)

	住宅		商業施設		工業施設		公共施設		その他		合計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
	件	㎡	件	㎡	件	㎡	件	㎡	件	㎡	件	㎡
非線引き用途地域	207	75,277	17	8,813	8	14,118	2	4,525	13	5,208	247	107,943
非線引き用途白地	338	137,683	9	14,774	39	99,189	4	14,403	32	29,852	422	295,904
都市計画区域	545	212,961	26	23,587	47	113,308	6	18,929	45	35,061	669	403,848

資料：建築確認申請書、建築計画概要書(H30～R4)

※区域区別、用途別の1㎡未満の敷地面積は切り捨てて表示している。

※区域区別の合計面積については、各建物用途別の1㎡未満の敷地面積(㎡)をとりまとめたのちに1㎡未満の面積を切り捨てて表示している。

※都市計画区域の敷地面積については、区域区別の1㎡未満の敷地面積(㎡)をとりまとめたのちに1㎡未満の面積を切り捨てて表示している。

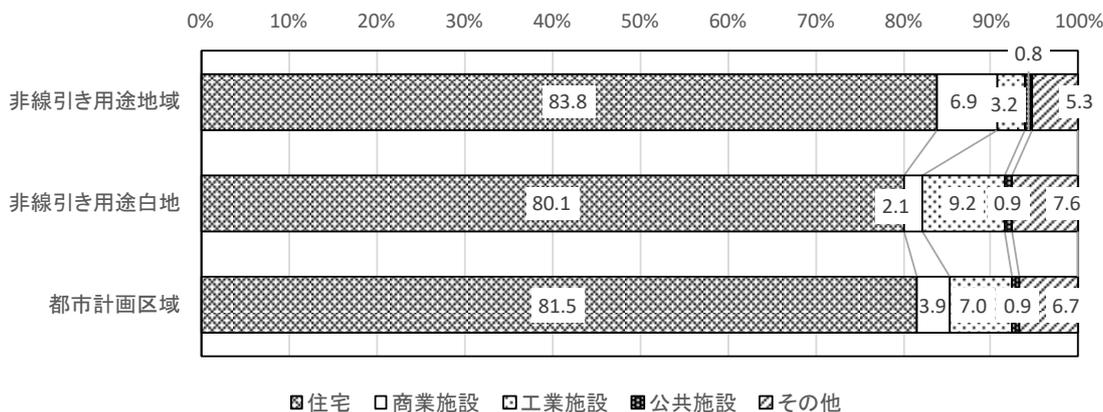


図3-6 用途別新築建物件数構成比 (平成30年から令和4年の合計件数割合)

表3-10 地域別新築状況

(基準日：平成30年4月1日～令和5年3月31日)

大字名	字名	住宅		商業施設		工業施設		公共施設		その他		合計	
		件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
		件	㎡	件	㎡	件	㎡	件	㎡	件	㎡	件	㎡
中箕輪	沢	37	12,524									37	12,524
中箕輪	沢上	60	20,342	1	1,135	4	2,838			1	425	66	24,742
中箕輪	大出	26	11,130	4	4,457					3	1,509	33	17,096
中箕輪	大出山口	12	5,070	1	1,211							13	6,281
中箕輪	八乙女	8	3,109			1	919	1	1,067			10	5,095
中箕輪	下古田	8	3,587							1	201	9	3,788
中箕輪	上古田	17	7,620			2	4,800			3	2,439	22	14,860
中箕輪	中原	9	3,316			2	181					11	3,497
中箕輪	松島	141	53,373	18	14,647	10	17,682	2	4,511	7	3,626	178	93,842
中箕輪	木下	121	41,666	2	2,135	3	2,568	3	13,350	9	4,660	138	64,382
中箕輪	南原	7	5,187			2	26,588			5	5,410	14	37,186
中箕輪	一の宮	1	829			4	12,509			1	671	6	14,009
中箕輪	富田	5	2,756							2	1,626	7	4,383
中曽根	中曽根	5	2,574			7	7,369					12	9,943
三日町	三日町	37	12,768			7	23,189			9	11,965	53	47,924
福与	福与	8	4,689			1	8,636					9	13,325
東箕輪	長岡	20	11,163			2	4,449			1	344	23	15,958
東箕輪	南小河内	4	1,743			1	1,081			1	321	6	3,145
東箕輪	北小河内	19	9,505			1	495			2	1,858	22	11,859
合計		545	212,961	26	23,587	47	113,308	6	18,929	45	35,061	669	403,848

資料：建築確認申請書、建築計画概要書(H30～R4)

※小地域別、用途別の1㎡未満の敷地面積は切り捨てて表示している。

※小地域別の合計面積については、各建物用途別の1㎡未満の敷地面積(㎡)をとりまとめたのちに1㎡未満の面積を切り捨てて表示している。

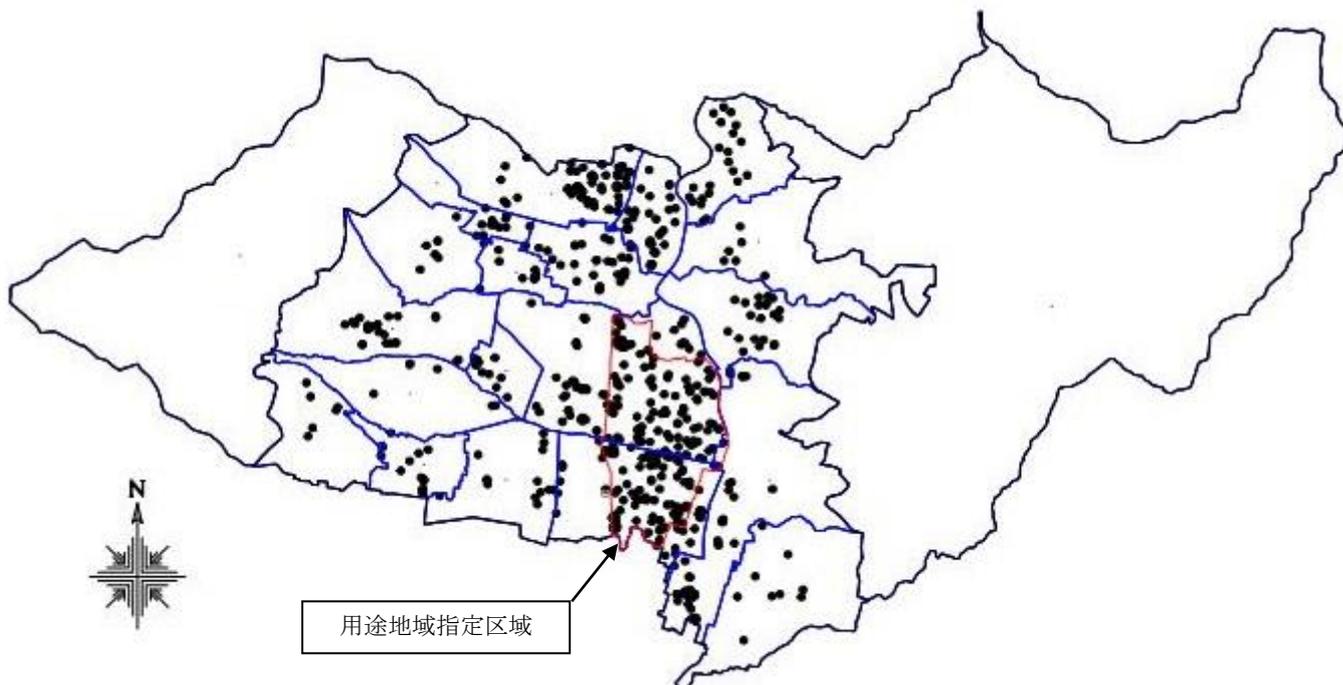


図 3-7 新築建物分布図（平成 30 年度から令和 4 年度分）

表 3-11 新築建物の多い地区（平成 30 年～令和 4 年）

小地域（字）	新築件数	小地域（字）	件数
松島	178	大出	33
木下	138	長岡	23
沢上	66	上古田	22
三日町	53	北小河内	22
沢	37	南原	14

表 3-12 年度別新築状況

（基準日：平成30年4月1日～令和5年3月31日）

	住宅		商業施設		工業施設		公共施設		その他		合計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
	件	㎡	件	㎡	件	㎡	件	㎡	件	㎡	件	㎡
平成 30 年	101	36,011	7	5,174	7	8,337			9	4,228	124	53,752
令和元年	120	46,934	4	4,306	17	54,336	2	1,996	10	8,841	153	116,416
令和 2 年	98	33,748	9	6,692	6	14,689	1	3,596	8	11,899	122	70,625
令和 3 年	113	48,810	5	6,518	6	6,593	3	13,336	8	2,669	135	77,929
令和 4 年	113	47,455	1	895	11	29,350			10	7,423	135	85,124
合計	545	212,961	26	23,587	47	113,308	6	18,929	45	35,061	669	403,848

資料：建築確認申請書、建築計画概要書（H30～R4）

※年度別、用途別の 1㎡未満の敷地面積は切り捨てて表示している。

※年度別の合計面積については、各建物用途別の 1㎡未満の敷地面積（㎡）をとりまとめたのちに 1㎡未満の面積を切り捨てて表示している。

（建物数）

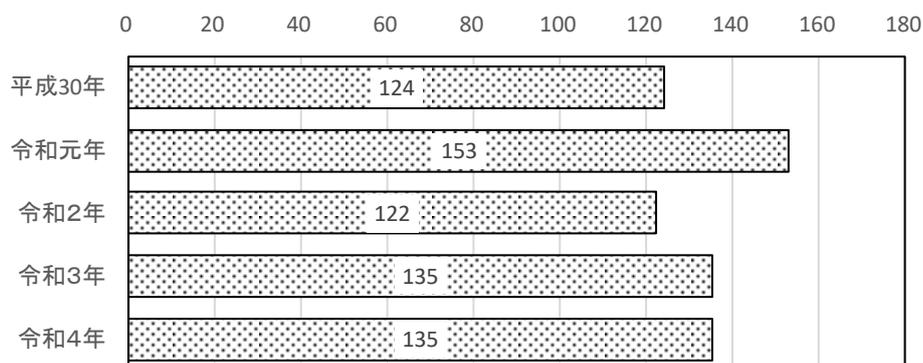


図 3-8 年度別新築建物件数（平成 30 年から令和 4 年分）

C0308 条例・協定

都市計画に関する条例・要綱のうち県決定は、都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例、長野県屋外広告物条例がある。箕輪町では、箕輪町都市計画審議会条例や箕輪町景観条例、箕輪町都市公園条例等を定めている。

また、中心市街地に位置する松島仲町まちづくり協定が締結されている。

地域地区は用途地域が 370ha 指定されている。特別用途地区等のその他の地域地区は指定されていない。地区計画等についても指定はない。

表 3-13 都市計画に関する条例・要綱

決定主体	条例・要綱等の名称	公布・決定年月日		概要・主旨等
		当初	最終変更	
長野県	屋外広告物条例	H5. 10. 18	H29. 3. 23	屋外広告物法の規定に基づき、屋外広告物の表示、設置、維持並びに屋外広告物の規制に関する必要な事項を定めるもの
	屋外広告物条例施行規則	H6. 5. 26	H29. 7. 3	屋外広告物条例の規定に基づき、条例の施行について必要な事項を定めるもの
	都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例	H16. 3. 29	H19. 10. 22	開発許可等の基準に関し必要な事項を定めるもの
	都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例施行規則	H16. 6. 28		都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の施行に関し必要な事項を定めるもの
	都市計画法に基づく開発行為等の規制に関する規則	S46. 1. 28	H29. 3. 31	開発行為等の規制に関し必要な事項を定めるもの
箕輪町	箕輪町都市計画審議会条例	S44. 11. 28	H27. 3. 19	都市計画行政の円滑な運営を図るため設置する箕輪町都市計画審議会に関する事項を定めるもの
	箕輪町都市児童公園条例	S48. 10. 8	S50. 6. 28	都市児童公園の設置及び管理に関する必要な事項を定めるもの
	箕輪町都市計画公聴会規則	S48. 12. 28		箕輪町都市計画公聴会の運営等に関する必要な事項を定めるもの
	箕輪町都市下水路条例	S52. 4. 18	S57. 3. 20	都市下水路の設置及び管理について必要な事項を定めるもの
	箕輪町都市公園条例	S56. 6. 26	H25. 3. 21	都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるもの
	箕輪町下水道条例	H5. 9. 20	H29. 12. 22	公共下水道の設置その他の管理について必要な事項を定めるもの
	箕輪町屋外広告物に関する規則	H12. 3. 30	H29. 9. 21	長野県屋外広告物条例等の条例の施行について必要な事項を定めるもの
	箕輪町屋外広告物違反処理要領	H12. 3. 24	H28. 4. 1	屋外広告物法等に基づき、違反広告物に対する除却その他必要な措置に係る手続きに関し、必要な事項を定めるもの
	箕輪町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める規則	H25. 3. 21		箕輪町都市公園条例の規定に基づき、及び同条例の施行に関し、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に規定する移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定めるもの
	箕輪町景観条例	H27. 12. 21		景観法の規定に基づき、景観計画の策定、行為の規制その他良好な景観の形成に関する施策の基本となる事項を定めるもの
箕輪町景観条例施行規則	H27. 12. 22		景観法、景観法施行令、景観法施行規則及び箕輪町景観条例の施行に関し必要な事項を定めるもの	

資料：長野県例規集、箕輪町例規集

表 3-14 住民協定一覧

協定の名称	決定年月日	期限	協定の内容
松島仲町まちづくり協定	H11. 7. 2 認定	5年間※	松島仲町商店街における町並み景観形成に関する事項について協定し、統一した明るい町並みを作ることを目的とした協定

資料：建設課

注) ※は期間満了前に協定者の3分の2以上から廃止の申し出がなかった場合は、更に5年間延長されるものとし、以降同様とする。

④ 建物

C0401 建物用途別現況

C0401-1 地区別の建物用途現況

建物用途分類表は、表4-1に示すとおりである。

表4-1 建物用途分類表

用途分類	細分類
1. 業務施設	事務所、銀行、会議場・展示場、郵便局、電話局、民間研究所、研修所 等
2. 商業施設	(1) 百貨店、小売店、卸売店、ガソリンスタンド 等
	(2) 食堂、喫茶店、弁当屋・宅配 等
	(3) 理容店、美容院、レンタル業、宴会場、結婚式場、習い事教室、予備校、自動車教習所、住宅展示場、その他のサービス施設
	(4) 料理店、キャバレー、クラブ、バー、飲み屋 等
	(5) 劇場、映画館 等
	(6) ボーリング場、バッティングセンター、ゴルフ練習場、フィットネス、カラオケボックス、インターネットカフェ 等
	(7) マージャン屋、パチンコ屋、馬券・車券発売所 等
3. 宿泊施設	ホテル、旅館、民宿、ラブホテル 等
4. 商業系用途複合施設	商業系用途(上の1~3)の複合施設で、主たる用途の床面積が全床面積の3/4に満たないもの
5. 住宅	専用住宅(住宅に付随する物置、車庫を含む)
6. 共同住宅	アパート、マンション、長屋、寮 等
7. 店舗等併用住宅	住宅(上の5)と商業施設等(上の1~4, 10, 11)の併用
8. 店舗等併用共同住宅	住宅(上の6)と商業施設等(上の1~4, 10, 11)の併用
9. 作業所併用住宅	住宅(上の5, 6)と工業系用途(下の13)の併用
10. 官公庁施設	国県市町村庁舎、裁判所、税務署、警察署、消防署、駐在所 等
11. 文教厚生施設	(1) 大学、高等専門学校、各種学校、公的研究所 等
	(2) 小・中・高等学校、保育所 等
	(3) 図書館、博物館、文化ホール、集会所、動物園 等
	(4) 体育館、水泳場、野球場、陸上競技場その他のスポーツ施設(主に公共施設)
	(5) 病院
	(6) 診療所、老人ホーム、介護福祉施設、公衆浴場、公衆便所 等
	(7) 神社、寺院、教会 等
12. 運輸倉庫施設	(1) 駅舎、電車車庫、バスターミナル、港湾・空港施設 等
	(2) 卸売市場、倉庫、トラックターミナル 等
	(3) 立体駐車場、駐輪施設 等
13. 工場	(1) 危険物の製造、液化ガスの製造、塩素・臭素等の製造、肥料の製造、製紙、製革、アスファルトの精製、セメントの製造、金属の溶融 等(準工業地域において立地不可)
	(2) 原動機を使用する150㎡を超える工場、引火性溶剤を用いるドライクリーニング、原動機を使用する岩石の粉碎、レディミクストコンクリートの製造、陶磁器・ガラスの製造 等(商業地域において立地不可)
	(3) 原動機を使用する50㎡を超える工場、原動機を使用する魚肉の練製品の製造・セメント製品の製造・金属の加工・印刷、木工所、めっき 等(住居地域において立地不可)
	(4) 50㎡以内のパン屋、米屋、豆腐屋、菓子屋その他これらに関する食品製造業を営む工場 等
	(5) 自動車修理工場
14. 農林漁業用施設	農業用納屋、畜舎、温室、船小屋、農林漁業用作業場 等
15. 供給処理施設	処理場、浄水場、ポンプ場、火葬場、発電所、変電所、ガス・熱供給施設 等
16. 防衛施設	防衛施設
17. その他	仮設建築物その他1~16に分類できない施設
18. 不明	不明な建物
19. 空家	空家、空店舗 等

地区別用途別の建物棟数は表4-2に示すとおりである。建物用途を商業施設、住宅、工業施設、公益施設およびその他の施設にまとめると表4-3に示すようになる。

表4-2 地区別用途別棟数(1)

大字	字	業務施設	商業施設	宿泊施設	商業系用途複合施設	住宅	共同住宅	店舗等併用住宅	店舗等併用共同住宅	作業所併用住宅	官公庁施設	文教厚生施設	運輸倉庫施設	工場	農林漁業施設	供給処理施設	防衛施設	その他	不明	空家
		棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
中箕輪	沢	8	9			1,042	21	26	1	13	3	38	10	36	32	1		4		34
中箕輪	沢上	34	43	15		1,182	55	25	1	23		21	34	92	29			18		14
中箕輪	大出	11	43	3		854	20	27		17	1	19	9	31	36			2		40
中箕輪	大出山口	4	2			412	7	10		8		3	8	35	9	1		1		16
中箕輪	八乙女	6	1			362	4	3		13	1	8	7	28	10	4		3		13
中箕輪	下古田	2	1	1		375				7	2	9	3	10	20			8		10
中箕輪	上古田	2	2			702	5	9		15	1	33	10	24	40			7		34
中箕輪	中原	2				300	4	3		8	1	2	6	44	59			2		18
中箕輪	松島	103	214	5	1	3,327	185	178	10	89	15	98	61	501	133	1		24		143
中箕輪	木下	41	71	5		2,761	99	123		96	3	123	56	201	58			12		114
中箕輪	南原	10	6			339	5	1		14		4	16	127	106			2		4
中箕輪	一の宮	1	12			195	2	11		15		8	9	86	108			4		9
中箕輪	富田	7	1			451		7		15	1	6	5	17	50			8		16
中曾根	中曾根	1	3			343	1	2			1	8	4	75	26			5		3
三日町	三日町	14	31			761	30	23		10	3	51	9	123	44			20		63
福与	福与		2	1		763		15		7	3	14	9	23	43			7		22
東箕輪	長岡	4	6	2		960	10	20		4	1	33	7	53	51	1		4		24
東箕輪	南小河内	2	2			517	2	23		16		44	4	19	25			4		36
東箕輪	北小河内	3	9			813	2	35		22	1	25	6	87	15			4		16
	合計	255	458	32	1	16,459	452	541	12	392	37	546	273	1,612	894	8		139		629

※建築面積が15㎡未満の建物は、棟数として非カウントとした。

※空家については内数として集計した。

※畑にある農業用納屋、倉庫、作業場等は、土地利用は畑で建物用途は農林漁業施設とした。

表4-3 地区別用途別棟数(2)

小地域	商業施設	住宅	工業施設	公益施設	その他	合計
沢	17	1,103	36	42	46	1,244
沢上	92	1,286	92	21	81	1,572
大出	57	918	31	20	47	1,073
大出山口	6	437	35	4	18	500
八乙女	7	382	28	13	20	450
下古田	4	382	10	11	31	438
上古田	4	731	24	34	57	850
中原	2	315	44	3	67	431
松島	323	3,789	501	114	218	4,945
木下	117	3,079	201	126	126	3,649
南原	16	359	127	4	124	630
一の宮	13	223	86	8	121	451
富田	8	473	17	7	63	568
中曾根	4	346	75	9	35	469
三日町	45	824	123	54	73	1,119
福与	3	785	23	17	59	887
長岡	12	994	53	35	62	1,156
南小河内	4	558	19	44	33	658
北小河内	12	872	87	26	25	1,022
合計	746	17,856	1,612	592	1,306	22,112

商業施設：建物用途分類表1~4

住宅：建物用途分類表5~9

工業施設：建物用途分類表13

公益施設：建物用途分類表10、11、15

その他：建物用途分類表12、14など

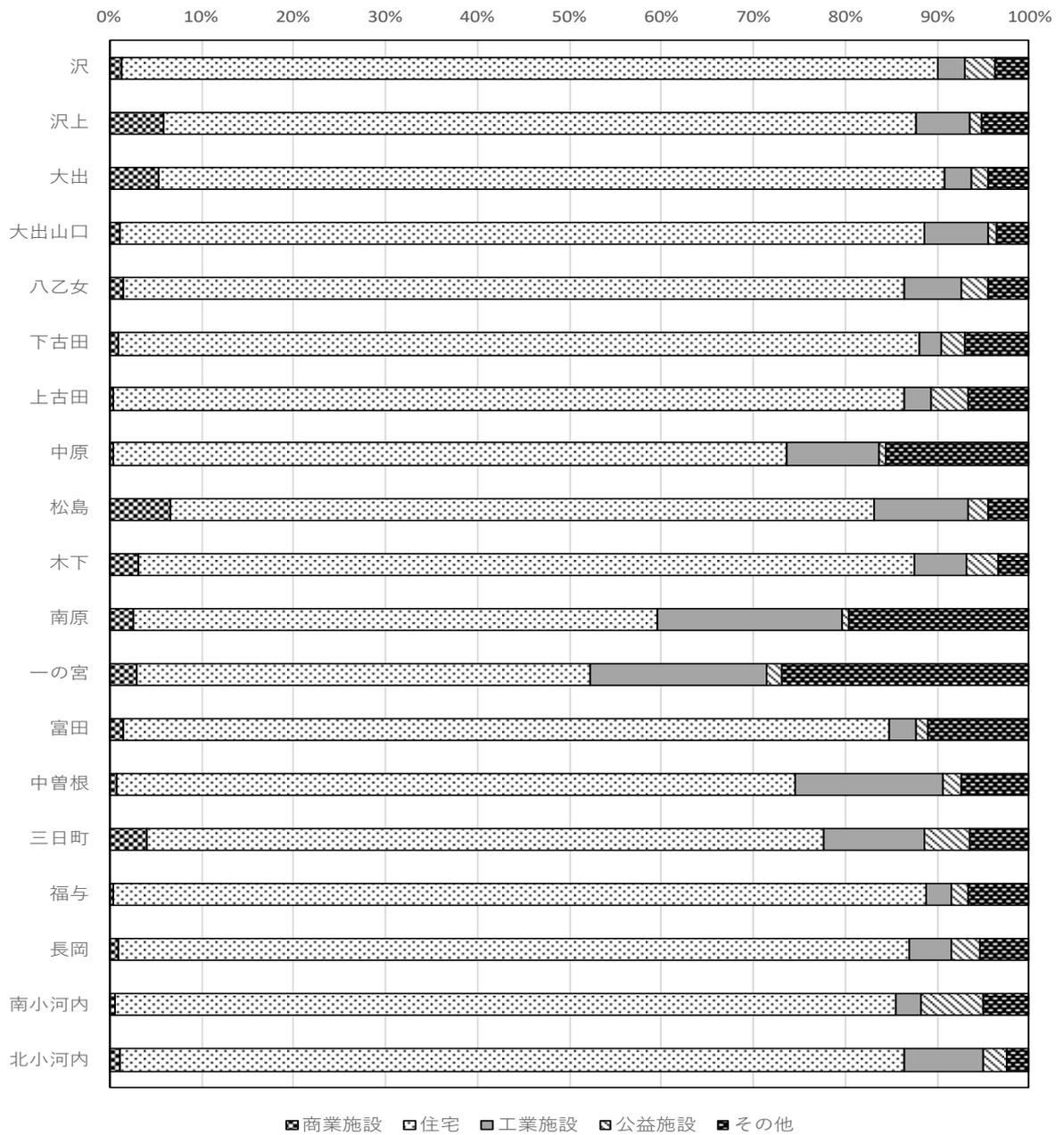


図4-1 地区別用途別棟数の構成比

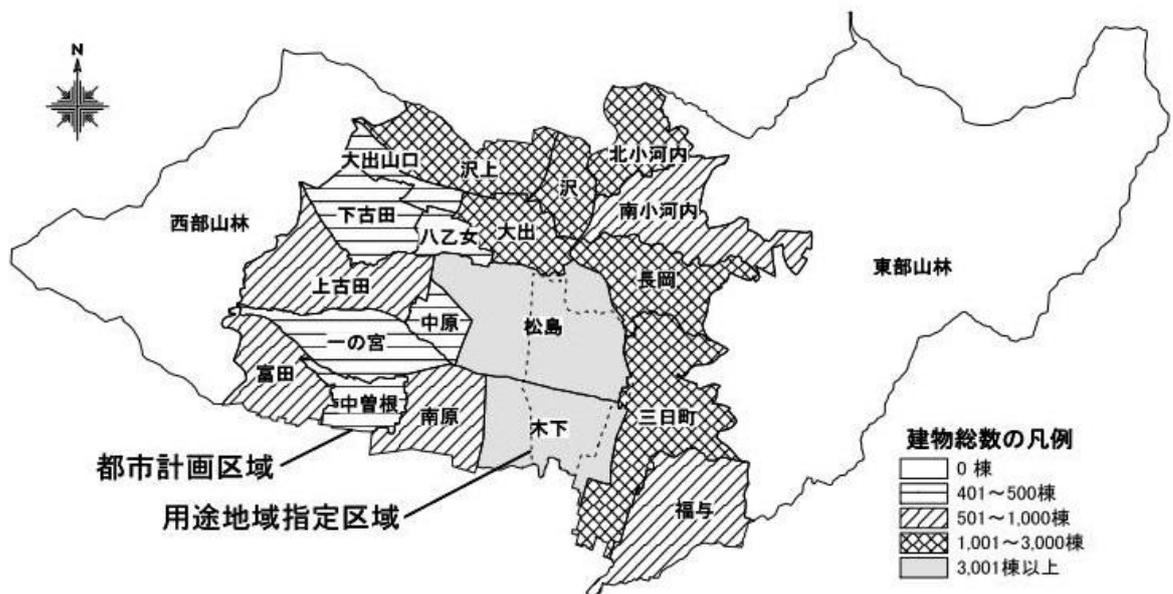


図4-2 地区別の全建物棟数

表4-4 地区別用途別建築面積

大字	字	業務施設	商業施設	宿泊施設	商業系用途 複合施設	住宅	共同住宅	店舗等 併用住宅	店舗等併用 共同住宅	作業所 併用住宅
		㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡
中箕輪	沢	1,444	612	0	0	65,346	2,798	2,190	115	1,076
中箕輪	沢上	4,491	4,890	4,757	0	81,051	7,411	2,090	369	1,464
中箕輪	大出	885	10,358	274	0	54,456	2,990	2,078	0	1,047
中箕輪	大出山口	617	682	0	0	27,711	652	622	0	918
中箕輪	八乙女	423	107	0	0	23,335	781	133	0	1,108
中箕輪	下古田	198	20	249	0	21,869	0	0	0	527
中箕輪	上古田	232	95	0	0	43,026	1,455	941	0	827
中箕輪	中原	82	0	0	0	19,336	479	327	0	628
中箕輪	松島	13,693	44,466	708	1,699	217,839	24,127	13,204	1,886	5,963
中箕輪	木下	4,106	15,678	420	0	174,762	13,191	9,529	0	7,117
中箕輪	南原	1,483	957	0	0	23,732	557	56	0	1,040
中箕輪	一の宮	243	1,705	0	0	13,570	174	1,065	0	1,220
中箕輪	富田	473	33	0	0	29,513	0	357	0	1,151
中曾根	中曾根	80	231	0	0	21,416	1,185	75	0	0
三日町	三日町	1,721	20,114	0	0	47,874	4,604	1,989	0	630
福与	福与	0	96	453	0	46,068	0	1,151	0	521
東箕輪	長岡	348	547	90	0	60,724	2,205	1,359	0	251
東箕輪	南小河内	330	529	0	0	30,620	171	1,493	0	1,042
東箕輪	北小河内	274	859	0	0	52,118	124	2,310	0	1,985
合計		31,133	101,987	6,953	1,699	1,054,376	62,911	40,977	2,371	28,523

(つづき)

大字	字	官公庁施設	文教厚生施設	運輸倉庫施設	工場	農林漁業用 施設	供給処理施設	防衛施設	その他	不明	空家
		㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡
中箕輪	沢	326	12,522	1,548	5,025	1,049	12	0	159	0	2,183
中箕輪	沢上	0	5,283	6,086	18,377	1,003	0	0	3,493	0	1,061
中箕輪	大出	71	4,008	366	6,244	1,658	0	0	69	0	2,396
中箕輪	大出山口	0	147	1,666	5,902	250	66	0	28	0	1,060
中箕輪	八乙女	40	1,028	516	3,729	618	2,094	0	493	0	653
中箕輪	下古田	61	908	218	668	1,982	0	0	296	0	518
中箕輪	上古田	41	8,595	2,058	6,642	6,362	0	0	307	0	2,056
中箕輪	中原	37	452	2,802	7,621	13,166	0	0	609	0	866
中箕輪	松島	5,210	35,099	7,750	119,777	7,392	120	0	2,302	0	8,357
中箕輪	木下	259	32,556	5,240	35,795	3,056	0	0	618	0	7,089
中箕輪	南原	0	451	1,814	41,142	12,605	0	0	53	0	430
中箕輪	一の宮	0	3,038	1,651	32,424	12,972	0	0	284	0	556
中箕輪	富田	40	936	465	1,882	3,152	0	0	282	0	822
中曾根	中曾根	21	672	2,366	39,713	2,995	0	0	374	0	253
三日町	三日町	115	15,332	959	49,474	2,004	0	0	3,790	0	3,434
福与	福与	82	1,734	16,409	5,022	2,887	0	0	590	0	1,315
東箕輪	長岡	36	4,189	674	5,655	5,653	15	0	445	0	1,398
東箕輪	南小河内	0	11,916	344	2,933	1,383	0	0	146	0	2,054
東箕輪	北小河内	38	3,547	455	17,539	545	0	0	403	0	1,423
合計		6,271	142,534	53,395	405,574	80,739	2,308	0	14,750	0	37,932

※各小地域の1㎡未満の面積は切り捨てて表示している。

※合計面積については、各小地域の1㎡未満の用途別建築面積(㎡)をとりまとめたのちに1㎡未満の面積を切り捨てて表示している。

※空家については内数として集計した。

※畑にある農業用納屋、倉庫、作業場等は、土地利用は畑で建物用途は農林漁業施設とした。

表4-5 地区別用途別延床面積

大字	字	業務施設	商業施設	宿泊施設	商業系用途 複合施設	住宅	共同住宅	店舗等 併用住宅	店舗等併用 共同住宅	作業所 併用住宅
		㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡
中箕輪	沢	1,761	845	0	0	92,448	4,469	3,302	231	1,532
中箕輪	沢上	6,410	6,393	4,757	0	113,469	14,739	3,113	949	2,135
中箕輪	大出	1,888	11,894	419	0	76,584	5,429	2,695	0	1,377
中箕輪	大出山口	670	699	0	0	38,394	1,257	811	0	1,652
中箕輪	八乙女	423	107	0	0	32,313	1,598	166	0	1,667
中箕輪	下古田	517	41	417	0	28,713	0	0	0	584
中箕輪	上古田	232	95	0	0	57,390	1,496	1,054	0	1,169
中箕輪	中原	149	0	0	0	24,184	810	344	0	749
中箕輪	松島	19,109	66,172	1,578	1,699	313,912	54,262	21,154	5,933	8,041
中箕輪	木下	5,403	19,712	765	0	248,332	25,377	14,912	0	10,496
中箕輪	南原	1,897	1,109	0	0	31,704	1,319	105	0	1,326
中箕輪	一の宮	329	1,800	0	0	16,478	294	1,279	0	1,249
中箕輪	富田	564	33	0	0	37,778	0	605	0	1,604
中曽根	中曽根	129	231	0	0	27,362	2,944	131	0	0
三日町	三日町	2,917	22,708	0	0	62,861	10,703	2,478	0	935
福与	福与	0	96	1,101	0	60,458	0	1,455	0	580
東箕輪	長岡	383	778	90	0	80,991	2,205	1,811	0	462
東箕輪	南小河内	462	529	0	0	41,165	357	2,088	0	1,186
東箕輪	北小河内	355	942	0	0	70,050	424	3,090	0	2,652
合計		43,606	134,191	9,129	1,699	1,454,595	127,692	60,600	7,114	39,403

(つづき)

大字	字	官公庁施設	文教厚生施設	運輸倉庫施設	工場	農林漁業用 施設	供給処理施設	防衛施設	その他	不明	空家
		㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡
中箕輪	沢	326	15,415	1,678	7,635	1,080	24	0	159	0	2,695
中箕輪	沢上	0	5,412	7,201	25,160	1,003	0	0	3,493	0	1,236
中箕輪	大出	71	4,855	366	7,151	1,658	0	0	69	0	3,078
中箕輪	大出山口	0	147	1,781	8,272	265	66	0	28	0	1,482
中箕輪	八乙女	40	1,028	516	4,795	618	2,094	0	493	0	794
中箕輪	下古田	61	908	287	768	1,982	0	0	296	0	601
中箕輪	上古田	41	10,808	2,058	8,253	6,482	0	0	439	0	2,576
中箕輪	中原	37	452	4,444	8,863	14,917	0	0	609	0	1,021
中箕輪	松島	9,437	59,477	9,808	176,441	7,674	120	0	2,395	0	10,855
中箕輪	木下	148	45,753	6,571	58,156	3,220	0	0	802	0	9,524
中箕輪	南原	0	451	1,814	67,685	12,605	0	0	53	0	566
中箕輪	一の宮	0	3,038	1,651	42,084	13,028	0	0	284	0	601
中箕輪	富田	40	1,035	536	2,971	3,200	0	0	282	0	1,005
中曽根	中曽根	21	672	5,740	64,100	2,995	0	0	374	0	283
三日町	三日町	115	18,469	959	79,392	2,004	0	0	5,989	0	4,193
福与	福与	82	1,755	16,409	7,159	3,807	0	0	590	0	1,566
東箕輪	長岡	36	4,189	674	6,376	5,841	15	0	445	0	1,587
東箕輪	南小河内	0	13,738	344	3,030	1,383	0	0	146	0	2,821
東箕輪	北小河内	38	3,569	455	22,241	545	0	0	443	0	1,883
合計		10,498	191,180	63,299	600,544	84,318	2,320	0	17,398	0	48,376

※各小地域の1㎡未満の面積は切り捨てて表示している。

※合計面積については、各小地域の1㎡未満の用途別延床面積(㎡)をとりまとめたのちに1㎡未満の面積を切り捨てて表示している。

※空家については内数として集計する。

※畑にある農業用納屋、倉庫、作業場等は、土地利用は畑で建物用途は農林漁業施設とした。

C0401-2 区域別の建物用途現況

都市計画区域（非線引き用途地域、非線引き用途白地）の別に用途ごとの棟数、合計面積（建築面積、延床面積）の状況を取りまとめると表4-6に示すようになる。表の右側は建物用途分類表に記載されている「細分類」についてとりまとめたものである。

表4-6 区域別用途別の棟数、建築面積、延床面積

区域区分		都市計画区域	非線引き用途地域	非線引き用途白地
1.業務施設	棟数	棟 255	114	141
	建築面積	㎡ 31,133	14,749	16,383
	延床面積	㎡ 43,606	20,860	22,746
2.商業施設	棟数	棟 458	230	228
	建築面積	㎡ 101,985	34,634	67,349
	延床面積	㎡ 134,189	57,014	77,172
3.宿泊施設	棟数	棟 32	10	22
	建築面積	㎡ 6,953	1,129	5,824
	延床面積	㎡ 9,129	2,343	6,786
4.商業系用途複合施設	棟数	棟 1		1
	建築面積	㎡ 1,699	0	1,699
	延床面積	㎡ 1,699	0	1,699
5.住宅	棟数	棟 16,459	5,154	11,305
	建築面積	㎡ 1,054,376	326,361	728,014
	延床面積	㎡ 1,454,595	461,782	992,813
6.共同住宅	棟数	棟 452	204	248
	建築面積	㎡ 62,911	26,310	36,601
	延床面積	㎡ 127,692	55,352	72,339
7.店舗等併用住宅	棟数	棟 541	265	276
	建築面積	㎡ 40,977	18,786	22,191
	延床面積	㎡ 60,600	30,511	30,088
8.店舗等併用共同住宅	棟数	棟 12	4	8
	建築面積	㎡ 2,371	532	1,839
	延床面積	㎡ 7,114	1,057	6,056
9.作業所併用住宅	棟数	棟 392	157	235
	建築面積	㎡ 28,523	11,013	17,510
	延床面積	㎡ 39,403	15,683	23,719
10.官公庁施設	棟数	棟 37	18	19
	建築面積	㎡ 6,271	5,358	913
	延床面積	㎡ 10,498	9,585	913
11.文教厚生施設	棟数	棟 458	167	291
	建築面積	㎡ 115,093	49,704	65,388
	延床面積	㎡ 157,801	81,269	76,530

区域区分		都市計画区域	非線引き用途地域	非線引き用途白地
(1)	棟数	棟 190	96	94
	建築面積	㎡ 67,965	20,188	47,777
	延床面積	㎡ 83,698	31,738	51,959
(2)	棟数	棟 74	35	39
	建築面積	㎡ 7,762	2,657	5,104
	延床面積	㎡ 11,064	4,664	6,400
(3)	棟数	棟 166	76	90
	建築面積	㎡ 18,800	7,961	10,839
	延床面積	㎡ 28,794	15,699	13,094
(4)	棟数	棟 25	22	3
	建築面積	㎡ 1,921	1,534	386
	延床面積	㎡ 3,109	2,619	489
(7)	棟数	棟 3	1	2
	建築面積	㎡ 5,537	2,294	3,243
	延床面積	㎡ 7,524	2,294	5,230
(2)	棟数	棟 124	73	51
	建築面積	㎡ 58,720	28,191	30,529
	延床面積	㎡ 95,169	54,217	40,951
(3)	棟数	棟 129	36	93
	建築面積	㎡ 20,283	6,841	13,442
	延床面積	㎡ 25,901	12,339	13,562
(4)	棟数	棟 57	8	49
	建築面積	㎡ 12,050	5,794	6,256
	延床面積	㎡ 12,166	5,794	6,372
(5)	棟数	棟 10	4	6
	建築面積	㎡ 3,062	286	2,775
	延床面積	㎡ 3,062	286	2,775
(6)	棟数	棟 89	35	54
	建築面積	㎡ 27,437	6,847	20,590
	延床面積	㎡ 33,376	11,584	21,791
(7)	棟数	棟 138	46	92
	建築面積	㎡ 20,978	8,592	12,386
	延床面積	㎡ 21,503	8,633	12,870

商業施設の細分類(5)、(6)及び文教厚生施設の細分類(1)の対象はない。

(表4-6 つづき)

区域区分		都市計画区域	非線引き 用途地域	非線引き 用途白地	
12. 運輸倉庫施設	棟数	棟	273	96	177
	建築面積	㎡	53,393	9,623	43,770
	延床面積	㎡	63,298	12,288	51,009
13. 工場	棟数	棟	1,612	484	1,128
	建築面積	㎡	405,573	116,890	288,680
	延床面積	㎡	600,543	184,899	415,642
14. 農林漁業用施設	棟数	棟	894	65	829
	建築面積	㎡	80,739	3,705	77,034
	延床面積	㎡	84,318	3,958	80,359
15. 供給処理施設	棟数	棟	8	1	7
	建築面積	㎡	2,308	120	2,187
	延床面積	㎡	2,320	120	2,199
16. 防衛施設	棟数	棟			
	建築面積	㎡			
	延床面積	㎡			
17. その他	棟数	棟	139	19	120
	建築面積	㎡	14,750	1,306	13,444
	延床面積	㎡	17,398	1,478	15,920
18. 不明	棟数	棟			
	建築面積	㎡			
	延床面積	㎡			
19. 空家	棟数	棟	629	244	385
	建築面積	㎡	37,932	14,339	23,592
	延床面積	㎡	48,376	18,981	29,394

区域区分	都市計画区域	非線引き 用途地域	非線引き 用途白地		
(1)	棟数	棟	26	16	10
	建築面積	㎡	2,233	1,229	1,004
	延床面積	㎡	2,643	1,638	1,004
(2)	棟数	棟	244	78	166
	建築面積	㎡	51,032	8,349	42,683
	延床面積	㎡	60,527	10,605	49,922
(3)	棟数	棟	3	2	1
	建築面積	㎡	128	45	83
	延床面積	㎡	128	45	83

区域区分	都市計画区域	非線引き 用途地域	非線引き 用途白地		
(2)	棟数	棟	1,184	329	855
	建築面積	㎡	353,219	99,227	253,992
	延床面積	㎡	530,270	157,735	372,534
(3)	棟数	棟	332	111	221
	建築面積	㎡	40,067	12,202	27,864
	延床面積	㎡	52,401	18,079	34,322
(4)	棟数	棟	26	16	10
	建築面積	㎡	2,621	1,547	1,073
	延床面積	㎡	5,035	3,962	1,073
(5)	棟数	棟	70	28	42
	建築面積	㎡	9,666	3,914	5,751
	延床面積	㎡	12,837	5,123	7,713

工場の細分類(1)の対象はない。

表4-7 区域別用途別建物棟数

棟数(棟)	都市計画区域	非線引き 用途地域	非線引き 用途白地
1. 業務施設	255	114	141
2. 商業施設	458	230	228
3. 宿泊施設	32	10	22
4. 商業系用途複合施設	1		1
5. 住宅	16,459	5,154	11,305
6. 共同住宅	452	204	248
7. 店舗等併用住宅	541	265	276
8. 店舗等併用共同住宅	12	4	8
9. 作業所併用住宅	392	157	235
10. 官公庁施設	37	18	19
11. 文教厚生施設	458	167	291
12. 運輸倉庫施設	273	96	177
13. 工場	1,612	484	1,128
14. 農林漁業用施設	894	65	829
15. 供給処理施設	8	1	7
16. 防衛施設			
17. その他	139	19	120
18. 不明			

4-8 区域別用途別建築面積

建築面積(㎡)	都市計画区域	非線引き 用途地域	非線引き 用途白地
1. 業務施設	31,133	14,749	16,383
2. 商業施設	101,985	34,634	67,349
3. 宿泊施設	6,953	1,129	5,824
4. 商業系用途複合施設	1,699	0	1,699
5. 住宅	1,054,376	326,361	728,014
6. 共同住宅	62,911	26,310	36,601
7. 店舗等併用住宅	40,977	18,786	22,191
8. 店舗等併用共同住宅	2,371	532	1,839
9. 作業所併用住宅	28,523	11,013	17,510
10. 官公庁施設	6,271	5,358	913
11. 文教厚生施設	115,093	49,704	65,388
12. 運輸倉庫施設	53,393	9,623	43,770
13. 工場	405,573	116,890	288,680
14. 農林漁業用施設	80,739	3,705	77,034
15. 供給処理施設	2,308	120	2,187
16. 防衛施設			
17. その他	14,750	1,306	13,444
18. 不明			

表 4 - 9 区域別用途別延床面積

延床面積 (㎡)	都市計画区域	非線引き 用途地域	非線引き 用途白地
1.業務施設	43,606	20,860	22,746
2.商業施設	134,189	57,014	77,172
3.宿泊施設	9,129	2,343	6,786
4.商業系用途複合施設	1,699	0	1,699
5.住宅	1,454,595	461,782	992,813
6.共同住宅	127,692	55,352	72,339
7.店舗等併用住宅	60,600	30,511	30,088
8.店舗等併用共同住宅	7,114	1,057	6,056
9.作業所併用住宅	39,403	15,683	23,719
10.官公庁施設	10,498	9,585	913
11.文教厚生施設	157,801	81,269	76,530
12.運輸倉庫施設	63,298	12,288	51,009
13.工場	600,543	184,899	415,642
14.農林漁業用施設	84,318	3,958	80,359
15.供給処理施設	2,320	120	2,199
16.防衛施設			
17.その他	17,398	1,478	15,920
18.不明			

C0402 建物階数別・構造別・建築年別・高さ別現況

C0402-1 建物階数別現況

表 4 - 10 地区別階数別現況

大字	字	地上 1 階	地上 2 階	地上 3 階	地上 4 ~ 5 階	地上 6 ~ 7 階	地上 8 ~ 10 階
		棟	棟	棟	棟	棟	棟
中箕輪	沢	571	667	6			
中箕輪	沢上	723	829	20			
中箕輪	大出	517	552	3	1		
中箕輪	大出山口	222	276	2			
中箕輪	八乙女	243	203	4			
中箕輪	下古田	266	168	4			
中箕輪	上古田	503	345	2			
中箕輪	中原	300	130	1			
中箕輪	松島	2,312	2,480	136	15	1	1
中箕輪	木下	1,690	1,905	48	6		
中箕輪	南原	429	198	3			
中箕輪	一の宮	373	74	4			
中箕輪	富田	361	205	2			
中曽根	中曽根	300	165	2	2		
三日町	三日町	671	434	14			
福与	福与	526	361				
東箕輪	長岡	678	475	3			
東箕輪	南小河内	395	263				
東箕輪	北小河内	572	441	8	1		
合計		11,652	10,171	262	25	1	1

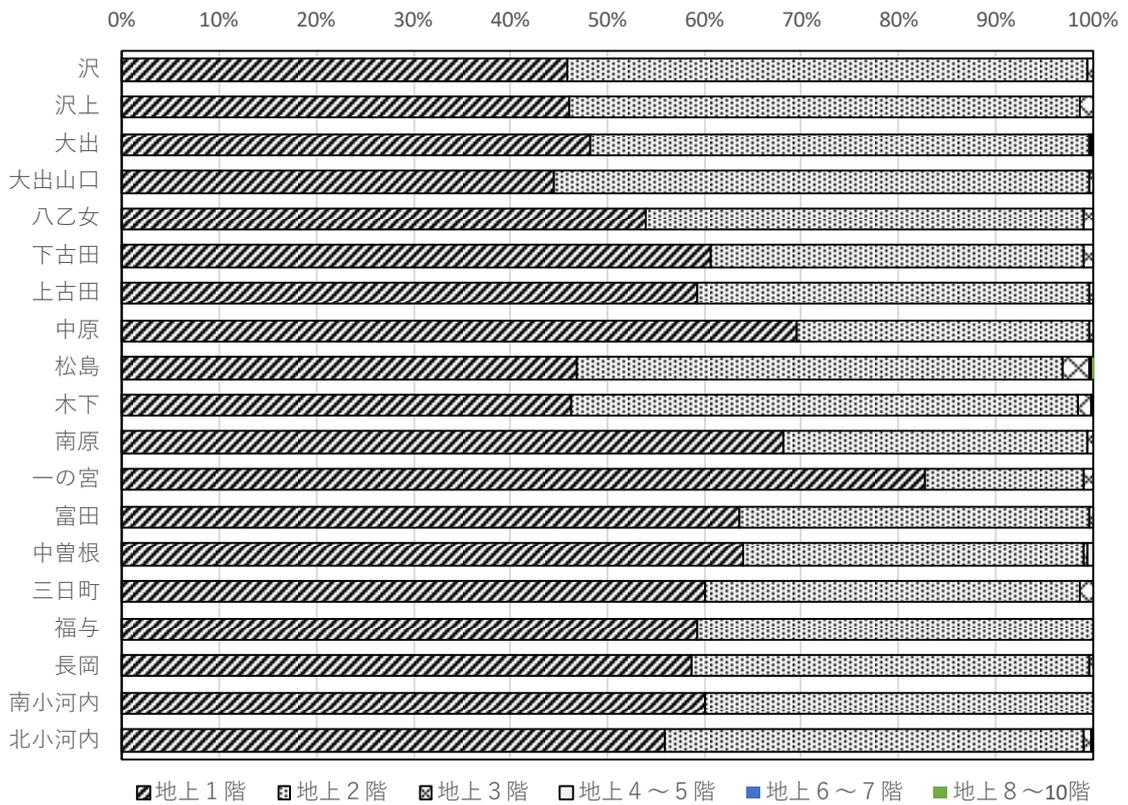


図4-3 地区別階数別構成比（棟数ベース）

表4-11 地域別階数別現況

区域区分	地上1階	地上2階	地上3階	地上4~5階	地上6~7階	地上8~10階
	棟	棟	棟	棟	棟	棟
都市計画区域	11,652	10,171	262	25	1	1
非線引き用途地域	3,256	3,600	149	17		1
非線引き用途白地	8,396	6,571	113	8	1	

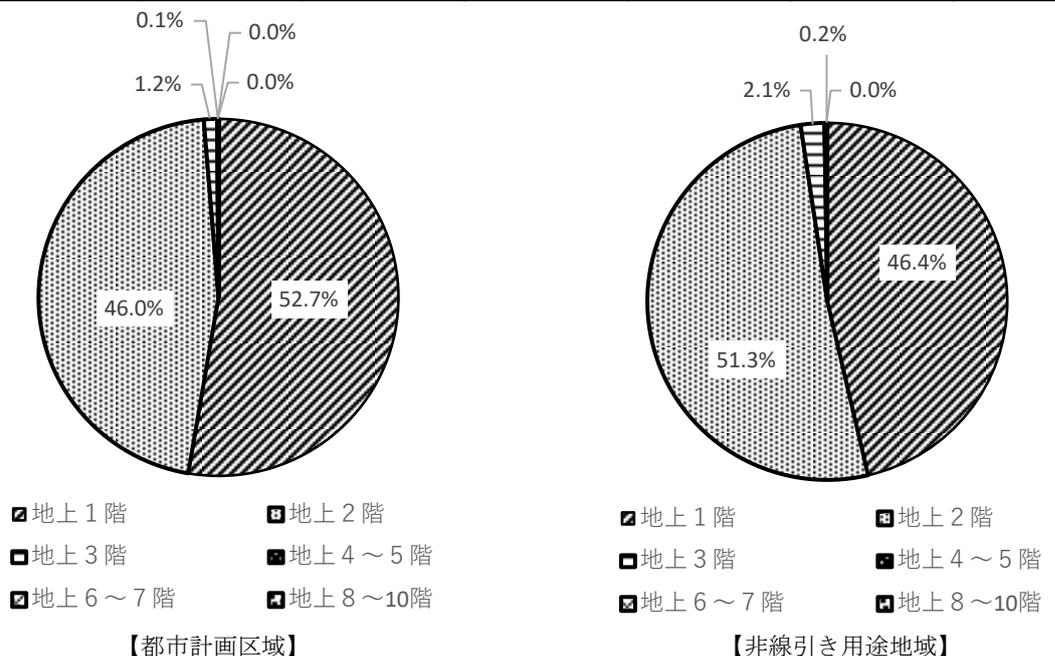


図4-4 地域別階数別構成比（棟数ベース）

C0402-2 建物構造別現況

地区別構造別の建物棟数は表 4-12 および図 4-5 に示すとおりである。

表 4-12 地区別建物構造現況

大字	字	木造	非木造	鉄筋コンクリート造	合計	木造率 (棟数ベース)
		棟	棟	棟		棟
中箕輪	沢	1,008	229	7	1,244	81.0
中箕輪	沢上	1,223	331	18	1,572	77.8
中箕輪	大出	868	203	2	1,073	80.9
中箕輪	大出山口	403	90	7	500	80.6
中箕輪	八乙女	355	94	1	450	78.9
中箕輪	下古田	381	54	3	438	87.0
中箕輪	上古田	693	155	2	850	81.5
中箕輪	中原	333	95	3	431	77.3
中箕輪	松島	3,627	1,240	78	4,945	73.3
中箕輪	木下	2,893	726	30	3,649	79.3
中箕輪	南原	436	183	11	630	69.2
中箕輪	一の宮	315	134	2	451	69.8
中箕輪	富田	495	72	1	568	87.1
中曽根	中曽根	374	93	2	469	79.7
三日町	三日町	871	237	11	1,119	77.8
福与	福与	737	137	13	887	83.1
東箕輪	長岡	968	185	3	1,156	83.7
東箕輪	南小河内	554	101	3	658	84.2
東箕輪	北小河内	813	203	6	1,022	79.5
合計		17,347	4,562	203	22,112	78.5

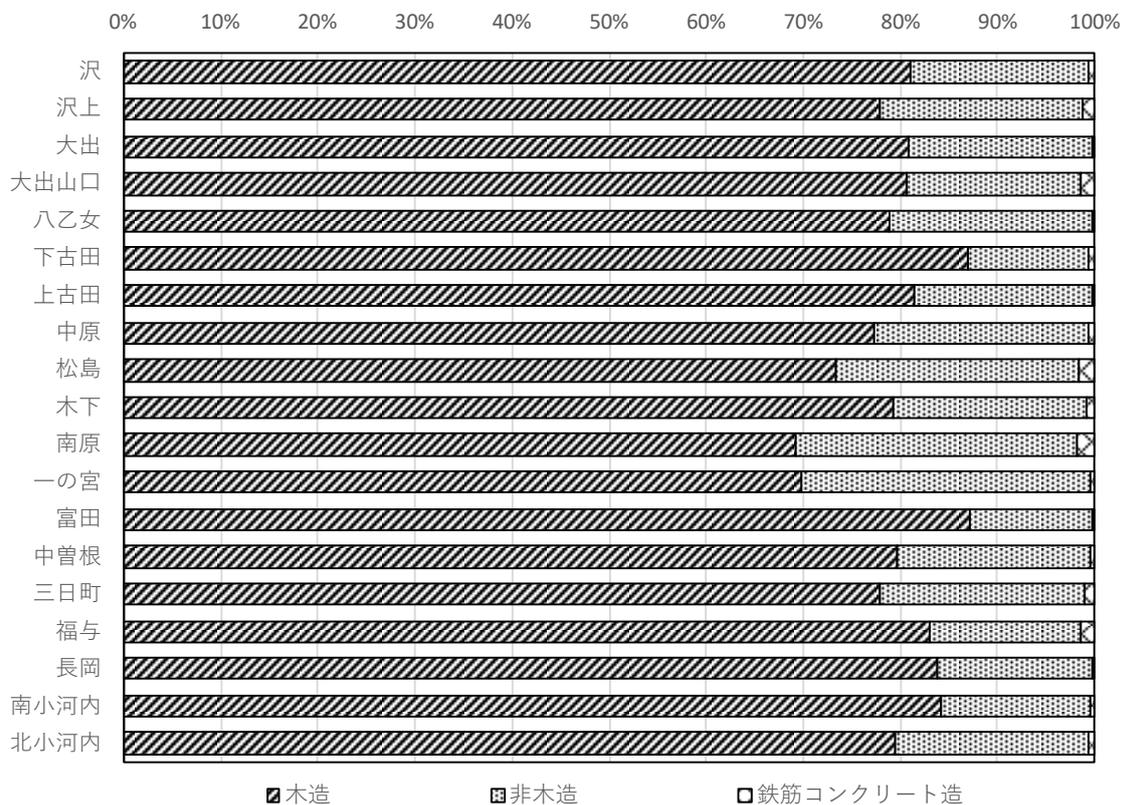


図 4-5 地区別構造別構成比 (棟数ベース)

表 4-13 地域別構造別現況

区域区分	木造	非木造	鉄筋コンクリート造	合計	木造率 (棟数ベース)
	棟	棟	棟	棟	%
都市計画区域	17,347	4,562	203	22,112	78.5
非線引き用途地域	5,426	1,507	90	7,023	77.3
非線引き用途白地	11,921	3,055	113	15,089	79.0

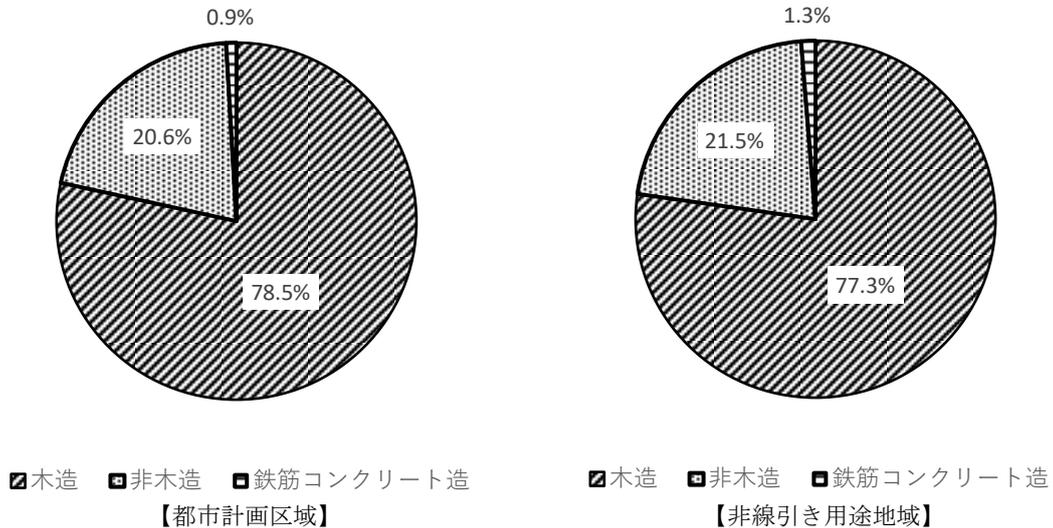


図 4-6 地域別構造別構成比 (棟数ベース)

C0402-3 建築面積現況

地区別の建築面積現況は表 4-14 および図 4-7 に示すとおりである。

表 4-14 地区別建築面積現況

大字	字	25㎡以下	50㎡以下	75㎡以下	100㎡以下	150㎡以下	200㎡以下	200㎡超	合計面積	平均面積
		棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	㎡	㎡
中箕輪	沢	259	310	246	169	181	40	39	94,229	75.7
中箕輪	沢上	187	288	449	315	197	60	76	140,771	89.5
中箕輪	大出	215	235	234	160	143	50	36	84,511	78.8
中箕輪	大出山口	69	77	143	126	64	7	14	39,264	78.5
中箕輪	八乙女	99	100	97	55	56	19	24	34,411	76.5
中箕輪	下古田	144	100	58	40	69	18	9	27,002	61.6
中箕輪	上古田	224	173	158	117	108	31	39	70,586	83.0
中箕輪	中原	87	111	75	43	54	26	35	45,544	105.7
中箕輪	松島	885	1,062	960	717	776	228	317	501,242	101.4
中箕輪	木下	660	843	774	588	518	122	144	302,334	82.9
中箕輪	南原	96	144	135	83	68	38	66	83,895	133.2
中箕輪	一の宮	80	103	70	62	57	26	53	68,352	151.6
中箕輪	富田	127	157	88	75	77	31	13	38,288	67.4
中曽根	中曽根	121	113	60	40	73	22	40	69,134	147.4
三日町	三日町	225	262	196	137	149	61	89	148,613	132.8
福与	福与	227	238	161	74	116	48	23	75,017	84.6
東箕輪	長岡	254	325	180	145	155	55	42	82,196	71.1
東箕輪	南小河内	176	173	101	69	87	31	21	50,911	77.4
東箕輪	北小河内	204	252	197	127	161	42	39	80,201	78.5
合計		4,339	5,066	4,382	3,142	3,109	955	1,119	2,036,508	92.1

※各小地域の 1㎡未満の合計面積は切り捨てて表示している。

※建物の規模は地域差が大きいため、地域の実情に応じて細分化する。

※合計面積、平均面積に不明データは含まない。

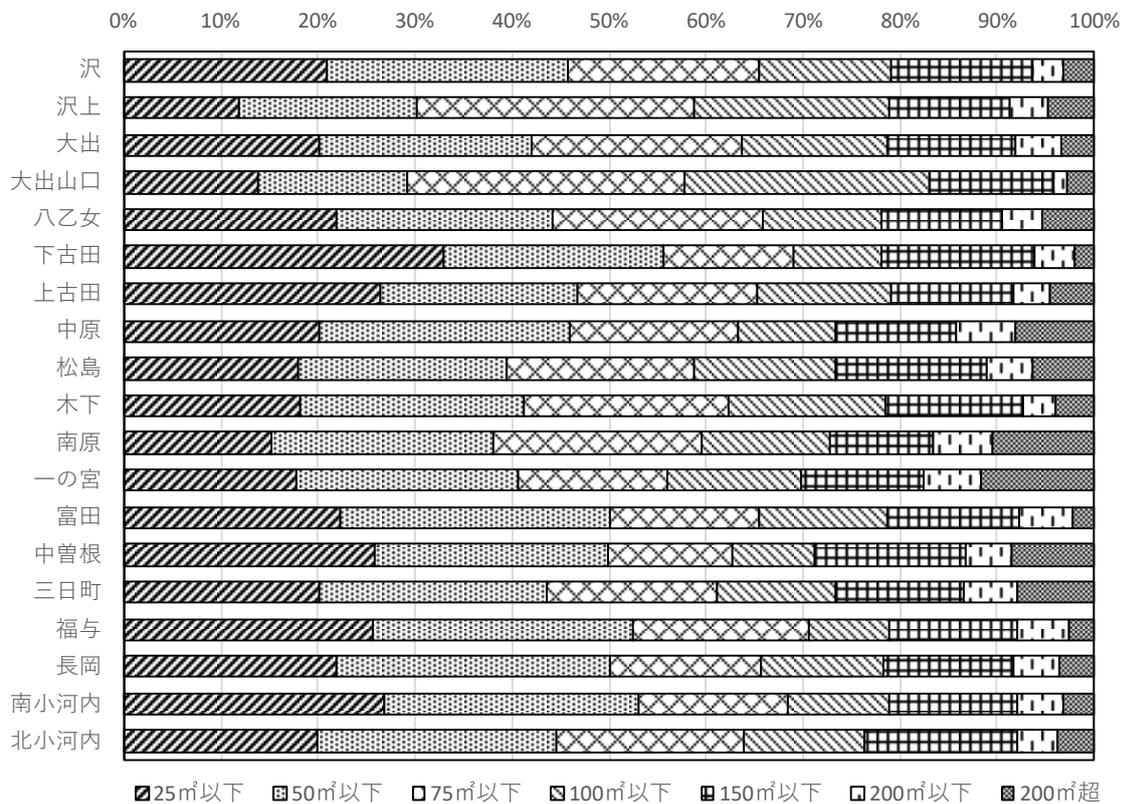


図 4 - 7 地区別建築面積別構成比（棟数ベース）

表 4 - 15 地域別建築面積現況

区域区分	25㎡以下	50㎡以下	75㎡以下	100㎡以下	150㎡以下	200㎡以下	200㎡超	合計面積	平均面積
	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	㎡	㎡
都市計画区域	4,339	5,066	4,382	3,142	3,109	955	1,119	2,036,508	92.1
非線引き用途地域	1,351	1,619	1,317	1,070	1,078	269	319	627,078	89.3
非線引き用途白地	2,988	3,447	3,065	2,072	2,031	686	800	1,409,429	93.4

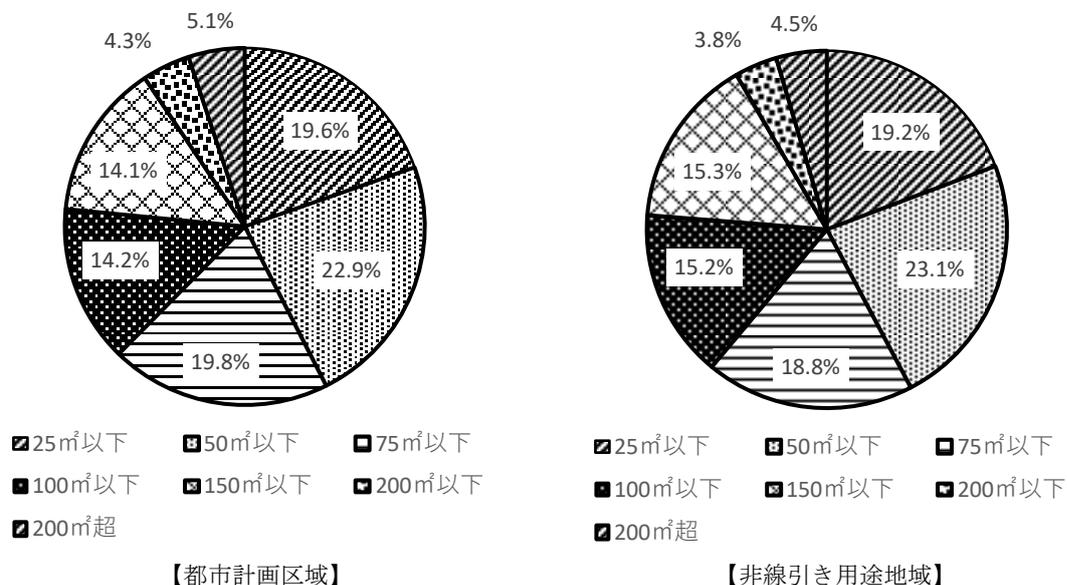


図 4 - 8 地域別建築面積別構成比（棟数ベース）

C0402-4 延床面積現況

地区別の延床面積現況は表4-16および図4-9に示すとおりである。

表4-16 地区別延床面積現況

大字	字	25㎡以下	50㎡以下	75㎡以下	100㎡以下	150㎡以下	200㎡以下	200㎡超	合計面積 ㎡	平均面積 ㎡
		棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟		
中箕輪	沢	172	273	150	154	285	109	101	130,911	105.2
中箕輪	沢上	150	249	148	251	488	148	138	194,240	123.6
中箕輪	大出	145	237	121	114	249	106	101	114,462	106.7
中箕輪	大出山口	62	64	48	90	162	48	26	54,046	108.1
中箕輪	八乙女	73	101	51	39	100	43	43	45,864	101.9
中箕輪	下古田	102	120	48	26	76	36	30	34,580	79.0
中箕輪	上古田	151	201	114	78	169	70	67	89,523	105.3
中箕輪	中原	66	123	45	28	85	37	47	55,563	128.9
中箕輪	松島	592	950	606	490	1,092	562	653	757,217	153.1
中箕輪	木下	455	733	453	417	877	391	323	439,653	120.5
中箕輪	南原	84	144	71	58	134	48	91	120,073	190.6
中箕輪	一の宮	75	100	64	46	63	40	63	81,521	180.8
中箕輪	富田	82	171	74	59	97	52	33	48,651	85.7
中曽根	中曽根	75	128	64	38	70	35	59	104,703	223.2
三日町	三日町	146	277	156	106	189	103	142	209,534	187.3
福与	福与	156	238	124	81	156	74	58	93,499	105.4
東箕輪	長岡	196	279	169	107	206	108	91	104,302	90.2
東箕輪	南小河内	125	174	90	55	110	57	47	64,433	97.9
東箕輪	北小河内	135	259	139	100	200	109	80	104,808	102.6
合計		3,042	4,821	2,735	2,337	4,808	2,176	2,193	2,847,593	128.8

※各小地域の1㎡未満の合計面積は切り捨てて表示している。

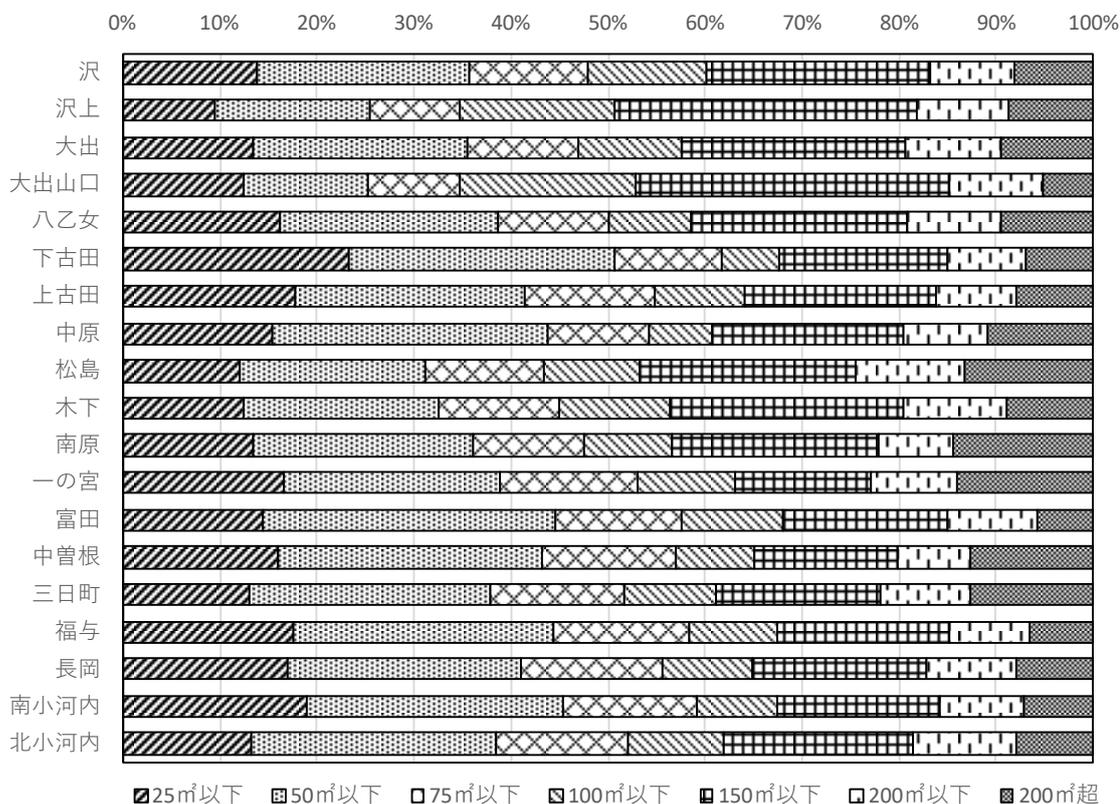


図4-9 地区別延床面積別構成比（棟数ベース）

表 4-17 地域別延床面積現況

区域区分	25㎡以下	50㎡以下	75㎡以下	100㎡以下	150㎡以下	200㎡以下	200㎡超	合計面積	平均面積
	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	㎡	㎡
都市計画区域	3,042	4,821	2,735	2,337	4,808	2,176	2,193	2,847,593	128.8
非線引き用途地域	880	1,431	928	759	1,517	775	733	949,798	135.2
非線引き用途白地	2,162	3,390	1,807	1,578	3,291	1,401	1,460	1,897,794	125.8

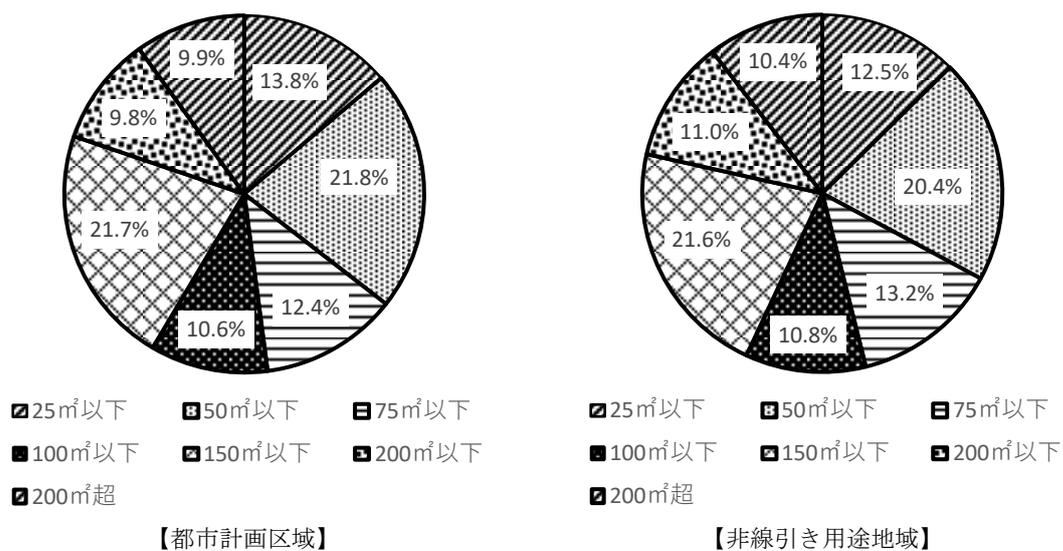


図 4-10 地域別延床面積別構成比（棟数ベース）

C0402-5 建築年別現況

地区別の建築年別現況は表4-18~20 および図4-11~13 に示すとおりである。

表4-18 地区別建築年別現況（棟数）

大字	字	昭和56年以前	昭和57年 ~平成4年	平成5年 ~9年	平成10年 ~14年	平成15年 ~19年	平成20年 ~24年	平成25年 ~29年	平成30年 ~令和4年	不明
		棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
中箕輪	沢	386	162	68	83	71	42	40	37	355
中箕輪	沢上	301	382	121	87	88	71	67	65	390
中箕輪	大出	293	178	86	70	46	50	33	32	285
中箕輪	大出山口	118	126	54	28	15	13	11	13	122
中箕輪	八乙女	119	52	37	20	24	11	11	10	166
中箕輪	下古田	172	46	32	21	11	13	5	9	129
中箕輪	上古田	281	100	44	34	21	17	22	22	309
中箕輪	中原	111	61	38	15	16	8	12	11	159
中箕輪	松島	1,793	823	366	369	210	218	168	177	821
中箕輪	木下	1,442	590	267	226	142	130	119	133	600
中箕輪	南原	114	108	52	30	24	16	22	14	250
中箕輪	一の宮	99	48	20	21	12	10	9	6	226
中箕輪	富田	182	52	33	14	18	15	16	7	231
中曽根	中曽根	162	34	15	11	19	16	8	12	192
三日町	三日町	325	130	60	38	37	44	65	49	371
福与	福与	348	82	45	43	18	26	12	9	304
東箕輪	長岡	400	139	64	59	32	29	35	23	375
東箕輪	南小河内	243	72	28	20	21	25	10	6	233
東箕輪	北小河内	335	106	78	68	32	33	20	22	328
合計		7,224	3,291	1,508	1,257	857	787	685	657	5,846

※建築年の区分については、過年度の都市計画基礎調査のランク区分に依存した。

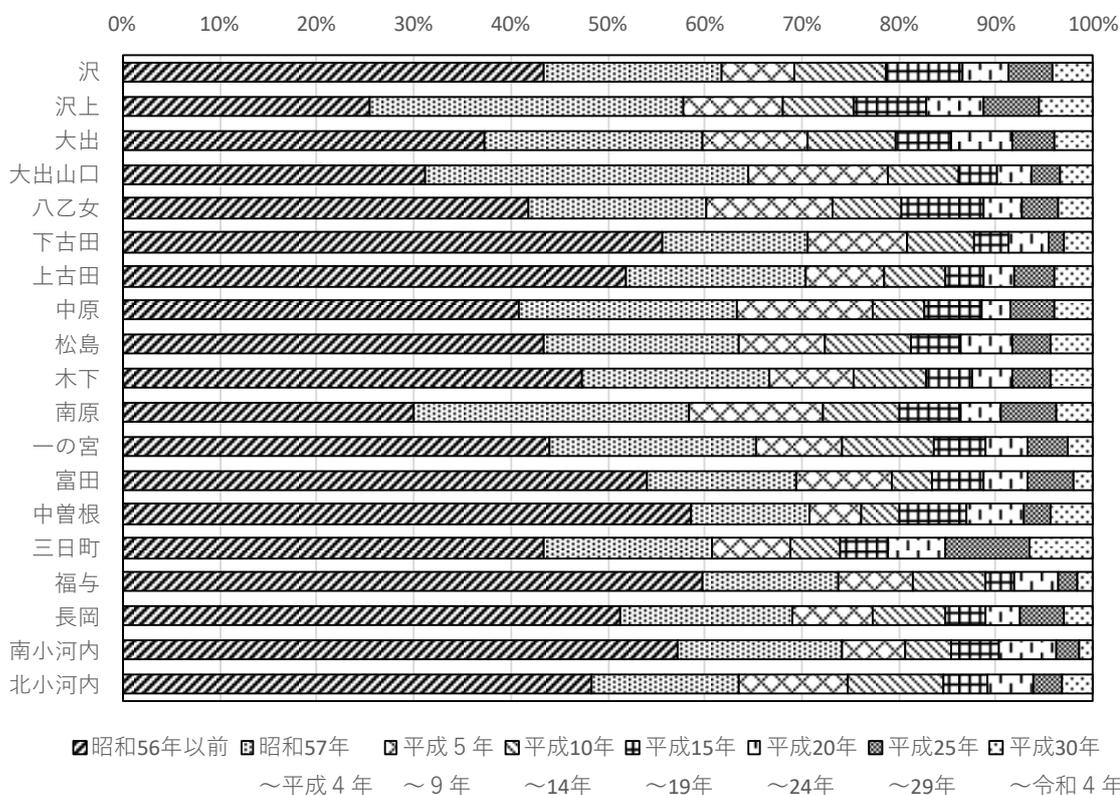


図4-11 地区別建築年別構成比（棟数ベース）

表 4-19 地区別建築年別現況（建築面積）

大字	字	昭和56年以前	昭和57年 ～平成4年	平成5年 ～9年	平成10年 ～14年	平成15年 ～19年	平成20年 ～24年	平成25年 ～29年	平成30年 ～令和4年	不明	合計面積
		m ²									
中箕輪	沢	24,661	13,127	7,688	6,118	11,230	2,834	4,772	2,777	21,018	94,229
中箕輪	沢上	25,189	39,030	11,183	8,723	7,644	6,158	5,859	5,594	31,387	140,771
中箕輪	大出	17,657	21,456	7,761	7,496	4,501	4,057	2,713	4,127	14,739	84,511
中箕輪	大出山口	11,177	10,356	4,962	2,039	1,303	822	674	1,155	6,771	39,264
中箕輪	八乙女	8,361	4,958	2,902	1,736	1,530	1,486	2,584	709	10,142	34,411
中箕輪	下古田	8,464	3,977	2,198	1,718	663	1,217	313	751	7,698	27,002
中箕輪	上古田	14,888	14,300	4,471	2,825	1,909	1,250	1,788	1,665	27,485	70,586
中箕輪	中原	7,260	10,362	5,571	1,009	2,685	1,409	895	713	15,635	45,544
中箕輪	松島	164,492	103,409	49,318	55,389	24,810	21,662	14,815	19,316	48,026	501,242
中箕輪	木下	108,801	55,710	23,571	19,294	12,613	18,733	8,765	17,859	36,985	302,334
中箕輪	南原	15,486	32,761	4,415	3,103	1,854	1,459	1,885	1,474	21,453	83,895
中箕輪	一の宮	14,416	12,765	1,605	2,323	4,024	2,407	524	7,092	23,191	68,352
中箕輪	富田	11,034	4,663	3,366	903	2,027	1,016	1,112	578	13,586	38,288
中曾根	中曾根	9,314	22,658	1,284	2,366	9,605	3,251	369	2,814	17,468	69,134
三日町	三日町	20,537	20,175	21,458	11,805	10,081	15,462	8,036	8,567	32,487	148,613
福与	福与	21,536	8,397	4,133	4,159	1,635	10,668	601	675	23,209	75,017
東箕輪	長岡	23,476	12,738	6,066	5,245	2,667	2,274	2,693	2,316	24,717	82,196
東箕輪	南小河内	14,708	7,429	2,299	2,058	1,799	3,707	985	405	17,516	50,911
東箕輪	北小河内	24,611	12,315	7,908	5,588	3,855	2,918	1,774	1,895	19,333	80,201
合計		546,078	410,593	172,169	143,907	106,442	102,800	61,167	80,492	412,854	2,036,508

※合計面積については、各小地域の建築年別建築面積（m²）をとりまとめる。

※合計面積に不明データは含まない。

※建築年の区分については、過年度の都市計画基礎調査のランク区分に依存した。

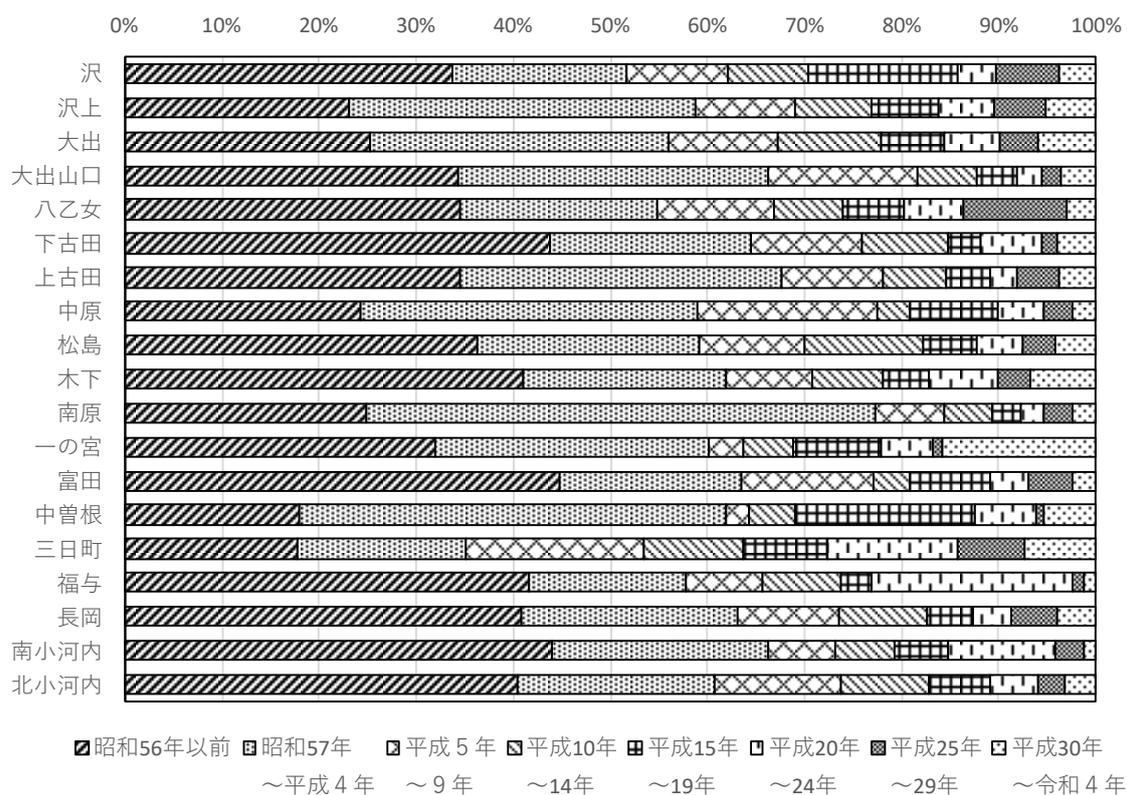


図 4-12 地区別建築年別構成比（建築面積ベース）

表 4-20 地区別建築年別現況（延床面積）

大字	字	昭和56年以前	昭和57年 ～平成4年	平成5年 ～9年	平成10年 ～14年	平成15年 ～19年	平成20年 ～24年	平成25年 ～29年	平成30年 ～令和4年	不明	合計面積
		m ²									
中箕輪	沢	32,419	19,394	11,702	9,779	17,653	4,629	5,807	4,347	25,177	130,911
中箕輪	沢上	31,226	56,085	17,509	13,917	12,287	10,130	8,928	8,060	36,094	194,240
中箕輪	大出	24,102	28,671	11,805	11,051	7,154	5,934	3,771	5,202	16,769	114,462
中箕輪	大出山口	14,001	14,746	7,640	3,308	2,035	1,359	1,013	1,426	8,514	54,046
中箕輪	八乙女	11,708	6,976	4,722	2,411	2,495	2,470	2,836	1,111	11,131	45,864
中箕輪	下古田	10,986	5,443	3,181	2,687	944	1,847	416	975	8,097	34,580
中箕輪	上古田	19,276	20,699	6,005	4,362	2,969	1,976	2,690	2,261	29,282	89,523
中箕輪	中原	9,245	13,336	6,916	1,426	3,418	2,585	1,486	958	16,190	55,563
中箕輪	松島	240,024	168,537	79,279	95,270	39,888	33,794	22,242	27,570	50,608	757,217
中箕輪	木下	150,083	93,525	36,841	33,045	21,448	26,918	14,241	24,805	38,743	439,653
中箕輪	南原	20,618	55,698	6,390	5,103	2,732	1,738	2,574	1,786	23,430	120,073
中箕輪	一の宮	17,858	20,101	2,005	2,917	4,024	2,528	779	7,130	24,175	81,521
中箕輪	富田	14,226	6,254	5,245	1,348	3,291	1,469	1,619	693	14,501	48,651
中曽根	中曽根	12,260	39,889	1,861	6,160	17,500	3,872	399	3,062	19,697	104,703
三日町	三日町	24,946	32,068	29,128	27,264	14,460	18,387	11,493	15,367	36,416	209,534
福与	福与	28,525	12,522	6,212	5,885	2,404	11,335	931	1,073	24,608	93,499
東箕輪	長岡	29,984	16,515	8,458	7,566	3,696	3,420	4,433	3,096	27,130	104,302
東箕輪	南小河内	19,150	9,474	3,160	3,028	2,701	6,461	1,183	559	18,713	64,433
東箕輪	北小河内	30,430	16,667	11,510	8,730	6,019	4,209	2,368	2,540	22,332	104,808
合計		741,075	636,609	259,578	245,265	167,126	145,071	89,218	112,029	451,618	2,847,593

※合計面積については、各小地域の建築年別延床面積（m²）をとりまとめる。

※合計面積に不明データは含まない。

※建築年の区分については、過年度の都市計画基礎調査のランク区分に依存した。

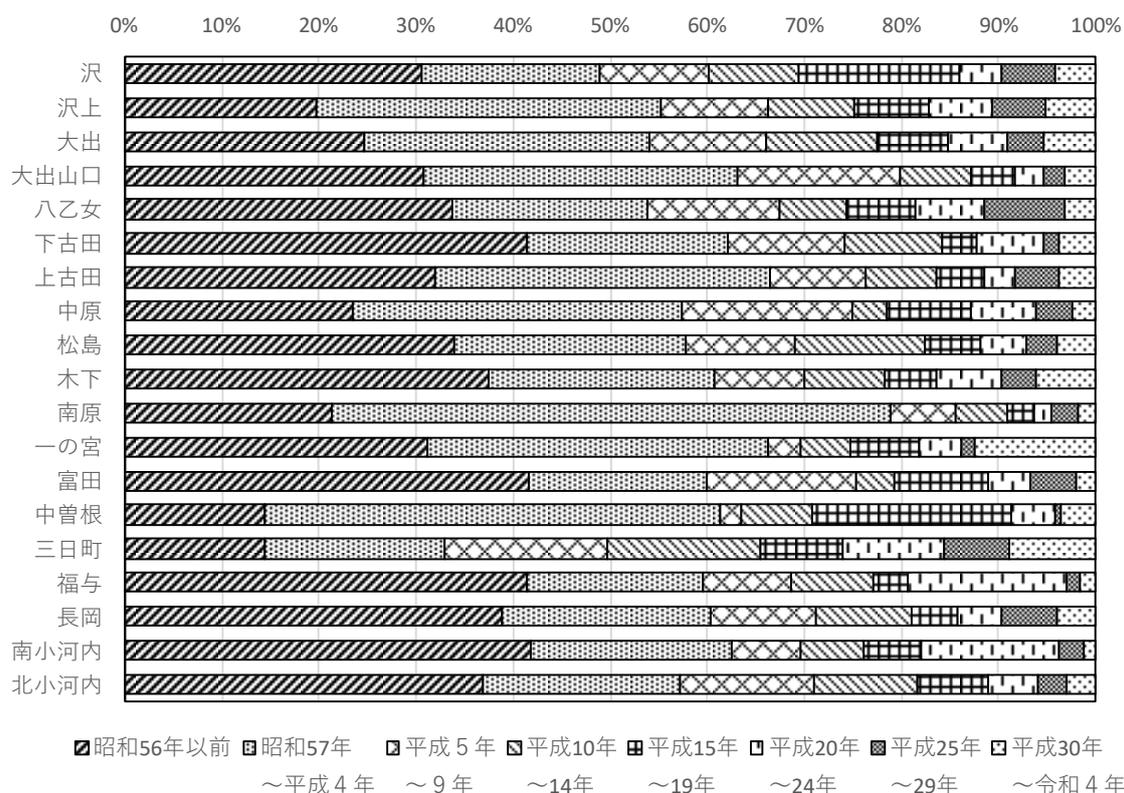


図 4-13 地区別建築年別構成比（延床面積ベース）

表 4 - 21 地域別建築年別現況

区域区分	昭和56年以前			昭和57年 ～平成4年			平成5年 ～9年		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	㎡	㎡	棟	㎡	㎡	棟	㎡	㎡
都市計画区域	7,224	546,078	741,075	3,291	410,593	636,609	1,508	172,169	259,578
非線引き用途地域	3,035	245,318	354,804	1,173	131,480	222,966	491	58,180	92,453
非線引き用途白地	4,189	300,760	386,270	2,118	279,113	413,643	1,017	113,988	167,125

区域区分	平成10年 ～14年			平成15年 ～19年			平成20年 ～24年		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	㎡	㎡	棟	㎡	㎡	棟	㎡	㎡
都市計画区域	1,257	143,907	245,265	857	106,442	167,126	787	102,800	145,071
非線引き用途地域	423	48,872	87,813	229	24,889	40,436	220	22,806	35,242
非線引き用途白地	834	95,034	157,452	628	81,553	126,690	567	79,994	109,829

区域区分	平成25年 ～29年			平成30年 ～令和4年			不明		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	㎡	㎡	棟	㎡	㎡	棟	㎡	㎡
都市計画区域	685	61,167	89,218	657	80,492	112,029	5,846	412,854	451,618
非線引き用途地域	217	17,983	27,262	244	22,222	33,012	991	55,324	55,806
非線引き用途白地	468	43,184	61,956	413	58,269	79,016	4,855	357,530	395,811

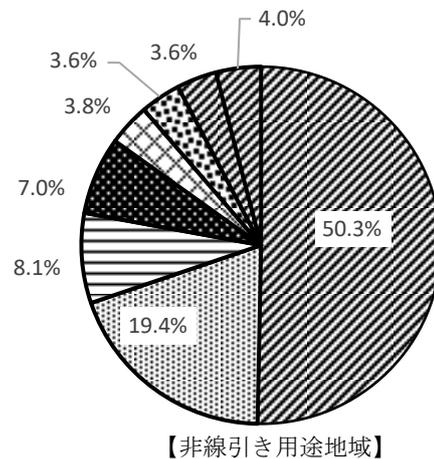
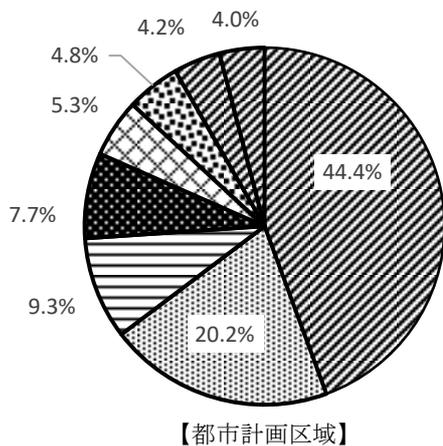


図 4-14 地域別建築年別構成比（棟数ベース）

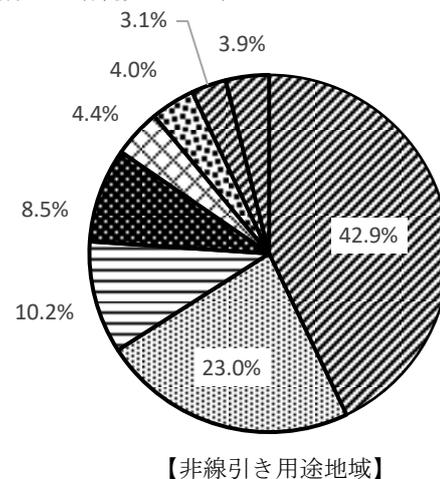
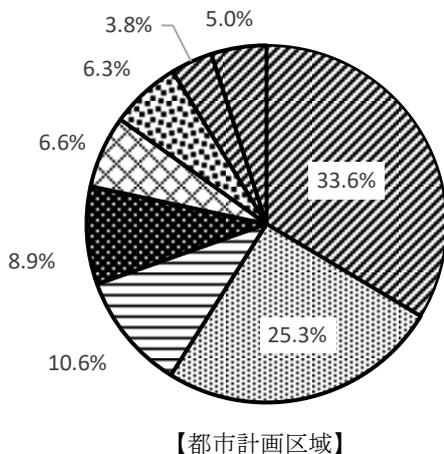
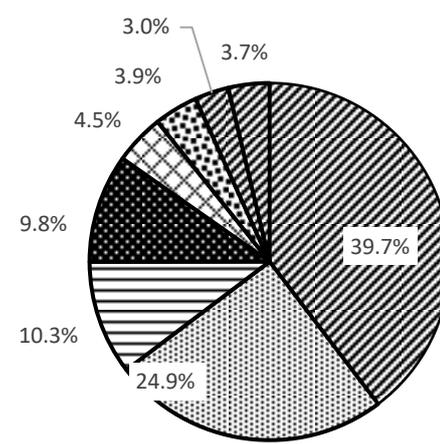
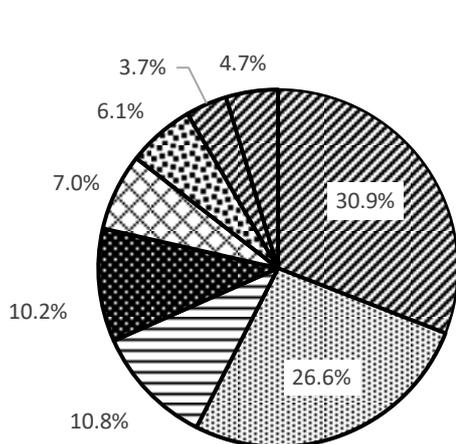


図 4-15 地域別建築年別構成比（建築面積ベース）



- | | | | | | |
|-----------------|------------------|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|
| ■ 昭和56年以前 | ■ 昭和57年
～平成4年 | ■ 平成5年
～9年 | ■ 昭和56年以前 | ■ 昭和57年
～平成4年 | ■ 平成5年
～9年 |
| ■ 平成10年
～14年 | ■ 平成15年
～19年 | ■ 平成20年
～24年 | ■ 平成10年
～14年 | ■ 平成15年
～19年 | ■ 平成20年
～24年 |
| ■ 平成25年
～29年 | ■ 平成30年
～令和4年 | | ■ 平成25年
～29年 | ■ 平成30年
～令和4年 | |

【都市計画区域】

【非線引き用途地域】

図 4-16 地域別建築年別構成比（延床面積ベース）

C0402-6 建物高さ別現況

地区別の建築年別現況は表4-22 および図4-17 に示すとおりである。

表4-22 地区別建物高さ現況

大字	字	5m以下	10m以下	12m以下	15m以下	20m以下	25m以下	30m以下	35m以下	40m以下	45m以下
		棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
中箕輪	沢	570	674								
中箕輪	沢上	723	849								
中箕輪	大出	517	555		1						
中箕輪	大出山口	222	278								
中箕輪	八乙女	243	207								
中箕輪	下古田	266	172								
中箕輪	上古田	502	348								
中箕輪	中原	300	131								
中箕輪	松島	2,312	2,616		9	7		1			
中箕輪	木下	1,689	1,954		5	1					
中箕輪	南原	429	201								
中箕輪	一の宮	373	78								
中箕輪	富田	361	207								
中曽根	中曽根	300	167		2						
三日町	三日町	671	448								
福与	福与	526	361								
東箕輪	長岡	678	478								
東箕輪	南小河内	395	263								
東箕輪	北小河内	572	449		1						
合計		11,649	10,436		18	8		1			

※建物高さは、建物階数に基づき「建物階数×階高係数」で算出した。

階高係数は1階の建物=5.0、2階の建物=4.0、3階以上の建物=3.2（参考：平成28年埼玉県さいたま市建物現況調査作業報告書）

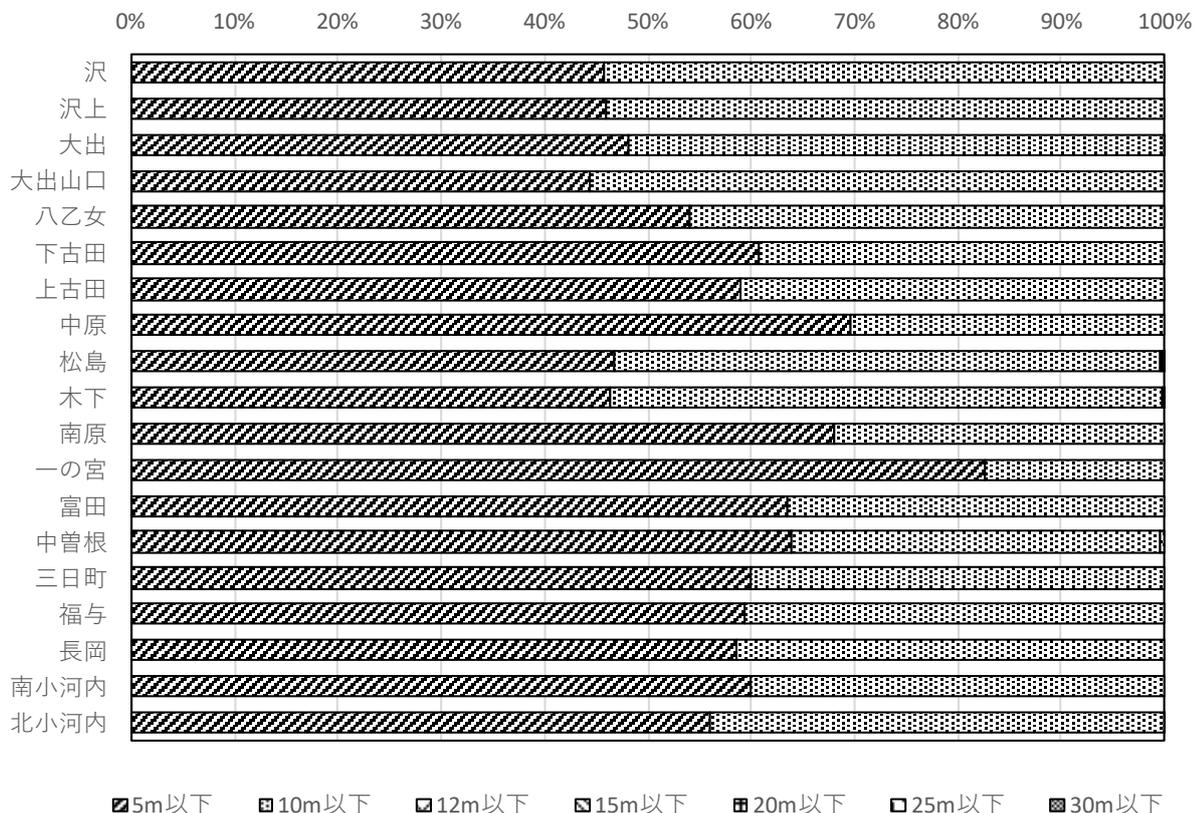


図4-17 地区別建物高さ構成比 (棟数ベース)

表 4-23 地域別建物高さ現況

地区	5m以下	10m以下	12m以下	15m以下	20m以下	25m以下	30m以下	35m以下	40m以下	45m以下	45m超	不明
	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
都市計画区域	11,649	10,436		18	8		1					
非線引き用途地域	3,255	3,750		11	6		1					
非線引き用途白地	8,394	6,686		7	2							

※建物高さは、建物階数に基づき「建物階数×階高係数」で算出した。

階高係数は1階の建物=5.0、2階の建物=4.0、3階以上の建物=3.2（参考：平成28年埼玉県さいたま市建物現況調査作業報告書）

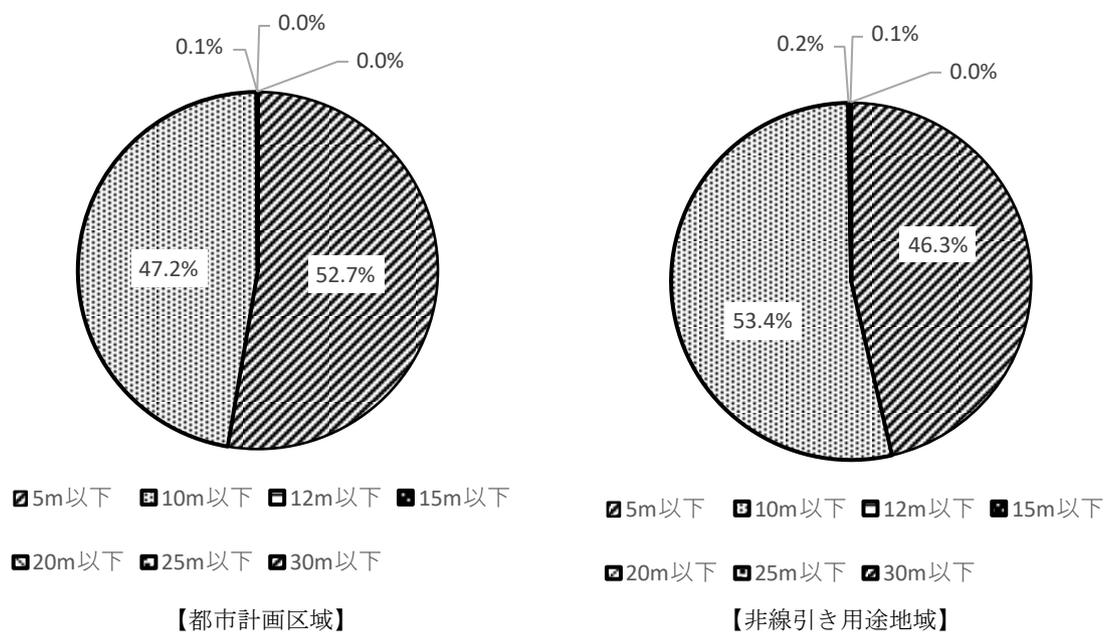


図 4-18 地域別建物高さ別構成比（棟数ベース）

⑤ 都市施設

C0501 都市施設の位置、内容等

箕輪町の道路は7路線が都市計画決定されており、総延長 16,320m、整備率 60.2%となっている。

公園・緑地は、街区公園が2ヶ所、地区公園が1ヶ所の計3ヶ所が都市計画決定されている。また、その他の都市計画未計画決定の都市公園は近隣公園が2ヶ所ある。

その他の都市施設としては、伊北粗大ごみ処理場や公共下水道、伊那中央衛生センター等が都市計画決定されている。

表5-1 都市施設の整備状況

決定年月日 (注1)	都市施設名称	都市計画決定事項		事業期間 (注2)	備考 (注3)
		幅員(m)	延長(m)	変更内容	
	【都市計画道路】				
S44. 3. 31	3・4・2 国道線	16~20	4,180	建設省告示第1,132号	改良済 280m
H28. 12. 15		16	4,180	位置の変更等 長野県告示第667号	
S44. 3. 31	3・5・6 十沢線	9~12	2,030	建設省告示第1,132号	S35年度~S46年度 改良済 1,580m
H28. 12. 15		12	2,030	車線数の決定等 長野県告示第667号	
S47. 10. 2	3・4・3 松島駅前線	16	210	長野県告示第598号	S47年度~S59年度 改良済 210m
S50. 6. 19		駅前広場(1,200㎡)の追加		長野県告示第392号	
H28. 12. 15		16	210	車線数の決定等 長野県告示第667号	
S48. 10. 1	3・3・1 東部線	25~31	6,460	長野県告示第570号	S48年度~H14年度 改良済 6,460m
H28. 12. 15		25	6,460	車線数の決定 長野県告示第667号	
S48. 10. 1	3・5・7 南部線	12~19	3,860	(南部西部線) 箕輪町告示第123号	S57年度~ 改良済 480m
H28. 12. 15		19	480	名称、終点の変更等 長野県告示第667号	
S48. 10. 1	3・5・5 木下、三日町線	12~23.8	1,660	長野県告示第570号	S61年度~H4年度 改良済 710m
H28. 12. 15		12	1,660	車線数の決定 箕輪町告示第202号	
H28. 12. 15	3・5・8 西部線	12	1,300	〃	S57年度~ 改良済 103m
		7路線	16,320		
	【都市計画公園】		面積(ha)		
S48. 6. 25	2・2・1 垣外児童公園	街区公園	0.21	箕輪町告示第75号	S48年度~S49年度 S51.12.1 供用開始
S49. 10. 24	2・2・2 中町児童公園	街区公園	0.11	箕輪町告示第185号	S49年度~S50年度 〃
	3・3・1 深沢公園	近隣公園	1.10		〃
	3・3・2 みのわ天竜公園	近隣公園	1.70		H 9. 2. 1 供用開始
S60. 7. 15	4・5・1 番場原公園	地区公園	11.4	長野県告示第512号	S51年度~S55年度 S53.7.15~ 一部供用開始 8.2ha
	【都市下水道】				
S47. 10. 1	中央都市下水道	延長	950m		S47年度~S51年度
S63. 12. 21		公共下水道へ移管			
S53. 1. 7	木下都市下水道	延長	1,280m		S52年度~S59年度
S63. 12. 21		公共下水道へ移管			
	【ごみ処理場】	面積(ha)	処理能力		
H 2. 2. 27	伊北粗大ごみ処理場	0.69	40t/日	箕輪町告示第13号	整備済
	【公共下水道】	面積(ha)			
S63. 12. 21	箕輪浄化センター	2.47		箕輪町告示第250号	整備済
S63. 12. 21	公共下水道	414		〃	
H 9. 2. 21		561			
H12. 6. 9		746			
H14. 2. 27		950			
H17. 4. 14		975			
H21. 11. 17		975			
H22. 12. 28		977			
H23. 1. 17		977			
H29. 3. 23		1056			
		【汚物処理場】	面積(ha)		
S53. 9. 11	伊那中央衛生センター	0.9		箕輪町告示第117号	※
	【ごみ焼却場】	面積(ha)			
H27. 1. 23	新ごみ中間処理施設	2.5		箕輪町告示第1号	※

資料：建設課、2023年長野県の都市計画（資料編）

(注1) 当初決定・大規模な変更及び7年度以降の決定を古い順に記入する。

(注2) ○左側に事業開始年月日右側に事業完了年月日を記入。現在事業中のものは認可を受けた期間を記入する。事業に着手されていないものは記入しない。

また、計画決定時に既に完成しているものについては事業期間は記入せずその旨を備考欄に記入する。

○区間・区域別に事業化されているものは、区間・区域別の事業期間を記入し、備考欄に区間区域を記入する。

(注3) 「※」は計画決定のみで当該町に施設は存在しない。

⑥ 交通

C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度

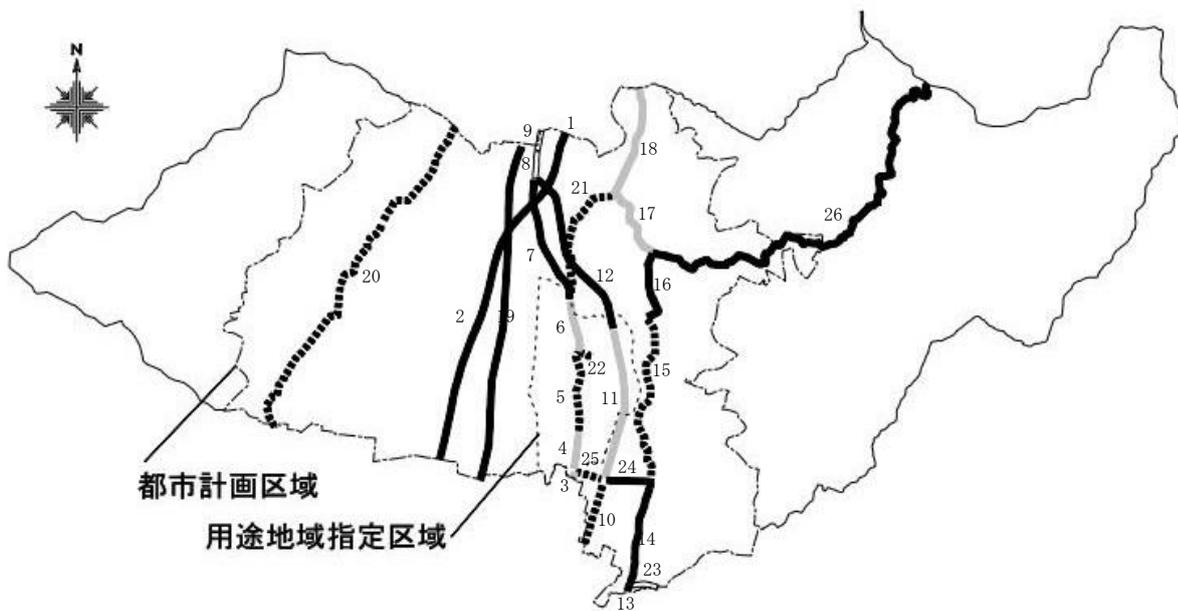
令和3年の断面交通量のうち、20,000台/12hを超える路線は中央自動車道西宮線～一般国道153号伊北ICで、21,145台/12hとなっている。10,000台/12hを超える路線は、一般国道153号の一部の区間、一般国道153号（箕輪バイパス）、主要地方道伊那辰野停車場線の一部の区間となっている。

また、混雑時平均旅行速度は一般国道153号の一部と一般県道美篁箕輪線で20.0km/hを下回っており、伊那市・箕輪町境～伊那辰野停車場線の区間が11.5km/hで最も低くなっている。

表6-1 主要道路断面交通量・混雑度・旅行速度

路線名	観測地点名		平日	平日	大型車	混雑度	混雑時	位置図
			12時間	24時間			平均	
			交通量	交通量	混入率	旅行速度	番号	
			台	台	%	km/h		
中央自動車道 西宮線	中央自動車道西宮線 ～ 一般国道153号伊北IC		21,145	32,396	31.4	0.53	90.2	1
	一般国道153号伊北IC ～ 伊那インター線伊那IC		18,622	29,160	32.2	0.37	90.8	2
一般国道 153号	南箕輪村3469	(南箕輪村・箕輪町境～美篁箕輪線)	10,678	13,561	5.8	1.06	25.6	3
	箕輪町中箕輪8550	(美篁箕輪線～箕輪町道)	6,432	8,233	5.0	0.98	27.3	4
		(箕輪町道～南小河内伊那松島停車場線)	6,432	8,233	5.0	0.98	22.9	5
		(南小河内伊那松島停車場線)	6,432	8,233	5.0	0.98	26.0	6
		(南小河内伊那松島停車場線～ 一般国道153号)	6,432	8,233	5.0	0.98	37.7	7
	辰野町伊那富7800	(一般国道153号～中央自動車道西宮線)	11,206	14,904	7.8	1.25	18.5	8
(中央自動車道西宮線～箕輪町・辰野町境)		11,206	14,904	7.8	1.25	14.6	9	
一般国道 153号 (箕輪バイパス)	箕輪町中箕輪11526	(南箕輪村・箕輪町境～美篁箕輪線)	10,437	13,881	4.8	0.46	22.5	10
		(美篁箕輪線～箕輪町道)	11,546	15,356	5.9	0.49	33.8	11
		(箕輪町道～一般国道153号)	11,546	15,356	5.9	0.49	37.7	12
主要地方道 伊那辰野 停車場線	伊那市福島1675	(伊那市・箕輪町境～美篁箕輪線)	9,152	11,532	7.1	0.39	34.8	13
		(美篁箕輪線～美篁箕輪線)	9,152	11,532	7.1	0.39	49.0	14
		(美篁箕輪線～箕輪町道)	9,152	11,532	7.1	0.39	24.0	15
		(箕輪町道～諏訪箕輪線)	9,152	11,532	7.1	0.39	37.9	16
	(諏訪箕輪線～南小河内伊那松島停車場線)	9,152	11,532	7.1	0.39	29.3	17	
辰野町樋口931-1	(南小河内伊那松島停車場線～ 箕輪町・辰野町境)	10,579	14,070	7.0	1.25	25.5	18	
主要地方道 伊那箕輪線	南箕輪村神子柴8143-1	(南箕輪村・箕輪町境～)	9,927	11,770	5.4	1.02	39.6	19
一般県道 与地辰野線	箕輪町中箕輪15493	(伊那市・箕輪町境～箕輪町・辰野町境)	9,927	11,770	5.4	1.02	33.9	20
一般県道 南小河内 伊那松島 停車場線	箕輪町中箕輪2769	(伊那辰野停車場線～一般国道153号)	1,595	1,930	3.7	0.33	43.2	21
	箕輪町中箕輪8427-7	(一般国道153号～)	2,924	3,567	2.2	0.46	22.6	22
一般県道 美篁箕輪線	伊那市手良野口1899-1	(伊那市・箕輪町境～伊那辰野停車場線)	653	777	3.0	0.08	11.5	23
	箕輪町中箕輪11526	(伊那辰野停車場線～一般国道153号)	3,477	4,277	5.8	0.50	32.5	24
		(一般国道153号～一般国道153号)	4,288	5,360	3.4	0.55	21.9	25
一般県道 諏訪箕輪線	箕輪町東箕輪472-2	(諏訪市・箕輪町境～伊那辰野停車場線)	1,297	1,569	3.0	0.72	35.6	26

資料：令和3年度全国道路・街路交通情勢調査



混雑時平均旅行速度分布図凡例

- 20.0km/h 未満
- 20.0～25.0km/h 未満
- 25.0～30.0km/h 未満
- 30.0km/h 以上

数字 調書番号

図6-1 混雑時平均旅行速度分布図（令和3年）

⑧ 自然的環境等

C0803 緑の状況

都市計画区域内の水面を含む緑被地は3,043.3haであり、その53.7%が農地で、樹林地37.3%、草地が7.1%となっている。

非線引き用途地域の水面を含む緑被地は94.5haであり、その77.4%を農地が占め、樹林地、草とも10.5%となっている。

表 8-3 緑被地の計量

基準日：令和5年3月31日

	緑被地面積				水面面積
	樹林地	草地	農地		
	ha	ha	ha	ha	ha
非線引き用途地域	94.5	9.9	9.9	73.1	1.5
非線引き用途白地	2,948.8	1,125.5	206.8	1,560.0	56.5
合計(都市計画区域)	3,043.3	1,135.4	216.7	1,633.1	58.0

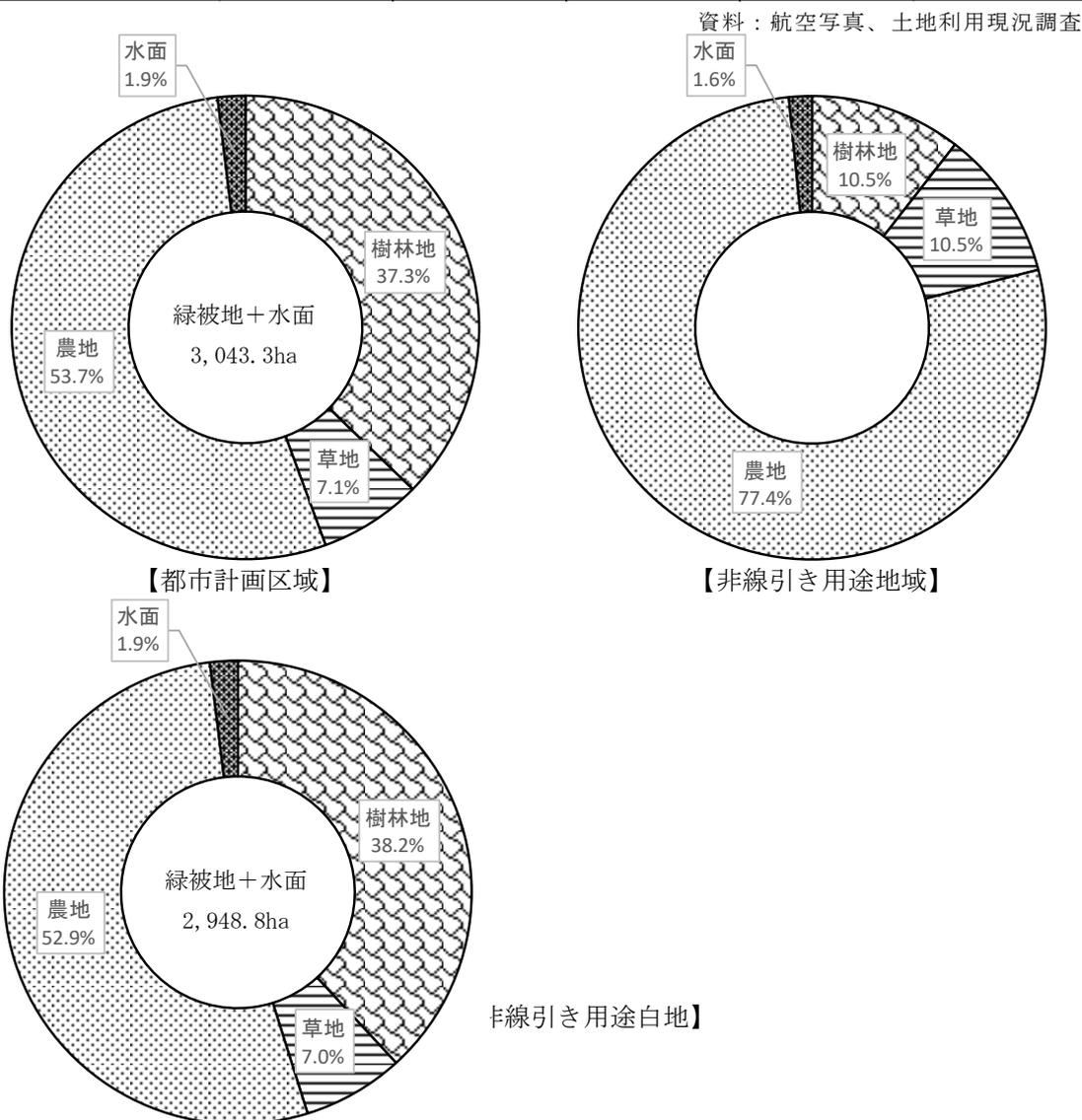


図 8-1 地域区分別緑被地の構成率

⑩ その他

C0402 大規模小売店舗等の立地状況

店舗面積が1,000㎡以上の大規模小売店舗は箕輪町内に5店舗あり、いずれもバイパス沿いに位置している。

表 10-1 大規模小売店舗等の立地状況

番号	所在地	店舗名称	建物設置者	住所	開店日
①	中箕輪9012-3	箕輪ショッピングセンター	イオンリテール(株)	千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1	平成4年4月23日
②	中箕輪8004外	ショッピングタウン箕輪	(株) コメリ 合同会社西友	新潟県新潟市南区清水4501-1 東京都北区赤羽2-1-1	平成11年7月30日
③	三日町931外	ニシザワ箕輪三日町ショッピングタウン	(株) ニシザワ・ホールディングス	伊那市伊那部字日影435-1	平成20年3月1日
④	三日町959-1外	綿半スーパーセンター箕輪店	(株) 綿半ホームエイド	長野市南長池205	平成20年4月4日
⑤	中箕輪8040-1外	クスリのアオキ箕輪店	(株) クスリのアオキ	石川県白山市横江町5180	令和4年3月23日

番号	所在地	店舗名称	業態	店舗面積	核テナント	立地法届出
①	中箕輪9012-3	箕輪ショッピングセンター	スーパー	8,045㎡	イオンリテール(株)	○
②	中箕輪8004外	ショッピングタウン箕輪	スーパー	6,253㎡	(株) コメリ 合同会社西友	○
③	三日町931外	ニシザワ箕輪三日町ショッピングタウン	スーパー	5,820㎡	(株) ニシザワ	○
④	三日町959-1外	綿半スーパーセンター箕輪店	専(ホームセンター)	7,711㎡	(株) 綿半ホームエイド	○
⑤	中箕輪8040-1外	クスリのアオキ箕輪店	ドラッグストア	1,349㎡	(株) クスリのアオキ	○

資料：大規模小売店舗一覧（平成5年3月31日現在）



図 10-1 大規模小売店舗位置図

C0701 地価の状況

令和2年における地価状況は、箕輪バイパス沿いの商業地域の価格が27,700円/㎡(No⑤)と市内で最も高い値を示している。商業地におけるほか2地点の地価は27,100円/㎡(No⑧)および25,100円/㎡(No④)と、同程度の価格となっている。

また、住宅地(No①～③、⑥～⑦)における令和2年の地価は17,100～24,600円/㎡となっており、商業地と同じく調査地点による差は小さい。

表10-2 地価変動の推移

調査地点番号(注1)	地番又は住居表示(注2)	年度	価格(円/㎡)	5年間の価格変化率(%)	土地利用の状況(注3)	種別(注4)
①	大字中箕輪字小瀬9979-4	平成12年	45,000		・一般住宅が建ち並ぶ熟成した住宅地域 ・第一種住居地域 ・住宅地 建物用途：住宅	県調査
		平成17年	39,900	-11.3		
		平成22年	34,500	-13.5		
		平成27年	29,100	-15.7		
		令和2年	24,200	-16.8		
②	大字中箕輪字南原1164-5	平成12年	33,800		・中規模一般住宅が多い新興住宅地域 ・用途地域指定外区域 ・住宅地 建物用途：住宅	県調査
		平成17年	29,500	-12.7		
		平成22年	24,400	-17.3		
		平成27年	20,000	-18.0		
		令和2年	17,100	-14.5		
③	大字中箕輪箕輪坂11809-3	平成12年	31,400		・国道背後の中規模一般住宅が多い住宅地域 ・第一種住居地域 ・住宅地 建物用途：住宅	県調査
		平成17年	28,500	-9.2		
		平成22年	25,100	-11.9		
		平成27年	22,100	-12.0		
		令和2年	19,500	-11.8		
④	大字中箕輪字餅田8500-4	平成12年	67,000		・駅前の小売店舗が建ち並ぶ中に病院等も混在する商業地域 ・商業地域 ・商業地 建物用途：店舗兼住宅	地価公示
		平成17年	53,200	-20.6		
		平成22年	40,200	-24.4		
		平成27年	31,700	-21.1		
		令和2年	25,100	-20.8		
-	大字中箕輪字割手7941-2	平成12年	40,200		・一般住宅、工場等の混在する地域 ・準工業地域 ・準工業地 建物用途：住宅	地価公示
		平成17年	35,500	-11.7		
⑤	大字中箕輪字鉄砲島8930-13	平成22年	40,700		・大型店舗、中小規模店舗、営業所等が混在する国道沿いの路線商業地域 ・工業地域 ・商業地 建物用途：診療所兼住宅	地価公示
		平成27年	34,400	-15.5		
		令和2年	27,700	-19.5		
⑥	大字中箕輪字北城13173-61	平成12年	32,100		・中規模一般住宅が建ち並ぶ分譲住宅地域 ・第一種低層住居専用地域 ・住宅地 建物用途：住宅	地価公示
		平成17年	28,900	-10.0		
		平成22年	24,800	-14.2		
		平成27年	21,400	-13.7		
		令和2年	19,000	-11.2		
⑦	大字中箕輪字垣外9763-10	平成12年	39,500		・中規模一般住宅が多い住宅地域 ・第一種中高層住居専用地域 ・住宅地 建物用途：住宅	地価公示
	平成17年	36,200	-8.4			
	大字中箕輪字垣外9757-8	平成22年	33,700	-6.9		
	平成27年	28,900	-14.2			
	令和2年	24,600	-14.9			
⑧	大字中箕輪字餅田9497-4	平成12年	69,800		・低層の小売店舗等が建ち並ぶ商業地域 ・近隣商業地域 ・商業地 建物用途：店舗兼住宅	地価公示
		平成17年	57,100	-18.2		
		平成22年	43,600	-23.6		
		平成27年	34,100	-21.8		
		令和2年	27,100	-20.5		

(注1) 番号は地価分布図の通り番号と対応させる。

資料：国土交通省地価公示、長野県地価調査

(注2) 年度により調査地点が異なる場合は、各年度の地番又は住居表示を記入。

(注3) 住宅地、商業地、工業地の別、市街化区域・調整区域の別、建物用途等を記入。

(注4) 地価公示か、県調査かの別を記入。

C0802 気象状況

平成25年から令和4年までの10年間における平均気温は11.9℃であり、最高気温は令和4年の36.8℃、最低気温は平成28年の-13.3℃であった。

また、年間総降水量では、最高が平成26年の1,467.6mm、最低が平成29年の908.0mmとなっている。

表10-3 気象の推移

年	気 温 (℃)			降 水 量				最多風向	最大風速時風向
	平 均	最 高	最 低	総 量 (mm)	日最大降水量 (mm)	降雪量 (cm)			
						飯田※ ¹	伊那市、箕輪町※ ²		
H25	11.4	36.4	-12.8	976.8	81.5	68 (19)	71.5	S S W	S S E
H26	11.2	35.1	-9.9	1,467.6	70.0	118 (81)	59.0	S S W	S
H27	11.9	34.3	-11.0	1,141.4	81.5	58 (7)	9.0	S S W	S
H28	12.3	34.1	-13.3	1,264.8	123.5	25 (15)	10.0	S S W	S
H29	11.2	34.1	-11.2	908.0	72.5	34 (16)	8.0	S	S
H30	12.3	35.0	-11.7	1,185.0	88.5	48 (15)		S	S
R01	12.0	34.8	-10.7	1,005.6	65.0	1 (1)		S S W	S
R02	11.9	34.8	-10.6	1,313.0	83.0	-	-	S W	S W
R03	12.2	34.9	-8.9	1,404.6	142.5	11 (7)		W N W	S S E
R04	12.1	36.8	-9.7	1,205.5	58.0	49 (11)		W N W	W N W

気温及び総量降水量：箕輪町町勢要覧2023

日最大降水量：平成23年まで／長野県気象年報及び気象月報（観測地：伊那市）
平成24年以降／気象庁 気象統計情報（観測地：伊那）

降雪量 ※1：気象庁 気象統計情報〈年間総降雪量（かつこ内は最深積雪）〉（観測地：飯田）

※2：平成23年まで／長野県気象年報及び気象月報〈年間総降雪量〉（観測地：伊那市）
平成24・25年／箕輪消防署

平成26年以降／伊那建設事務所整備課〈各年2月積雪深最大値〉（観測地：箕輪町）

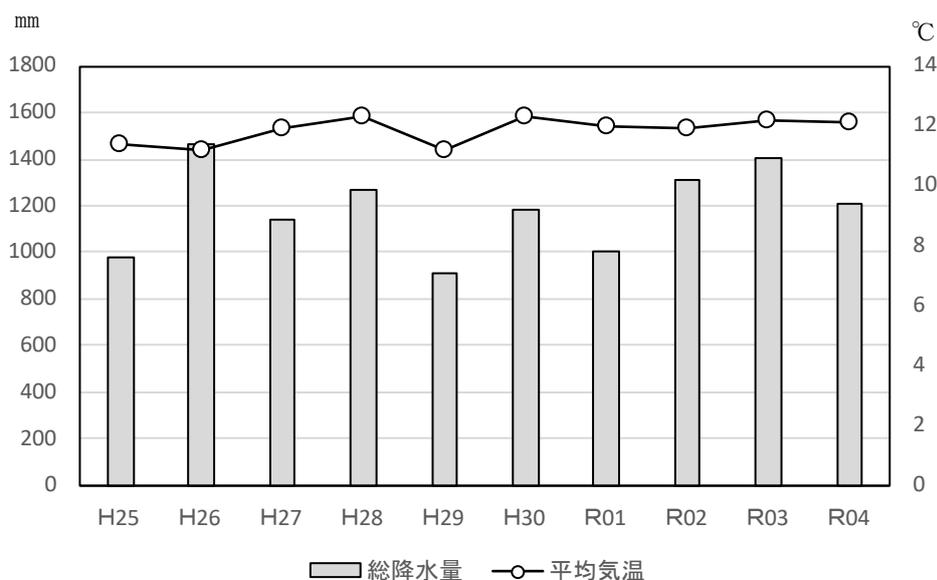


図10-2 気象の推移

令和4年の月別の気温変化をみると、月最高気温と月最低気温の差は、最も小さい12月で15.2℃（最高気温8.1℃、最低気温-7.1℃）、最も大きい4月で31.3℃（最高気温28.5℃、最低気温-2.8℃）となっている。また、年間の気温較差をみると、最も気温が高い6月の最高気温が36.7℃であるのに対し、最も気温が低い1月の最低気温は-10.9℃と、年間の気温較差が大きいことを示している。

また、月ごとの総降水量は、9月（240.5mm）、4月（190.0mm）、7月（176.0mm）が多く、1月（22.0mm）、12月（31.5mm）、2月（48.0mm）が少ない。

表 10-4 月別気象概要（令和4年）

月	気 温 (°C)			降 水 量			最多風向	最大風速時風向
	平 均	最 高	最 低	総 量 (mm)	日最大降水量 (mm)	降雪量 (cm)		
						飯田 ^{※1}		
1	-0.8	10.7	-10.9	22.0	17.0	13 (6)	WNW	WNW
2	-0.3	12.8	-9.3	48.0	18.5	28 (11)	WNW	WNW
3	6.7	21.9	-4.7	105.0	35.0		S	SW
4	13.1	28.5	-2.8	190.0	49.0		S	S
5	16.0	31.1	2.3	96.0	33.5		SW	SW
6	20.8	36.7	9.7	79.5	19.5		S	S
7	24.3	36.6	18.0	176.0	34.5		SSE	SSE
8	24.7	32.3	15.3	81.0	27.5		SSE	SSE
9	22.1	27.5	12.1	240.5	58.0		S	S
10	13.4	20.8	-0.3	78.0	24.5		SSW	SSW
11	9.1	14.6	-1.3	108.0	37.0		S	S
12	1.9	8.1	-7.1	31.5	19.5	14 (11)	WNW	WNW

気温及び総降水量：箕輪町気象観測情報（箕輪町役場）

日最大降水量、最多風向及び最大風速時風向：気象庁 気象統計情報（地点：伊那）

降雪量 ※1：気象庁 気象統計情報＜最深積雪（かっこ内は月総降雪量）＞（観測地：飯田）

※2：伊那建設事務所整備課＜2月積雪深最大値＞（観測地：箕輪町）

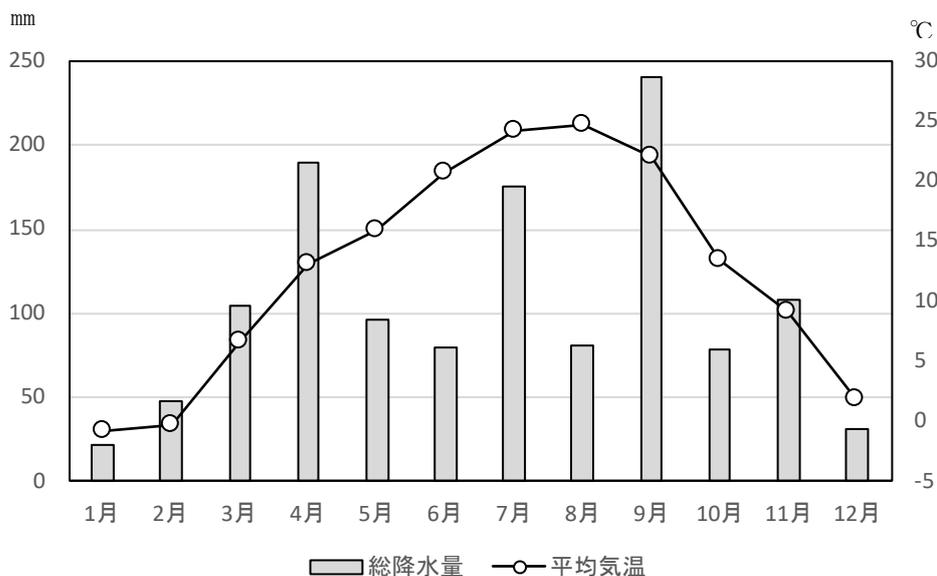


図 10-3 月別気温及び降水量の推移（令和4年）

C0901 災害の発生状況

平成30年4月1日から令和5年3月31日の5年間で大規模な災害（水害及び土砂災害）は発生していない。

C0902 防災拠点・避難場所

防災拠点・避難場所については、避難地が14ヶ所、第1次避難所が15ヶ所、第2次避難所が17ヶ所、福祉避難所7ヶ所ある。

表10-5 防災拠点・避難場所

位置	名称	種別	収容可能人数
A1	箕輪中部小学校校庭	避難地	
A2	箕輪北小学校校庭	〃	
A3	箕輪西小学校校庭	〃	
A4	箕輪東小学校校庭	〃	
A5	箕輪南小学校校庭	〃	
A6	箕輪中学校校庭	〃	
A7	箕輪進修高校校庭	〃	
A8	箕輪町役場駐車場	〃	
A9	一の宮公民館庭	〃	
A10	長田保育園園庭	〃	
A11	八乙女グラウンド	〃	
A12	みのわテラス	〃	
A13	福与農村運動公園	〃	
A14	イオンリテール(株)イオン箕輪店南側駐車場	〃	
B1	沢公民館	第1次避難所	250
B2	大出コミュニティセンター	〃	250
B3	北西部多目的センター	〃	140
B4	下古田公民館	〃	110
B5	上古田公民館	〃	100
B6	中原公民館	〃	100
B7	松島コミュニティセンター	〃	400
B8	木下公民館	〃	350
B9	富田公民館	〃	150
B10	中曽根公民館	〃	120
B11	三日町公民館	〃	120
B12	福与公民館	〃	130
B13	長岡公民館	〃	150
B14	南小河内公民館	〃	180
B15	北小河内公民館	〃	200

資料：箕輪町防災ハザードマップ、箕輪町地域防災計画

表 10-5 防災拠点・避難場所（つづき）

位 置	名 称	種 別	収容可能人数
C1	箕輪中部小学校	第2次避難所	350
C2	箕輪北小学校	〃	500
C3	箕輪西小学校	〃	200
C4	箕輪東小学校	〃	350
C5	箕輪南小学校	〃	250
C6	箕輪中学校	〃	400
C7	箕輪町社会体育館	〃	600
C8	箕輪町藤が丘体育館	〃	500
C9	箕輪進修高校第二体育館	〃	300
C10	沢保育園	〃	
C11	上吉田保育園	〃	
C12	松島保育園	〃	
C13	木下保育園	〃	
C14	三日町保育園	〃	
C15	東みのわ保育園	〃	
C16	長田保育園	〃	
C17	いきいきセンター・サンライズ	〃	
D1	特別養護老人ホームグレイスフル箕輪	福祉避難所	
D2	生協総合ケアセンターみのわ	〃	
D3	ケアセンターふれあいの里	〃	
D4	特別養護老人ホームみのわ園	〃	
D5	箕輪町デイサービスセンターゆとり荘	〃	
D6	養護老人保健施設わかな	〃	
D7	箕輪町障がい者就労支援センターふれんどわーく	〃	

資料：箕輪町防災ハザードマップ、箕輪町地域防災計画

【用途地域の変更について】

箕輪町では、昭和46年建築の町民体育館及び昭和50年建築の町民武道館の耐震改修及び増改築を予定しているが、現在の用途地域「第一種住居地域」では、床面積が3000㎡を超える建築が制限されており、増改築等ができない状況にある。

しかし、この地で50年近く町民に利用され馴染みがある施設の移転は、新規の用地取得や新建築費用の面も合わせ容易なものではなく町民益に反するものであり、現施設の有効利用を第一とする現在地での増改築が望ましいものである。

なお、近隣の病院等においても同様な事柄が懸念されるため、早急に用途地域見直し等が必要と考える。